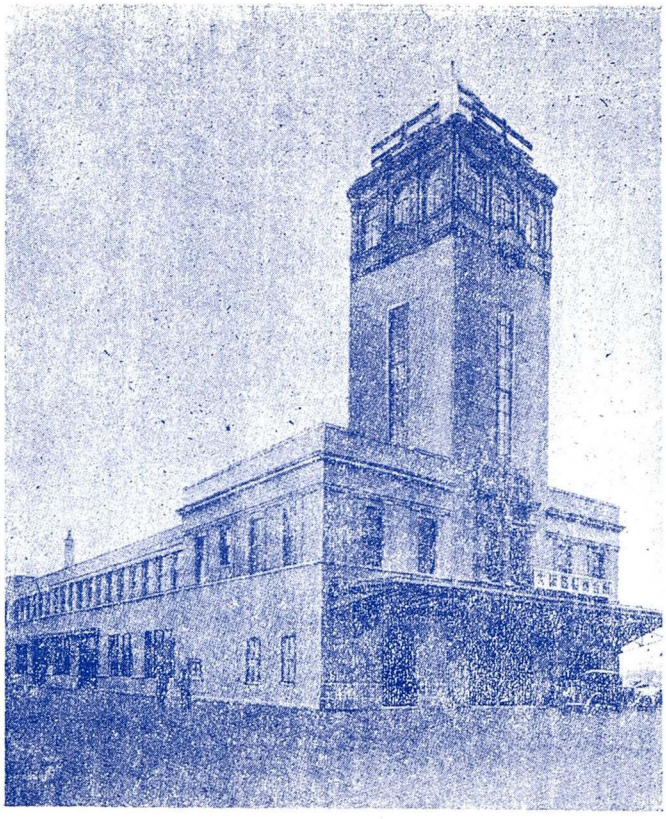
大正六年九月十四日 第三種郵便物認可・昭和十一年一月二十五日印刷納本・昭和十一年二月一日發行（毎月一回一日發行）

建築と社會

2

第十九輯第二號　昭和十一年二月一日

日本建築協會



弊社製品納入

大阪商船株式會社
神戸埠頭待合所

製品種目

瀬川式特許スチールサツシ
瀬川式特許スチールドアー
朝日式特許スチールシヤター
瀬川式スチールパーチシヨン
瀬川式特殊高級鋼製建具
並ブロンズドアー及メールシユート
其他一般的建築金物類

朝日建材株式會社大阪支店

大阪市東區高麗橋二丁目九番地(高麗橋野村ビル内)
電話北濱(23)局 4714・4715・5227(3)

本社　東京市麹町區丸ノ内二丁目二番地(丸ノ内ビル内)
電話丸ノ内(23) 679・876

工場　東京市城東區北砂町三丁目一二番地
電話本所(73)2157・2158・2159

大阪支店出張所　福岡市東長洲八丁目六三番地
電話福岡 7290番

出張所　名古屋市中區南大津町一丁目九ノ二(共濟ビル内)
電話中 2776・2777
奉天市千代田通二五番地

特約店　大連市山縣通二一三　三祐公司

（絶　版）	**關東震火災視察記** 震災直後本協會員の視察報告集	定價 3.50圓 （送料12）
（絶　版）	**住宅懸賞圖案集** サンマーハウス、貸長屋の懸賞圖案集	定價 1.00圓 （送料10）
（絶　版）	**婦人の住宅知識** 婦人に必要なる住宅の諸說を蒐集せるもの	定價 1.00圓 （送料10）
（絶　版）	**學校建築圖集** 幼稚園、小學校より大學校に到る迄の諸種の學校を網羅す	定價 1.00圓 （送料18）
（絶　版）	記念出版 **住宅圖案集** 工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅懸賞圖集	定價 1.00圓 （送料10）
（絶　版）	**續學校建築圖集** 最近二三年間に竣工した大・中・小學校建築40餘校を蒐めたもの	定價 1.00圓 （送料12）
昭和6年發行	**最近建築懸賞圖集** 東京帝室博物館・東京美術館・軍人會館・日本生命館等東洋趣味を基調とせる大建築懸賞圖集	定價 0.70圓 （送料10）
昭和6年發行	**世界最近建築圖集** 歐米尖端の新建築の寫眞集	定價 0.50圓 （送料 8）
（五　版） 昭和10年發行	**市街地建築物法令** 六大都市施行細則其他關係命令を蒐めたもの	定價 0.50圓 （送料 6）
昭和8年發行	記念出版 **大阪市地質調査圖表** 大阪の地質を500箇所に亘り調査した圖表	定價 3.50圓 （送料12） （本協會員に限り 3.00圓）
昭和8年發行	記念出版 **續住宅圖案集** 工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅及同上の豪所圖集	定價 1.00圓 （送料10）
昭和10年發行	**都市武裝促進委員會記錄** 都市防空に關し演習部報告僞裝遮蔽報告燈火管制報告等凡て寫眞を以て揭載菊倍版400頁大冊	實費 1.60圓 （送料14） 本協會員一冊に限り 1.00

日本建築協會發行　大阪・北區・朝日ビル　振替口座大阪 39975

賣捌　**柳々堂書店**　**丸善本支店**

建築と社會

第19輯第2號　昭和11年2月發行

二　月　號

目　次

地方計畫に資して ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 吉田信武（1）

都市と交通 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 森　忠一（6）

都市美雜感 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 中尾　保（11）

廣告術に現れたネオンサイン ‥‥‥‥‥‥ 龜井幸次郎（19）

「愛の設計圖」の完成まで ‥‥‥‥‥‥‥ 新名種夫（40）

神戸市公會堂建築設計懸賞競技當選者圖案 ‥‥‥‥‥‥‥（55）

國際新建築

効果ある土地區畫整理（アメリカ）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥（65）

F. Haussmann 陶磁器工場（スイス）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥（67）

會　報 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥（69）

附錄・各府縣改正市街地建築物法施行細則（北海道廳・警視廳）

地方計畫に資して

吉田信武

1

輓近、都市の健全なる有機的發展を期せんとする都市計畫と共に、地方計畫なるものが我國に於ても盛に論ぜられるに至つた。

"International glossary of technical terms used in Housing and Town Planing" によれば、所謂田園都市 (garden city) とは a town planned for industry and healthy living ; of a size that makes possible a full measure of social life, but not larger ; surrounded by a permanent belt of rural land ; the whole of the land being in public ownership or held in trust for the community. 所謂衛星都市 (satellite town) とは a town that is physically seperated from a larger town but has close relations with it ; the satellite being a separate entity and having it own corporate life とある。即ち、前者は能率的な工業と衛生的な生活とを行ふため、先づ永久に田園を以て圍繞され、社會生活を充分に享受し得るに足る大きを有し而も左程大ならず、且土地全體が綜合的に所有又は管理せられたる都市。後者は更に母市と或る種の密接なる關係を有し而も獨立せる都市を謂ひ、共に、過大都市によつて發生する種々の惡弊を除去し、同時に人生を幸福にせんがため、人口の地方分散集中を企てたものである。

地方計畫とは、大都市の周圍に散在せる多數の大小自治體は云ふ迄もなく、市街地たると農耕地たるを問はず、それ等が系統的な秩序正しき發達のために、あらゆる公共的改良施設及び土地の利用に對する、同時的、共同的、綜合的計畫を樹立し、從來の都市計畫に於けるよりも更に大なる綜合的計畫の理論と實際とを應用し實施し、都鄙相互の特性を助長せしめ、以て人類の健康、安全、道德、秩序、利便、能率、繁榮及び福利を增進せしめんとする計畫で、今や、地方計畫なるものは都市計畫の進むべき結論とまで考へられるに至つた。本文は Lohmann 氏著〈都市計畫大意〉中の "Rural planning"、並に昨年7月16日より同月30日までロンドンに於て開催されたる〈第4回都市計畫及び住宅問題國際聯合會議報告〉中の"Planning Rural Development" 其の他を參考として、地方計畫に何等かの資料を提供せんとするものである。

2

都市計畫家が、母體都市の膨脹發展しつゝある郊外、並に他の自治體が漸次發生生長しつゝある地方に、從來都市に適用すべき理論と實際とを應用し實現せしめたのは、歐米各

國に於ては左程最近のことではない。斯かる郊外及び多數の自治體を有する地方の發展の速度は非常に急速であり、且全體として問題は非常に重大なる故、我々は極めて愼重に、郊外計畫の趣旨の輝しき應用として地方計畫のことを考慮しなければならない。

都市計畫とは地方計畫との主なる相異は、恐らく都市計畫に於ては既建築區域の再建及び再計畫であり、地方計畫に於ては多く未建築區域に關係し、一都市單位に限らず中心都市を取り卷ける多數の自治體群の相關的活動性に備へるにあると云ふ事實であらう。

3

屢々從來偶發的に發展せる土地に生じたる種類の缺陷に直面して、地方計畫は地方的困難の排除及びよりよき地方的條件具備の完成に對する限りなき機會を都市計畫家に與へ、斯かる限りなき機會は地方計畫創造に對する道を拓くことゝなる。

地方計畫は一大綜合的研究によつて生まれるものであり、且大都市の種々なる形而下的見地に對する都市計畫家の結論である。地方計畫樹立の際は、それが市民の同意を博し得るものでなければならぬことは勿論で、若し効果的に準備され整理されたものならば、斯かる計畫は地方の發展に關して計り知れない奉仕をなす。

地方計畫の具體的實施としては、先づ幅員の大なる直接的な道路又は鐵道等、必要に應じては例へば都市の混雜中心の周圍に大幹線を設くることを以て始められるが、又、全般的な或は他の避け難い原因による必要以上の高價なる出資、例へば近隣町村によつて汚穢せられた汚水を更めて淨化するに要する費用等を極力輕減することを以て趣旨としなければならぬ。

地方計畫は又河岸湖岸、其の他の景勝地を保存し、市民に與へられたる天然の資源を充分に利用せしめ、都市の順調な好ましい生長に對して、其の住人が家庭を樂しむべく、其處に存在する自然物をよく活用せねばならぬ。今日の混亂せる大都市をして明日の特殊な都市群に取つて代へるのが地方計畫樹立の要ある所以である。

4

斯くの如き計畫に就いての大都市の中心とする一團の地方は、或は位置により或は他の事由により、根本的に變化すべき單位を有してゐるが、中心都市の影響を受くる土地、例へば1日がけで容易に往復し用件を果し得られ、而も如何なる理由があつても母體都市がこれを超えて擴張し得ないことが普通原則である。地方の區域には自治體群——中心都市の衛星——換言すれば、互に併置されたる町村、即ち母體都市に其の社會生活・社會施設の供給をうけてゐる町村をも含むべきである。これ等の小都市自身も亦相互に共通な相關的な利害關係と問題とを有する傾向がある。

大都市を中心とする一團の地方の半徑は各方面によつて異る。例へば、New Haven.

Norfolk Va. のは24粁、Boston, Buffalo, St, Louis Cleaveland 及び Toledo のは 32粁乃至40粁、New York City のは64乃至72粁、と其の中心よりの半徑は異つてゐる。これ等の外方土地は、普通の中心都市の小賣商業によつて蔽はれたる土地の外圍をあらはし、又地方百貨店に帳付とする顧客が住む限界と一致する。

斯かる土地の面積も同樣種々變化してゐる。例へば、Chicago のは 20,000 平方粁、Los Angels のは 10,657 平方粁、New York のは 14,317 平方粁、Niagara Frontier のは 4,014 平方粁、Philadelphia のは 10,000 平方粁、Santa Barbara のは 7.100 平方粁、Washington のは 1,165 平方粁であり、ドイツの Ruhr Basin のは、3,838平方粁である。

Alfred Bettman 氏は、現在都市の構築に試みてゐる所の都市問題及び都市利害關係の有機的性質の意識と同樣、大都市を中心とするが一團地方に於ける場合にも所謂地方意識の構作の先づ必要であると云つてゐるが、同氏は餘りにも大なる土地の住人の中に、單位が有する利害關係を擴張するのは容易ならざることゝ感じてゐる。

地方計畫に於ては、この種統合的研究の目的のため、大都市を中心とする一團の地方は單なる政治區・衞生區・學區・市區・村落・州區・郡區等に限る必要はない。

大都市を中心とする一團の地方の性質は、大きさ・形態・自治體數及び地方政治單位によつてのみならず、人口及び市區・郊外・農耕地の廣袤によつて變化する。即ち、大都市を中心とする一團の地方は獨特の財政・經濟・社會・政治上の位置を有することゝなり、この獨特の性質は大層歷史的であり、住民は一般に頑固なるを通例とするが、大都市を中心とする一團の地方は傳統を有するには餘りにも若過ぎ、從つて住民は容易に新說を承け入れる可能性を富んでゐる。即時に必要とする場合もあり、將來特定の重要なる時期まで必要としない場合がある。

Regional Plan of New York の說によれば、都合よく發展せる地方は宛も其の全面積を最も有效に利用せる工場の如きものである。この結果、工場の通路は貨物に妨げられることなく、工場の各部分は其の種々なる必要に應じて計畫されてゐる。工場と同樣、大都市を中心とする一團の地方は、其の計畫がより能率的である競爭すべきである。

大都市を中心とする一團の地方は、一面、其の總てが漸次大となり相重つてしまふ所の種々の大きさと形態とを有する細胞の網狀組織にも譬へることが出來る。

5

大都市を中心とする一團の地方內に存する都市將來の擴張或は新自治體の發展を計畫する前に、先づ斯くとも地方の人口の將來の配布程度を豫め解しておかねばならぬ。從來地方計畫の一般的傾向は個人の地價を高めることによつて得られる利益の增進のみを圖り住人の一般的福利に關しては餘り注意を拂はれてゐなかつたが、この點に就き、都市計畫家 Thomas Adams 氏の言によれば、人口集中を餘儀なくするやうな地方發展は地價の

引上には效果があるけれども、人間の福利を害し經濟的にも健全ではない。結局、密集發展は土地所有者の利益にもならないと述べてゐる。

人口配布の原則には、過去に於けるが如き人口集中の永續と、分散及び再集中の過程による田園地方への人口再分布の二がある。時期の經過と共に際限なく擴張し、混雜による弊害が益々大となり行く固定的都市と、完全に獨立せる小都心を有し、外見のよい內部配置が備り、其の外部方面との秩序正しい關係を保る數多の小都市との何れがよいであらうか？

現在、分散的影響の觀念は後者が絶對的に勝利を得るであらうことを物語つてゐる。New York City に關する研究によれば、製造工業は既に都市中心部に其の存在の場所を保有すること困難で、却つて郊外に押し出されてゐる傾向がある。製造工業の第一人者、例へば Henry Ford 氏も工場の分散を主張し、而も職工住宅が其の附近に集中せることを望んでゐる。因に、大都市郊外の生長の加速度は頗る大で、例へば New York 市の人口增加率は 24.2% 其の郊外のそれは 57.4%、最近10年間の Boston 市のは 4.8%郊外のは 25.2%、Philadelphia 市のは 7% 郊外のは 42%、Cleaveland 市のは 12% 郊外のは 118% となつてゐる。

地方分散問題に大なる關係ある交通費は通勤者の通勤距離に基くものであり、長時間の乘車による疲勞と交通費の輕減方法は家庭を工場の附近に建設するか逆に工場を家庭の附近に齎らすかの他途なきことを心得ておかねばならぬ。工場の附近へ勤勞者を紹致することは、地方計畫家の手により、食料品を自給自足し且母市と或る種の關係を有する衞星都市を多數配することによつて始めて完成される。斯かる市町村は其の地方を貫く大幹線道路に沿つて發展するのが最も普通である。衞生都市が母市期近ければ近い程大都市のこれに作用する索引力は强くなり、遠ければ遠い程小となる。この理論より、衞星が都心より離れた位置にあればある丈、これ等の人口中心はより完全により獨立的に施設されねばならぬことゝなる。

然らば、地方計畫がもつ斯くの如き多數の目的を如何にして完成することが出來るであらうか？　第一に、權威者及び豊かなる財政を有する地方計畫協會を設立しなければならない。第二に、本協會は調査・研究・計畫に邁進しなければならない。第二に、數多の自治體並に地方の活動的利害關係を考察せる計畫を樹立しなければならない。

6

第4回都市計畫及び住宅問題國際聯合會議に於ては、地方計畫に關する討議事項要項として次の如き各項目が擧げられてゐる。（本項の譯出に當つて大阪府土木部都市計畫課員津田文平氏の助力を負ひし點勘くない深謝する次第である。）

1） 田園都市と用途地域制

田園發展に積極的計畫を奬勵するには何をなさねばならぬ？

計畫中の都市第一義主義的概念を田園計畫より排除するには如何なる方法を以てするが適當なりや？

形而下的計畫に經濟的計畫・政治的計畫及び社會的計畫をも附加すべきや？

土地所有及び農業經營に於ける障害を是正する方法ありや？

2） 村落發展

（1） 村落の特長を保存するためにとるべき階梯如何？ 特に建築の盛に行はるゝ場合に於ては如何？

（イ） 新工業の開始さるべき場所如何？

（ロ） 新建築物が普通に增加すべき場所如何？

（2） 商業中心部を村落內に發展せしむべきや？ 然りとすれば如何なる方法によりこれを完成すべきや？

（3） 農業以外の村落工業其の他の經濟的復興方法可能なりや？ 然りとすれば計畫者はこの復興援助を如何なる方法を以てすべきや？

3） 社會施設

（1） 村落農場に對する電力供給の急送方法如何？

（2） 農業用小道路の必要ありや？ 然りとすれば其の敷設方法如何？ 農場に連絡する自動車交通を禁止すべき要ありや？

（3） 如何なる種類の給水を設備すべきや？ これを農場及び建築物に設備する要ありや？ 分散農場への配水設備費出所如何？

（4） 下水處分に對する設備法如何？ 肥料の適當なる配分ありや？ 然らずとすれば其の効果利用を確實ならしむる方策如何？

4） 行政問題

（1） 田園計畫を實施するには中央政府・大地方官廳・小地方官廳の何れによりて行はるべきや？

（2） 大地方計畫を中央政府にて執行し其の地域の細部計畫を地方官廳に於て實施する方法を適當とするや？ 然りとすれば大地方計畫は小地方計畫に先立ちて實施すべきや？

（3） 該計畫の實施さるる場合中央政府の監督を受くべきや？ 將又地方官廳の監督を受くべきや？

5） 公 園

（1） 田園區域內に於ては公園の設置を必要とするや？

（2） 如何なる範圍迄田園計畫は戶外慰樂場を都市居住者のため設備すべきや？

（3） 村落は如何なる種類の運動場設備を必要とするや？

（4） 國立公園又は保留地はこれを必要とするや？ 然りとすれば農業上の利益は如何にしてこれを保持すべきや？

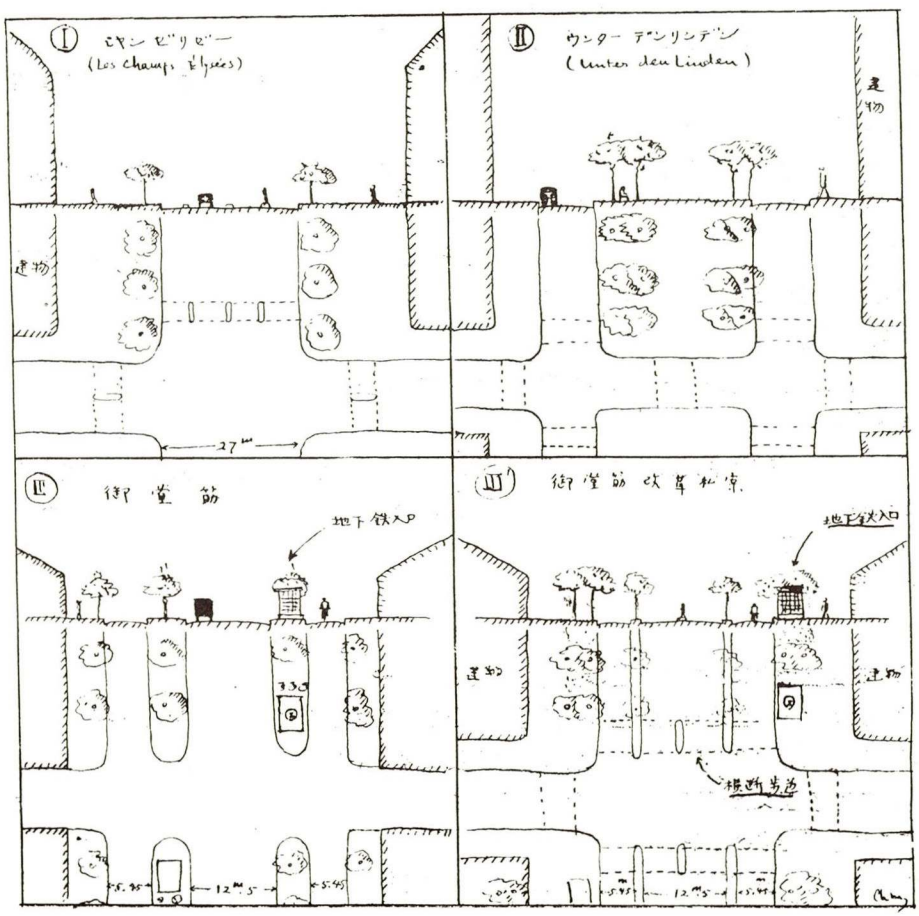
（5） 公衆が自由空地並に森林等に接近するの自由權ありや？

都市と交通

森　忠一

洋の東西陸の新舊を問はず近來人口の急激なる都市集中即都市そのものゝ異常なる膨脹に伴ひ都市の交通が今日の都市計畫の最も重要なプログラムの一つであると云へるが、こゝでは一般都市交通問題の統計學的數字や乃至は歴史的見地に依る研究をするのではなく我商工國の都會の一例として大阪市の交通の現狀とその特殊性や、その施設、並に取締り等に關する實際的な所感の一、二を述べるに過ぎない事を先お斷りして置こう。

木造の平家と鐵筋コンクリートの高層建築が隣り合ふ如く道路に於ても所謂二十四間の大通りより一歩入れば自動車一臺の通行すら困難なる横路多く共に其の懸隔甚だしく、良き中間を構成すべきもの無い事を特徴とする。而し狹い道路は我が都市に限らずアフビヤ



人の都市や、中世紀に榮えし西歐の都市にも其の多くの例を見る自分には所謂二十四間道路が珍らしい。開設早々とは云へ周圍に建つ土に喰ひ付いたやうな木造の家並とコンクリートの堂々たる都市の幹線道路との對照が極めて度ぎつく見える。

こゝに大都市の幹線道路として現存せる三つの型と一つのプローゼを掲げやう。

I はシヤンゼリゼー型とも云ふべきもので極めて廣い歩道にその重點を置きそこに並木は勿論休息のための椅子、ベンチの類、散歩者に便利な新聞雜誌、タバコを賣るキオスク等が所々のカフエーのテラスと相まつて都市景觀に一種のニユアンスを與へる。街路上の生活を樂しみ得る巴里人にはこの型が好まれる。

II はウンターデンリンデン型で上り下りの車道を區別する幅の廣い〔中間遊歩地〕を設けそこに並木、ベンチ及び砂塲等の施設ありて一種の小公園の觀をなす。ベルリンの如きブロツク割の比較的大なる都市ではこの中間帶の利用も（そのために人々は車道を横斷する嫌ひがあるが）相當効果がある。

III は我が御堂筋型である、緩行車道と急行車道を數メートルの幅を有する中間帶で判然と區別して居る。

特に緩行車が一般交通を混沌たらしめる今日の我が都市ではかゝる施設が重要視さるゝは當然の事であらう。

この型 III に於て緩急行車道の區別する巾數メートルの中間地帶に、地下鐵の出入口を開く。このために地下鐵の乘降者と車との平面交叉となり、又將來の車道の擴張を困難ならしめる重大な難點を有する事は誰しも氣付く事ではなからうか。又地下道のある塲所は別として路面上に明快な横斷歩道の施設不備の爲横斷者は極度の危險に曝される。

客を乘せた自動車は恰もヒツトラー自慢の自動車道路やムツソリーニ得意の自動車專用道路上であるかの樣にスピードが速い。

こゝに III 型の代りに III′ 型を提案しやう。

今日の我が都市の交通機關程その型態並に運動の仕方に於て多種多樣なるものは他にその類を見ないであらう。路面上のみにしても手押車、自轉車、三輪車、人力車、小車、大車、荷馬車、荷牛車、自動自轉車、自動三輪車、自動車、電車、等があり即小は乳兒車より大は郊外を走るやうなボーギ式の市內電車、遲きは荷車の人と牛の歩みより速きは客を拾つたタクシーに至るまで、型の大小、速さの緩急の兩極端の開きが大きく而もその中間に種々雜多の段階の車馬の存在する事は交通機關相互の能率を極度に低下せしめ、圓滑なる交通を阻止すると同時に多くの危險を伴ふものである。

〔1頭の馬が1000馬力の動力を止める〕なる標題のもとに一臺の荷馬車の横斷のため多數の自動車、電車、が立往生せる挿繪がル、コルビユジエの著書〔都市計畫〕の中にあつた樣に記憶するが、不幸にも我が都市では馬車の代りに貨物を滿載せる肩挽車、自轉車、或

は三輪車（人力に依る）の圖を掲げなければならぬであらう。

こゝに三通の普通自動車運轉免許證がある。何れも同一名義人であるが、交付年月とその場所を異にす。

昭和8年（1933）3月14日　巴里警視廳　　交付番號862554號
〃　9年（1934）9月7日　ロンドンカウンチーホール　〃　640029號
〃　10年（1935）4月25日　大　阪　府　　〃　8871號

この免許證の發行番號とその自動車數との間に何の關係あるかは別問題として少くとも自分にはこの桁違ひなる番號の開きが示す如くに外國の都市で自動車が多數でありその使用が一般化して居ると云ひ得るであらう。

幸か不幸か我が都市では自動車、特に自家用少なく外國の如くに自動車通行それ自體は勿論そのパーキングや車庫が都市交通の切實な問題となつて居ない。唯比較的多いタクシーの〔流し〕を禁するためのタクシー駐車場施設等が當面の問題であらう。我がタクシーは歐米の自家用車の如く毎年新型を採用すること。運轉手の平均年齡が恐らく世界中で最も若いと思はれること。外國では犬か、乘客のトランクを積む席に助手と稱するものが同乘し恰好の良くない客引と些細な車の事故に大喧嘩をする事以外に大した曲のないこと。客を拾つた車の速さは世界記錄であり、無暴にも電車の右側を平氣で追ひ越すことを特徴とす。此の最後の點に關しては當局の嚴重な取締りは勿論細心なる乘客側よりも充分コントロールすべき事を記して先へ進まう。

自轉車が都會を問はず我國にては簡便なる交通機關として重大なる役割をなして居る、恰も地中海沿岸の荒漠たる山地國ギリシヤ、や、イスパニヤに見る驢馬の演ずるそれの如くに。

西歐にてはデンマルクや、オランダが自轉車國としては既にクラシツクに屬すると云へやう。

次にオランダの自轉車と、我が自轉車とはその使用の仕方に於て如何に異なるかを少し詳細にながめて見やう。

アムステルダムの自轉車がまつすぐに略似寄つた速さで走るが、大阪の自轉車が極めてまちまちの速さで、而も蛇行するのは何故であらうか。自轉車の構造そのものには何の相違もないのみならず、ロツテルダムに於てはメイド、イン、ニツポンのマークを打つた多數の自轉車が僅少のフロリン貨と交換さる今日であるのに。

アムステルダムの自轉車には荷臺がない。この點が問題を解く鍵ではなからうか。この荷臺を持たない爲にオランダの自轉車では大體に於て速さが一定で、たとひ〔追越〕の場合にも大きな荷物ないために車幅一定で且つ他に〔追越〕すべきより緩行車がないために眞直ぐに進む事が出來る。此れに反して我都市では荷車、三輪車（人力）、荷物を積む自轉車、荷物のない自轉車の順に〔追越〕しが起り最後のものは市電の軌道上に乘り出す場

叩が多い。又互に積む荷物の大小によりて車幅が異り、ためにジツグ、ザツグな歩みをしなければならん。オランダにては平日は通勤、休日は郊外へのピクニツク用であり、我國に於ける場合と根本的にその用途を異にする。

即ちアムステルダムにありては自轉車は足の代用であり、將來はツウリスムの自動車に化すべき性質のものであり大阪に於ては自轉車は二つの輪の付いた天秤棒であり次第に其の輪の數を增して三輪車、四輪車、即將來は貨物自動車となるべき運命にある。

以上によりて自轉車が他の交通を阻止するのはその數の多い事よりも一層過大なる荷物を積む事に基因する事を知つた。この見地より自轉車の洪水に最もひどく惱む我が大阪（例へば堺筋）ではその積荷の制限をすべきである。交通取締規則には自轉車の積荷の最大限を幅50糎、長さ60糎、高さは地上より 150 糎と規定してあるのだから、これを勵行すべきではなからうか、少くとも自轉車交通の最も頻繁な道路上に於ては。

次に動く自轉車から店頭に置かれて居るものに目を轉じやう。

車道歩道の別なき道路又は折角の歩道に極めて雜然と置かれた多數の自轉車のあることは我が特有の街上風景である。このため元々廣くない道が恐るべく狹いものとなり大いに都市交通を阻害することは論をまたず。歐米の都市が今日惱める自轉車のパーキング問題は我々にあつては自轉車に就いてである。自轉車の亂雜なる放置は單に交通上よりのみならず都市美觀上より切に憂慮さるべきではなからうか。都市美を害ふものとして常に槍玉に擧る電柱や、廣告塔よりも脚下に取亂された塵箱や自轉車が一層醜い場合がある。

この自轉車の置場に付いては都市生活を對照とする我々建築家の關心すべき一項ではなからうか。

產業道路とか軍用道路上てはいざ知らず市內道路にありては歩行者の保安が第一義的に尊重さるべきものである。

〔人は人道、車は車道〕の標語は立派であるが歩道を有する道路は都市全體の道路に比して極めて僅かである。歩道のなき市中の狹い道路を通る歩行者程みじめなものはない。荷造場の如く山と積まれた木箱、自轉車、三輪車の雜然たる間を縫ひつゝ前後からせまる自動車におびえて、ジツグザツグと驢馬の歩みを學ばねばならぬ。折角の歩道上でもやはり自轉車、芥箱及建看板が林立し、しばしば歩行者の行手をはばむ。道路の不法なる占有の取締りは到底規則通りに行かないが、狹い道路の半分近くを占有する交番所の立退きから先づ初めるべきであらう。交叉點も又歩行者を苦しめる。最近改設せられた交叉點は極めて廣大な八角形をなして居る。其のために橫斷歩道の長い所では靴をはいた男足でも信號中に彼岸へ渡り着くのが容易な業ではない。歩行者は此の長い橫斷歩道に自分達のための避難地帶さへ見出さず又車のための所謂〔廻轉交通〕の設備もないのに氣付くであらう。

周圍に極めて低い家を廻らし何の設備のないこの大きい交叉點に於て唯扁平的に延び行

く大大阪市の縮圖を見る感じがするであらう。此の交叉點の大きさに應しいものとしてはボギー式の電車と雷の如き交通巡査のメガホンの聲としかない事に氣付くであらう。

現在では交通信號や交通巡査の居る交叉點にのみ鋲を打つた横斷歩道及其の標識の明示あるも歩行者にとつて本當に必要なのは交通信號や交通巡査の居ない場所である。交通規則では所謂〔優先交通〕として横斷道路上の歩行者に優先權を認めて居るが肝心の横斷歩道の設備と其の明示のないことが實に遺憾である。

將來我が都市も自動車數の增加によりますます歩行者の生命がおびやかされるゝに鑑み車に對して所謂治外法權地帶とも稱すべき横斷歩道が設置され歩行者の優先權がより尊重せられなければならぬ。即車は横斷道路の前にては徐行し若しそこに一人の歩行者ある場合にもかならず停車しなければならぬ。その通り歩行者には横斷歩道外の歩行を禁じられて居る。前者が嚴守さる場合には必然的に後者が遵奉せられるのであるから交通整理の行はれざる場所への横斷歩道の施設とその明示が先決問題であることをこゝに繰り返へさう

∴

最後に詳細にわたることをこゝで止めて我が都市の交通の錯雜にして不統一なるは如何なる理由に依るかに一寸觸れて見やう。これは古來我が國にはきはめて强い家族生活あるも共同的乃至は公共的な都市生活が營まれないことが大なる原因ではなからうか。即都市の形態より見て極めてだゞつ廣いことが今日の問題である〔公共企業〕を困難たらしめて居る。

都市の衛生設備や美觀についても同斷である。現代の歐米に於ける所謂大都市主義は極度に發達せる都市機構の都心よりへ郊外の横溢であるが我が都市では其の內容の充實を見ずしていたづらに膨脹するのである。此のことが愈々都市の近代化と矛盾をきたし都市生活を極めて不便な、不愉快な而も高價なものとするのではなからうか。

交通機關〔主として車並に道路〕そのものゝ發達の遲くれた理由として、我々の祖先が動物力の充分なる使用を知らなかつた事をこゝに附記しやう。

都市美雜感



中尾保

「川と川との中之島、大江の橋や淀屋橋、中に聳ゆる高殿は、日本銀行支店なり……」は一柳先生の作になる明治三十六年第五回內國勸業博覽會當時の大阪を表徵した歌であつた。

日本銀行の前を通る毎にこの歌を思ひ出す。あの小つぽけな日本銀行は當時の大阪にとつては大廈高樓だつたのだ。それから思ふと今日の發展振りは文字通り驚嘆に値するものがある。

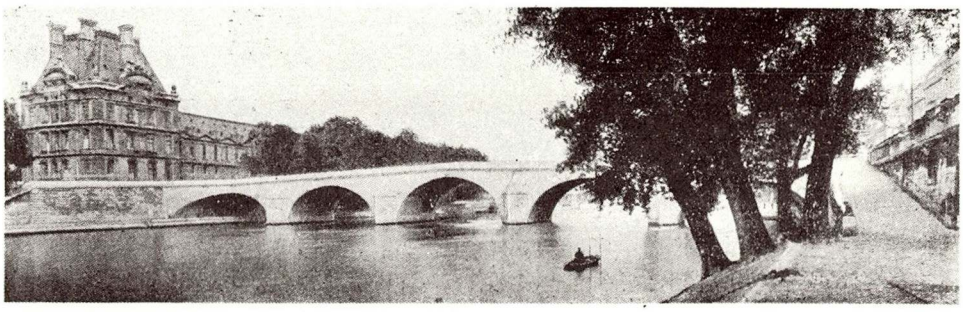
小學校の教科書に載つてゐる大阪の鳥瞰圖も十年毎に取替へねば生徒にウソを教へる事になるといふ話である。

帝都東京にいたつては大震災後すつかりその容姿が變り歐米先進國の大都市と肩を並べて敢てヒケをとらぬまでに進んで來た。しかしこう云つた言葉の出るのも感想の湧くのもたゞ過去を知つてゐるからのことで本當の都市建設はこれからである。この際歐米の都市を充分研究し吟味して將來に備へることこそ肝要であり急務でもある。たゞ注意すべきは現在の歐米都市の模倣であつてはならぬ。數百年も費して出來た外國の諸都市は近代文化を入れる用意に缺くるところあつたため少々行き詰つた形である。これ等の模倣でなく一歩も二歩も進んだものにすべきである。幸にして日本の諸都市はバラツクであるためこれからの建設にも改裝にも好都合である。こゝに斷片的ながら紙面を拜借して感想の一端を記すことを光榮とする。

都市計畫の再吟味

およそ世の中にムヅかしい事は多々あるが都市計畫もまさにその最たるものゝ一つであらう。政治、經濟を度外視すれば或は簡單になるかも知れないが實際は複雜極るものであるがため、これを計畫するには弘法大師のやうな人の現れざる限りあらゆる方面の綜合知識を必要とするため專門家を網羅する一大ブレーントラストによつて進めねばならぬ。しかも現時を對稱としての計畫でなく百年の大計否二百年三百年の大計でなければならぬ。（數千年後のことは考へぬ方がよいが）——

しかして事實現在の日本に於てその通りであつか極めて怪しいものゝ如く思はれる。第一都市を知らぬ都市計畫委員などあつてはならぬ。頭の後れた政治家や事無かれ主義の役



水の巴里・ロイヤル橋

人達であつてはならぬ。三百年前ワシントンはそれであつた。都市計畫を佛人マジョルランフアンに委囑したところ彼は心血を注いでやつとプランを作製したが時の爲政者に一人としてランフアンのプランに理解を持つものなく「こんな馬鹿な大きなものでなくもつと實際的なものに縮めてくれ」といつたところランフアンは「これはベストプランであるこれ以上のことは自分には出來ぬから他の人に依賴せよ」と云つて斷つた。そして他に小さなプランを作製しそれによつて實施したが三百年後の今日ワシントンは遂に行き詰り何うにもならぬところからランフアンのプランを探し出して開いて見たが始めて彼の意のあるところが解つたが今更何うにもならぬのでせめてもにとランフアンの銅像を建設したといふ滑稽な笑へない話がある。

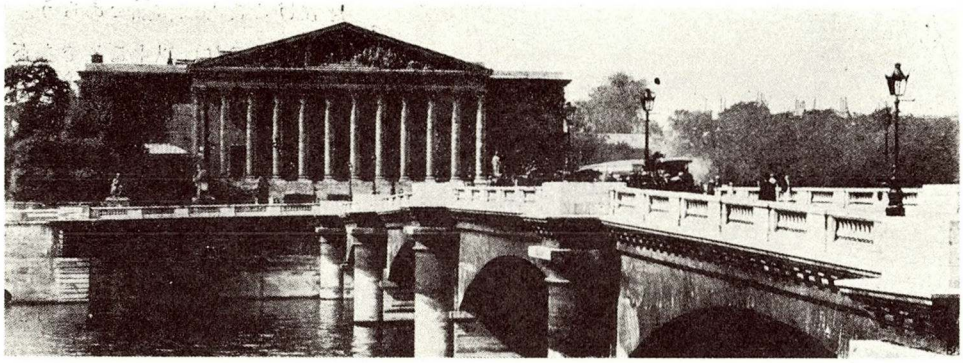
日本の都市は幸にしてまだ成長の途中にある小供であるから今の中なら何うにでもなるのだから此際再吟味を試みることを切望して止まぬ。

都　市　美

都市を構成する諸機關が充分にその機能を發揮し得るやうに計畫されるところに都市美の根本義が存するものと思ふ。「美を愛するは人間の本能だ」とはラスキン一人の言葉で



水の巴里・ロイヤル橋



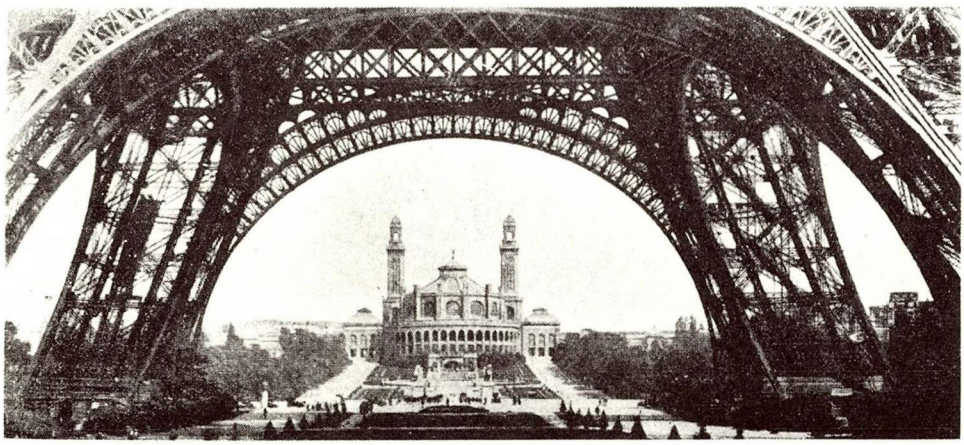
水の巴里・コンコルド橋

はなく凡そ生あるものゝすべてが美を愛する本能を有つてゐるらしい。本能たる以上我々の生活から美を引き去つては生存が出來ない。我々は眼を樂まさねばならぬ。田舍の人は自然の景色を滿喫することが出來るが都會の人は人工物を美の對稱とせねばならぬ。そこに都市美の必然性を痛感する。公園、廣場、街路樹、河川、橋梁、建築物等から眼の保養を計らねばならぬ。都市美は都市計畫の上に重要な役目を有つことはいふまでもない所以である。

美觀地區と風致地區

美觀地區や風致地區を設けることは確に良いことではあるがたゞ問題は美觀とか風致とかといふことは主觀的のものであるからこれを客觀的に移すには各主觀の最大公約數を採ることは便利である。

そこでコムミツション制度が必要となつてくる。美に對する專門家でない政治家や警察官だけの頭でこれは美であるとか無いとかを決定することは當を得たことではない。建築家、藝術家、科學者等の中から多くのコムミツテイーを選出して美的價値を審査する機關



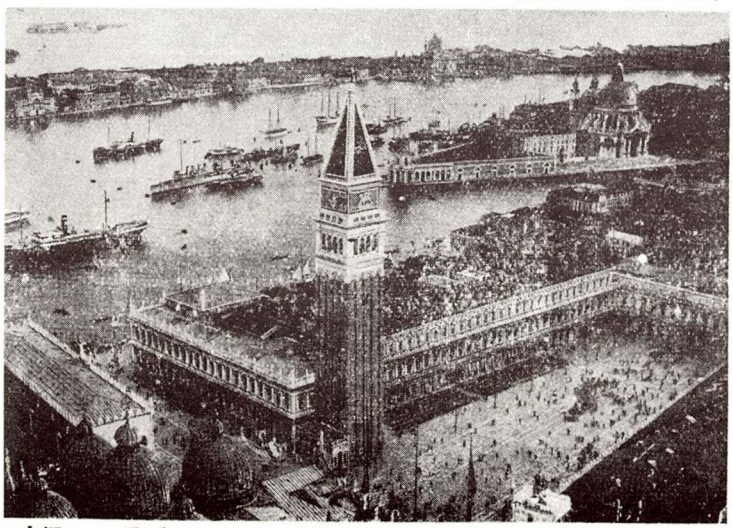
巴里・遠く見ゆるはトロカデロ



水都・ベニス



水都・ベニス（左はバラツツオ・デユカール・正面に立つ二本のピラーは何と美しい姿ではないか—サンマルコの廣場の方を見た風景）



水都・ベニス（サンマルコの廣場—右上はサンタマリアデラサリユート）

を設けることは當然であらう。美に規準のない以上これでも不合理な點もあらうが要はたゞそのコムミツテイーになる人の選び方一つである。その邊で人々は先づ得心するであらう。ある海水浴場から一切赤色を禁ずるとか、ある町には赤と青とのコントラストが風儀を亂すから許可せぬとか、ネオンランプは風教上よろしくないとか甚だしきはネオンランプは火災のおそれがあるから禁ずるとかいふ〇〇がゐたといふ。中學校でガイソリル管の實驗の日に缺席した人としか思へぬ。學識はおろか常識にすら缺けてゐるこの種の人々の主觀に美觀の審査を任すことは危險である。外國では早くからコムミツション制度を行つてゐる。

廣告物と電線

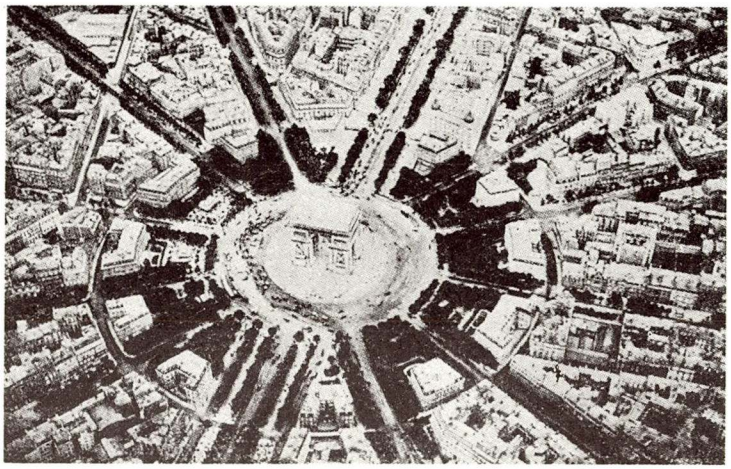
都市美を破壞する主なるものは廣告物と電線とであらう。日本の都市殊に大阪でさう思ふが廣告物が處せまきまでに圖々しく街頭にのさばつてゐるがこれこそ風致を害する最も甚だしきものであらう。まるで廣告物の中に大阪市が存在するの觀がある。廣告物必ずしも惡いとは云はぬ。位置と大さとその意匠の宜しきを得れば却つて裝飾にも

なり美しくも見える。廣告的價値は單に大さによると心得ては誤りである。理髪店やタバコ屋は小さな看板でありながらよく遠くまでその存在を見せてゐるではないか。廣告の大を爭ふことは全く無意味である。廣告塔や建築物に附ける廣告の意匠は前述の美觀審査委員會をパスしたものでなければ許可せぬやうにすべきである。ルネツサンス建築は彫刻物のペデスタルに終つた如く近代建築が廣告物のペデスタルにならぬ防止策を講ずる要があらう。十日戎の吉兆にまでソースやお菓子の廣告をブラ下げる人達の頭には壁面や空間に廣告せぬのは間違ひだと心得てゐるのだからたまらない。

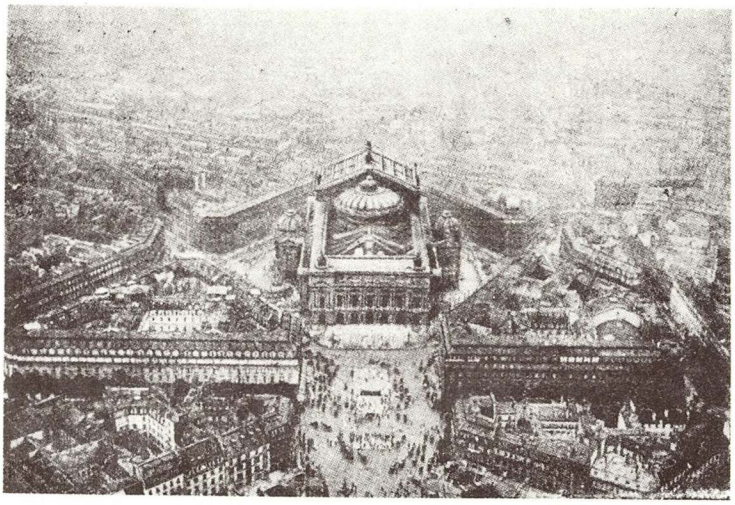
廣告物と同時に町の美を破壞するものは蜘蛛の巢の如く張られた電線やその間の電柱の類である。止むを得ないことながら都美の强敵である。これは地震の關係などで地下埋設は或は工費の關係上困難かも知れぬが大したことでもなささうに考へられる、何とかしてほしいものだ。

不調和が調和

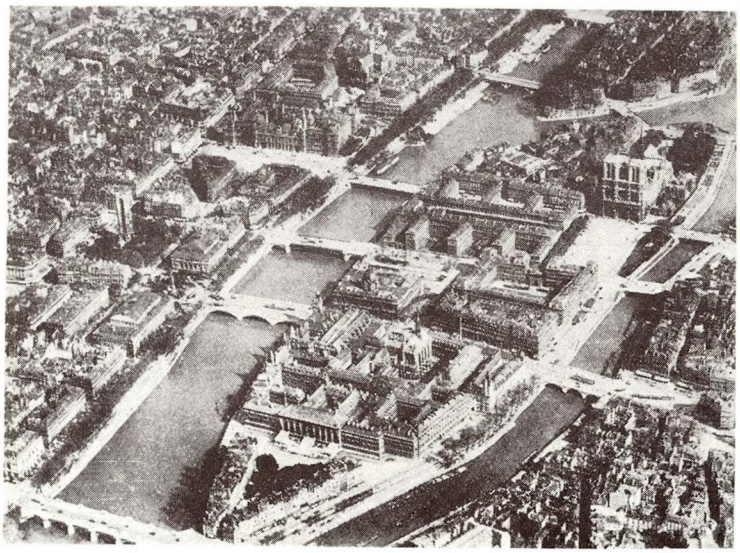
「調和」といふことをよく云ひたがる人がある。成程物には調和といふことがある。よい言葉である。穩當に聞え如何にもそ



巴里・エトアール



巴里・オペラの前



巴　里



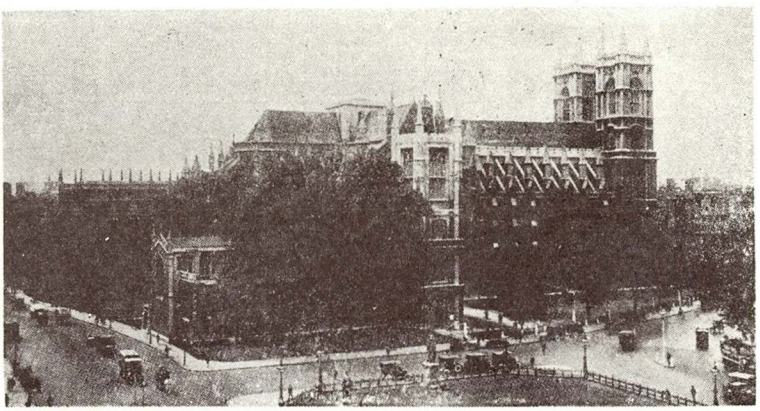
巴里・コンコルドの廣場

の人が思慮分別がありさうに見える。けれどもその種の人の不調和だと思つて居たことが調和であつてみたりする。

或建物がルネツサンスだからその近所の橋もルネツサンスにせなければ調和せぬと考へることが間違ひである。それでは世の進歩といふものはない。橋に調和するためにその近所の建物はルネツサンスその隣りもルネツサンスその又隣りもルネツサンスでなければ調和を缺くといふ理になる。これ等は十六世紀の夢を見てゐる人達である。二重橋は宮城に調和せぬといふ人は恐らくなからう。二重橋は當時の最もモダーンな西洋式であつた事に氣づいてほしい。



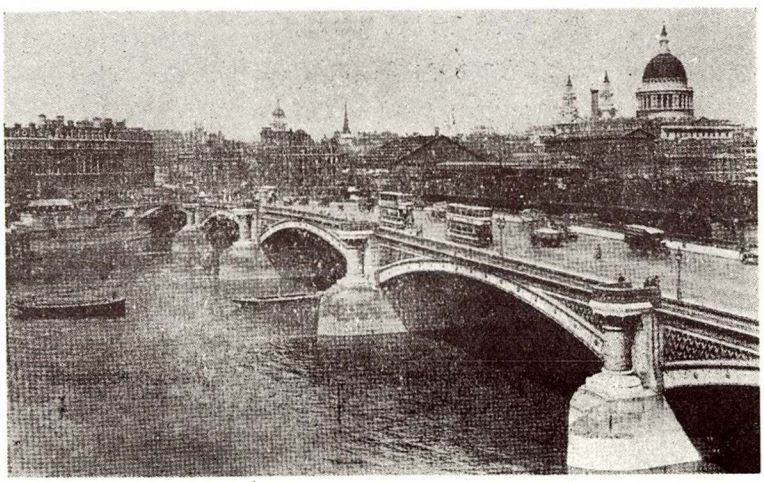
巴里・シヤンゼリゼー



ロンドン・ウエストミンスターアベー附近

三月堂もよい例である。

松の樹は鐵筋混凝土造に不調和だと唱へた人があつた。松林の公園の中には木造の觀音造（？）でなければ許されぬなどといふ滑稽な話も出る。洋服を着た人が松の樹の根本へ行くと不調和だと考へるところに錯覺がある。神社とか宗教的建築とか



水のロンドン

は別として現代造る建築物で現代人が使用するものなら何處に建てゝも現代日本式でちやんと調和する新しい建築と古い様式の建築とが軒を並べても決して不調和でない。中之島や丸の内を空から見た時一つのマツスとしての美を見せてゐる。そのマツスの中にいろいろの建築があるので面白い。古い都市が時代と共に移り變つて行く姿こそ本當の調和であり躍進日本の姿である。近時ベルリンやパリで見る例であるが一つの古い建物が一階、二階と新しい様式に改装されて行くのがある。彼等は必要に迫つて改装するのだから一向に不調和でないのが見ればよく解る。

誤まれる日本趣味と眞の日本精神

いくら云つても解らない人には解らぬと見えていまだに誤つた日本趣味や東洋趣味を信仰してゐる信者のあるのには驚く。而もこの種の人が多く支配階級に居るのには呆れざるを得ない支配階級なるがためにそれが建築美や都市美の上に何れ程害毒を流すか知れない。「メートルでは日本精神が出ない。矢張り尺、間でなければならぬ」と考へてゐる人種である。軍艦の大砲も兵隊の銃もメートルで測定



ローマ・チベル河・遠く見ゆるドームはサンピエトロ右はサンアンゼロ城



ルーインのローマ・コロセアム附近



ローマ・サンピエトロから

しては日本魂に影響するとでもいふのであらうか。舊日本文化の一時代の形態を移すことを日本趣味と心得そこに日本精神が存すると解釋してゐるところに誤認があり錯覺がある。日本精神は過去の一時代の形態ではなく常に一定不易のものであることを忘れてはならぬ。チョン髷を結つたり袴を着る「形」だと誤解してはならぬ。形態は時代と共に移り變つて行くものであり日本精神は萬古不易のものであることを知つてほしいものだ。日本人は何時の時代においても外國文化を咀嚼して日本獨特の文化を築き上げて來た吾等の先輩はえらいものだつた。今や西洋文化を消化していよいよ新しい日本文化を作るべき時代に到達してゐる。そして逆に世界をリードせんとする曙光さへ見えて來たではないか。現代日本文化の形態は新興躍進日本の形態でなければならぬ。建築物の上に觀音堂のやうなお城のやうなものを着つけると懸賞募集に當選するやうでは困りものだ。それが良いのだと信じてゐる心が情けない。過日新京でロータリークラブの招宴を受け「新京の建築を評せよ」とのことであつたが無遠慮に私心なく新京の建築物を罵倒したがそれが却つて喝采を拍したのを喜んでゐる。事實滿洲國都新京の建築物のすべてとはいはぬがその大部分は「何彼につけての錯覺見本集」であることが遺憾であるがこの種の好適例の一つであらう。

都市の綠化と水

最後に綠化のことを御願ひして置く。「田舍の人にはも少し赤色を見せねばならぬと同時に都人にはもつともつと綠色に接せしめよ」と醫學界でも高唱してゐるがその點大阪の如きは益々綠化の必要を痛感する。

盆栽を唯一の庭園とするニューヨークの高層アパートメントに住んでゐる人達には同情するが、パリやベルリンの町々が樹木に惠まれてゐるのは羨ましい。マロニエの花咲く頃は巴里全體が公園のやうな氣がする。ウインターデンリンデンを散歩するとベルリン全體が街路樹に包まれてゐるやうに思はれる。東京は大阪に比べると餘程綠色に惠まれてはゐるが大阪も煤煙防止と綠化運動は急務の一つであらう。

綠化と同時に河川の水をもつと清潔に出來ぬものであらうか。これは下水道や汚物處理といふ根本問題に觸れることでもあらうが隅田川のボートレースといへば水の臭氣を聯想するしドブのやうな道頓堀川にボートを浮べて赤い灯青い灯を樂しんでゐる人々をみると氣の毒になる。セーヌ河でもテームス河でも綺麗だから氣持ちがよい。ダムがいよいよ失敗らしい大阪も何とか次の策を案出せなければなるまい。何にしても日本の各都市を出來るだけ美しくするには建築家がその中心となつて努力せねばならぬことは自明である。—（漫言多謝）

廣告術に現はれたネオンサイン

龜井幸次郎

1　まへおき
2　電飾による東西盛場景觀
　イ・銀座の夜と電飾
　ロ・心齋橋筋の“ひとで”と灯
3　ネオン廣告の調査
4　採集せるネオンサイン
5　色の對照の性質とネオンの配色。

1・まへおき

近來都市美と云ふことが屢々輿論を刺戟し且つ都市計畫上重要な問題として、關係各方面の視聽を集め、之れが對策の一日も忽せに出來ないことが一般に理解され、それが驅て美觀地區の指定と云ふことになつたのは、時代の進展と共に文化のレベルが高まりつゝあることを立證するもので、洵に喜ぶべき現象であると思ふ。之れは同時に、建築物の實際的統制を計り、都市構築の合理的整備へ乘り出す機會を吾人に與へられたことを意味するものであらう。けれど此處に問題になるのは、如何なる手段と方法が都市美增進に、必要で且つ合理的なものであるかと云ふことである。我國に於ては、之れが統制に關しては僅かに都市計畫法及市街地建築物法と、其他二三の法令に依據するのみで、然も斯る方面への行政事務の大半は上級官廳の一部に屬するの結果、美的行政の效果を充分ならしめる事は容易でなく、且つ各法規は其の所在する當局の意圖の下に行はれるからして、常に連絡交涉がなく、幾多の不利不便が伴つてゐる譯である。於茲筆者は、法の運用をよく實情に合致せしめ、都市景觀の統制を期し、市民をして美的環境の內に快適な生活を樂しみ得る都市美維持增進に關する連絡統制機關の設置を要望するものであるが、同時に一方飜つて現代都市の景觀を型造る街頭に存在する素材に對する檢討の必要を認めるのである。即ち一方に民衆の都市美に對する理解と輿論を高め、且つ之れが助成指導機關として、官民共同による都市美審查委員會の如きの設置を要望する者であるが、又他方には我々個人個人の自覺によつて、達し得る素材の檢討の必要を認める者である。何故ならば、之れは、我々都市にその生活をゆだねて居る者の、日々に經驗もし、或は考へもし得る素材が、目前に稚積して居ると思ふが故である。例へば、都市の活動のシンボルとさへ思はれて居る街頭廣告が、都市景觀統制への妨害となるや否やと云ふが如き問題だけでも、充分檢討の餘地ある問題で、之れが正しき認識への進展は、驅て都市景觀統制問題を正道に導き得る素因をなすと思ふが故である。

斯くの如く考へて來ると、其處には、路上工作物、街頭廣告、或は夜の都市が“光”に歸因して惹起する問題等全く枚擧に暇なき程、夥しく多數の問題のある事を知るであらう。が然し、筆者は此處では、是等の問題一つ一つに就て、物識顏的なことを記述したり或は口角泡を飛ばすの論爭の陣を張つて、廣告街への指導原理の提案などとえらさうなふるまいを仕樣などと、たいそれた考への毛頭もない事を特にお斷りしたい。只筆者の希望とするところは、以上の問題の研究の一部に資する資料を提供したいと云ふ願望に外ならないのである。然かもその資料たるや甚だ貧弱な論するに足らないものかも知れないが、然し此の企によつて一人でも多く、同好の志の參加を望み、更に暗示に富んだ好資料の、追加されん事を願望するのである。

2・電飾による東西盛場景觀

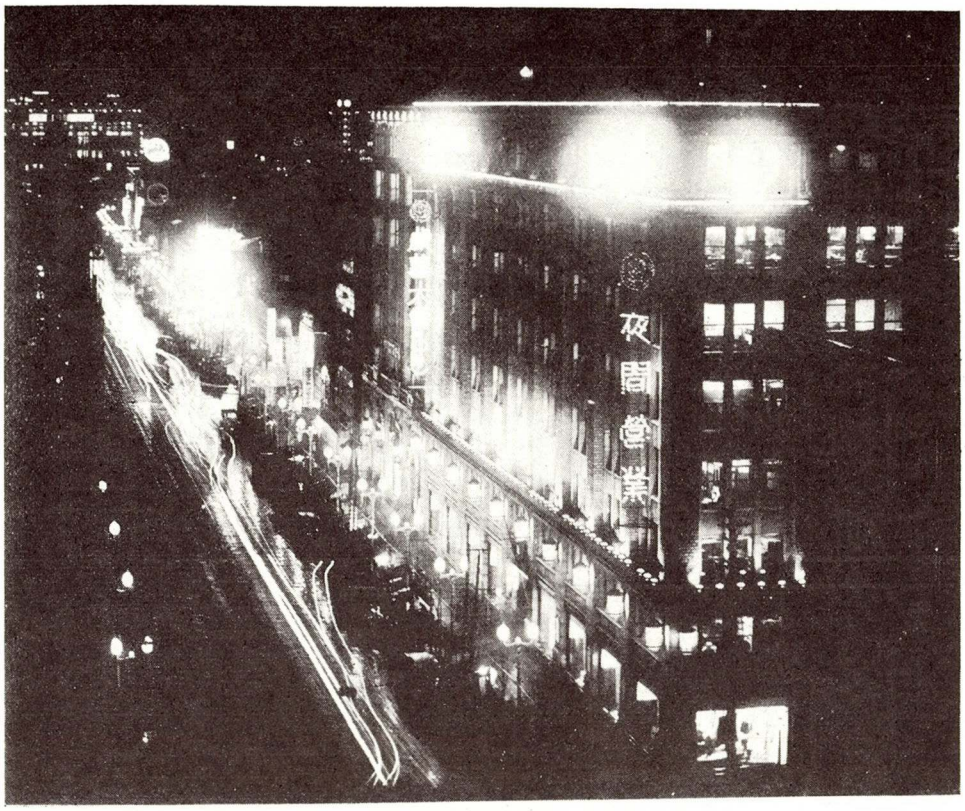
イ・銀座の夜と電飾

順序として、東西大都市の盛場の夜を比較して見る事にする。

モダンライフの最尖端を行くと謂はれてゐる銀座に就てゞあるが、一口に銀座と稱しても、東側と西側とがあり、南北に關しては、京橋より四丁目（俗稱尾張町）までと、四丁目より新橋までと、それぞれ、その趣きを異にして居る。一般に銀座と云ふのは、昔ながらの銀座、即ち一丁目より尾張町までと數寄屋町、紺屋町等の三十三ケ町を合併して出現したが、現代の所謂“大銀座”である。その中に包含する戸數が大小約 4,200 戸、銀座子として、銀座に寢起してゐる人間が、15,000 人內外、その內 8,000 人が女子と云ふことになつて居る。之れに加ふるに銀座界隈のカフエやバー或はデパート等に通勤してゐる女給やショツプガール等を加へれば、女子の數は、素晴らしい數字を示す事は想像に難くない。こゝらが、銀座と云へば何處となく白粉の香り高い街を想像される所以でもあらう。註1

俗に銀座らしい色調を出してゐるのは、尾張町即ち銀座四丁目より新橋までの西側と稱はれて居るが、兎に角、新橋と京橋間、銀座八丁目にズラリと並んで居る店舖の數は 250 餘軒で、ゆるく廻つてゐる赤い風車のネオンライト、眩暈を感ずる百貨店のイルミネーション、ビーズ珠を聯ねた樣な電光ニユース等々、灯、灯、渦卷く灯の海の銀座一不夜城の銀座に、實は一晩に 300,000～400,000 燭光の灯が輝いてゐるのである。斯くの如く、銀座も電飾によつて益々その存在を明かにしてゐると云ふことが出來やう。そして光による銀座の存在が、その內容とするところは、いづれも各自それぞれの店舖の廣告を目的とした電飾に外ならない事に氣が付く、そして之等の廣告が最早廣告自體としてゞはなく銀座の存在には、なくてならない必要物として、夜の都市景觀を形造つて居るのである。なかでも大カフエのネオンサインによる廣告は、或る意味で、銀座に活力をさへ與へて居ると云へる。

（註 1. 小林隆德氏著、カフエ・レストラン・高等建築學第49編）



第１圖　銀座の夜の電飾 1　服部屋上より松屋を望む



第2圖　銀座の夜の電飾 2　カフエ銀座會館及クロネコ



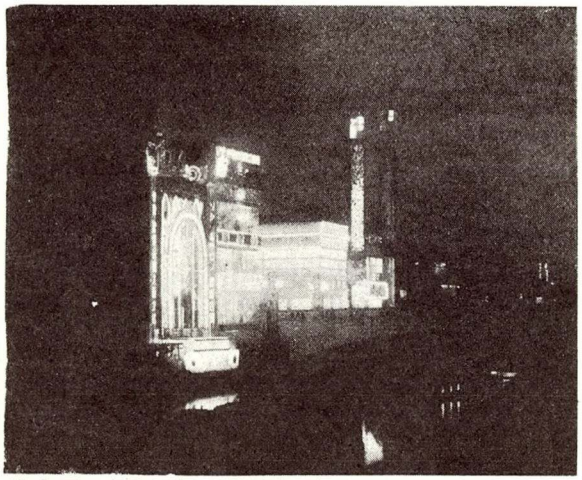
第3圖　銀座の夜の電飾 3　銀座パレスのネオン

ロ・心齋橋筋の“ひとで”と灯

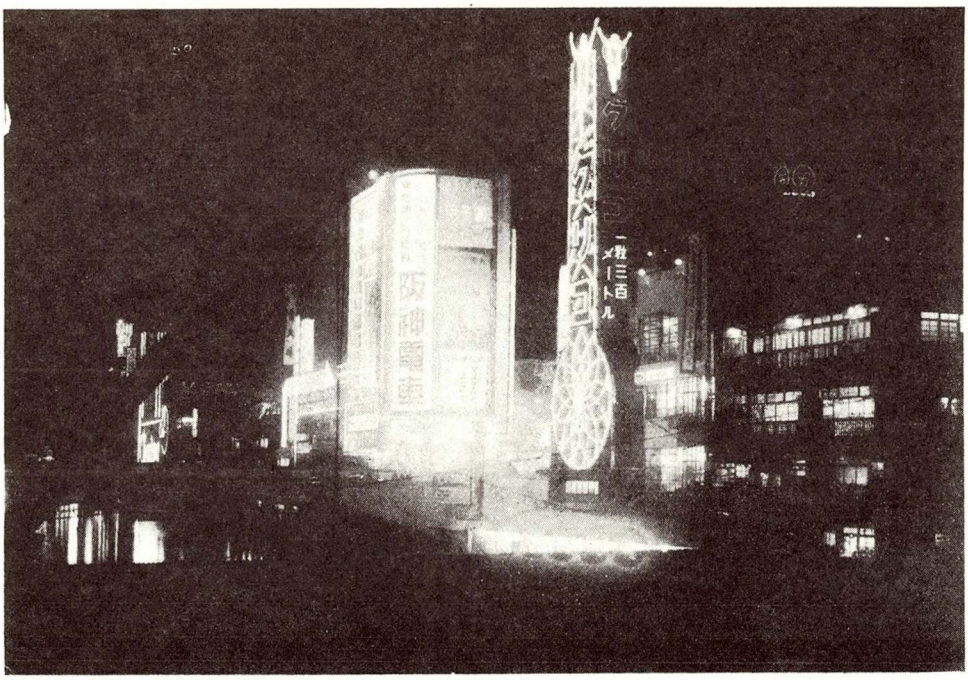
銀ブラに對するに、心ブラを以つて大阪の盛り場なる心齋橋筋を漫歩する代名詞としてゐる。江戸ツ子に取つて（所謂モダンボーイズ）銀ブラは、彼等の生活の一部でさへある如く、大阪の先尖端を行く“いとはんとぼんぼん”に取つて、日に一度以上は心ブラを樂む事も彼等の日課の一部分であるに相違ない。そして大阪人の心ブラへの魅力は、細長く心齋橋から戎橋まで（心齋橋筋一丁目より二丁目まで）14ブロツクの兩側にズラリと軒を



第4圖　心齋橋南詰の商店と電飾



第5圖　戎橋南詰、電字廣告とネオンサインで裝飾されたギンザ會館



第6圖　ネオンサインのみによるグリコの廣告塔と電飾、スポツトライト及ネオン等を雜然と使用した松竹アドビル。遠くにあるマルタマのネオンの效果とアドビルの隣にあるグラントのネオンの必要以上に使用された狀況を對比されたい。

並べた大小146軒（西60軒東78軒昭和十一年一月十一日調）の小賣商店の經營を可能ならしめて居るのだから恐ろしいものである。が然し何故心齋橋筋が、かくも大阪人種の氣持をとらへて繁昌して行くのであらうか、それ等の原因の詮索は專門家にまかすとして、赤い灯青い灯の盛場として、電光の飾る夜の盛場景觀は、自然に人の足を此地に運ばしめる今如何なる程度、又は狀態に、あたかも夏の虫が灯に集つて來る如く、所謂不夜城なる此の盛場をさして、人が來るか、大阪商大助教授松井辰之助氏による心齋橋筋商店街の人の交通量の調を檢討して見る。但し調査せる時季が、去年の夏なるを以つて冬の寒い日週末通常の日又は物日等によつてその狀態に樣々な變化のあるのは勿論である故に次表に示された數字のみを以つて、心齋橋論の結論とするのはいさゝか早計に失すると思はれるが、尠くとも人出の如何に多きかを知る或る日の一現像となす事は可能と思ふ。

第 1 表

心 齋 橋 筋 商 店 街 交 通 量

（昭和10年7月9日金曜日、調、晴天）　　註2

心 齋 橋 商 店 街 南 行 歩 行 者

時間	調査の場所及男女別														
	心齋橋南詰			地下鐵心齋橋南詰降客			地下鐵大丸入口入店數			大丸南辻角			戎橋北詰		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
午前 9～10	670	550	1,220	289	230	519	148	163	311	938	665	1,683	980	275	1,255
10～11	674	590	1,264	336	266	602	208	242	450	834	580	1,414	718	380	1,098
11～12	632	577	1,209	318	283	601	190	236	426	914	660	1,574	735	512	1,247
午後 0～ 1	716	610	1,326	332	252	584	190	207	397	1,105	806	1,911	800	574	1,374
1～ 2	765	774	1,539	505	327	832	221	278	499	1,160	1,037	2,197	1,008	825	1,843
2～ 3	706	677	1,383	493	310	803	284	276	560	1,213	1,138	2,351	1,100	991	2,091
3～ 4	615	613	1,228	406	303	709	321	263	583	1,478	1,540	3,018	1,313	1,176	2,489
小 計	4,778	4,391	9,169	2,679	1,971	4,650	1,561	1,665	3,226	7,692	6,456	14,148	6,654	4,733	11,397
4～ 5	1,146	640	1,786	440	249	689	301	214	515	1,718	1,453	3,171	1,673	1,170	2,843
5～ 6	1,308	598	1,906	490	261	751	279	155	434	2,147	1,639	3,786	2,359	1,593	3,952
6～ 7	1,470	555	2,025	539	172	711	258	96	354	2,575	1,825	4,400	3,045	2,015	5,060
7～ 8	1,670	540	2,210	480	186	666	284	133	417	2,060	960	3,020	2,525	1,170	3,695
8～ 9	948	303	1,251	418	157	575	102	48	150	1,988	852	2,840	2,473	1,208	3,681
9～10	226	66	292	358	127	485	—	—	—	1,926	943	2,869	2,420	1,245	3,665
10～11	143	43	186	148	32	180	—	—	—	1,131	324	1,455	2,350	1,130	3,480
小 計	6,911	2,745	9,656	2,873	1,184	4,057	1,124	646	1,870	13,545	7,996	21,541	16,845	9,531	26,376
14時間合計	11,689	7,136	18,825	5,552	3,155	8,707	2,785	2,311	5,096	21,237	14,452	35,689	23,499	14,274	37,773

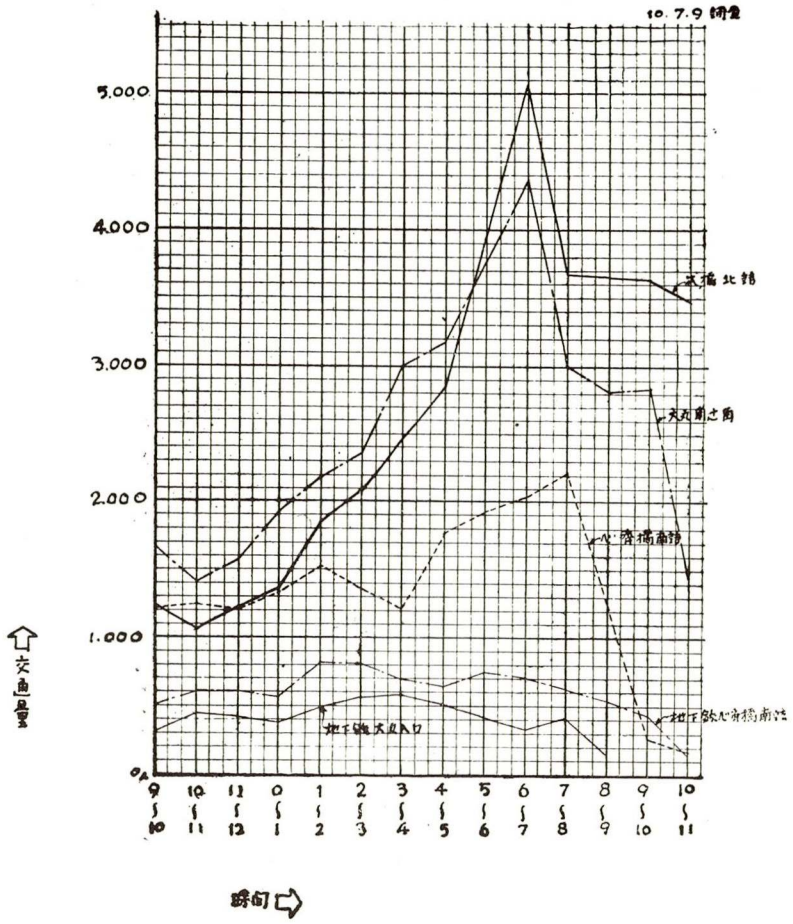
心齋橋商店街北行歩行者

時間	調査の場所及男女別														
	戎橋北詰			大丸南辻角			地下鐵大丸入口入店數			地下鐵心齋橋南詰乘客			心齋橋南詰		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
午前 9～10	974	695	1,669	1,095	810	1,905	55	38	93	289	140	429	427	160	587
10～11	794	582	1,376	880	604	1,484	96	64	160	148	64	212	590	296	886
11～12	681	521	1,202	808	565	1,373	90	94	184	163	112	275	604	439	1,043
午後 0～1	611	635	1,246	959	701	1,660	112	115	227	206	149	355	751	456	1,207
1～2	878	715	1,593	905	758	1,863	140	166	306	238	181	419	605	412	1,017
2～3	948	812	1,760	1,000	978	1,978	181	188	369	250	247	497	675	544	1,219
3～4	1,137	1,035	2,172	1,198	1,298	2,496	225	225	450	320	243	563	755	646	1,401
小計	6,023	4,995	11,018	6,845	5,714	12,559	899	890	1,789	1,614	1,136	2,750	4,407	2,953	7,360
4～5	1,118	965	2,083	1,320	1,215	2,535	174	218	392	323	328	651	1,052	916	1,968
5～6	1,304	968	2,272	1,303	1,028	2,331	175	182	357	328	286	614	1,221	1,006	2,227
6～7	1,490	970	2,460	1,285	840	2,125	176	145	321	333	244	577	1,390	1,095	2,485
7～8	1,685	865	2,550	1,515	720	2,235	129	88	217	327	162	489	1,090	580	1,670
8～9	2,030	1,000	3,030	1,864	968	2,832	50	39	89	346	140	486	723	378	1,101
9～10	2,375	1,135	3,510	2,213	1,215	3,428	—	—	—	365	117	482	356	175	531
10～11	2,215	1,170	3,385	2,050	1,280	3,330	—	—	—	363	124	487	332	185	517
小計	12,217	7,073	19,290	11,550	7,266	18,816	704	672	1,376	2,385	1,461	3,786	6,164	4,335	10,499
14時間合計	18,240	12,068	30,308	18,395	12,980	31,375	1,603	1,562	3,165	3,999	2,537	6,536	10,571	7,288	17,859

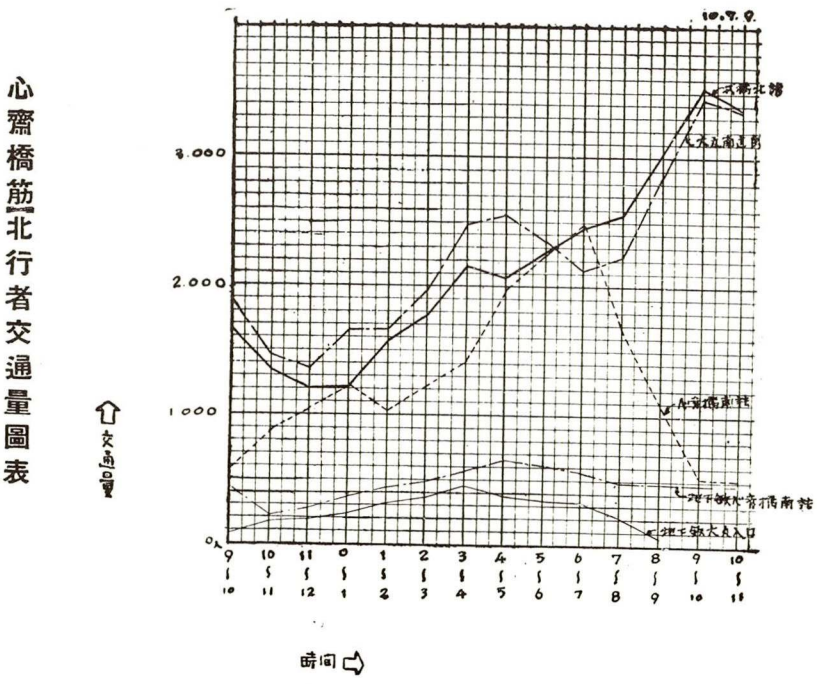
註2「大大阪」 11卷9號　大阪商大助教授　松井辰之助　"心齋橋商店街の交通と販賣との關係について"。

以上の數字が示す如く日中より夕方以後の人の出が盛になつて來て居るのが解る。即ち赤い灯、青い灯が心齋橋筋の街頭を飾る頃から9時頃にかけて、增々雜踏を極め、場所によつては身動きが出來ざる程度の混雜を招來して居るのである。そして紫外線色、赤色橙色及綠色等種々雜多なるネオンライトが、盛場としての都市景觀を形造るべく、右往左往する人々の流れと調和して一種特有の雰圍氣を醸して居る。今試みに夜の戎橋々上に立ちさんらんと輝いて居るネオンライトの華々しい點滅の有樣を凝視してごらんなさい。我々は、光の點滅するビビツトな雰圍氣のなかより、活動の大阪、成長しつゝある大阪、そして日本の金庫であるところの大阪を感するでせう。筆者は、此の素晴らしい大阪を呼吸するとき、夜の電飾が如何に偉大に、夜の大阪へその勢力をさゝげて居るかを窺知するのである。

第2表・心齋橋筋商店街交通量圖



心齋橋筋南行者交通量圖表



心齋橋筋北行者交通量圖表

3・ネオン廣告の調査

電氣廣告としてのネオンライトの利用は夜の都市景觀とは切り離して考へる事の出來ない程度に發展して行くものであらう。然らば是等の電飾が如何なる現狀に於てあるかを明かにせねばならぬと思ふ。筆者は以上の如き考へから、電飾による廣告の實際を調査する機會を得たいと願望して居つたところ、今回はからずもその機會が與へられ、此處に不取敢ネオンサインの調査を行ふことにしたのである。先づ調査の小手調としてその方針を定める資料蒐集と云ふので暮の最も多忙な時季を“忙中の閑”と云ふので實例採集に着手したのである。そして約56の實例を蒐集することが出來たのである。

採集にあたり、採集者が私的考へや理想などを加へざる事を採集の方針としたのである勿論無數にあるネオン灯の中から採集し得た實例が僅か56と云ふのであるから、決して之れを以つて一般の代表型であるとか、又は推擧に價する程度に特徴があるとか云ふのでもないのである。が然し尠くとも將來此の方面の資料蒐集の參考にはなり得ると思ひ、整理した內容の發表の機會を得た譯である。

採集に參加した人員と期間は下記の通りである。

1・採集に參加した人々　1日6人.(但し毎日勤務の歸途1日1件と云ふことにして採集せり)

2・採集期間・　自　昭和10年12月12日
　　至　同　12月24日　} 10日間（但日曜日を除く）

尙ほ採集の條件として次の事を決める必要を認めた。何故ならば、目的がネオンサインの“快又は不快”を調査するとしても、個人個人の氣持、或は感覺等によつて引異のあるのは勿論で、又調査する日の個人の懷中の具合等によつても相當の差異を生ずるものである故、調査に參加する人々が、出來得るかぎり、調査の目的も、方針も知らない、白紙の狀態で、彼等の直感そのまゝが調査カードに反影して來る事を必要とした。と云ふのは、ネオンサインによる廣告をせんとする廣告主、或は之等のネオンサインを彼等の視覺によつて感ずる人々と云ふのは、我々以外の一般大衆にして、殊に後者は、日常全くの白紙の狀態で之等を感じ、そして彼等の直感のまゝでその“好し惡し”を云々する人々であるからである。で此の一般の民衆の聲こそは常にネオンサインの設計及意匠上に反影する力であると認めたからである。そこで採集の條件として下の2項を決めたのである。

1・ネオンサインの設計意匠に對して希望も理想も有しない一般大衆と同じ氣持で採集する事。

2・第1項の如き純水な白紙の氣持で採集せんとするネオン廣告の“快又は不快”を直感すること。

以上の2項を豫め調査の方針として、自家の建物にネオン廣告をして居る所謂看板に相當する物、他の建物及工作物にネオン廣告して居る普通の廣告等と、飮食店のみはそれ等より除外して、イ　カフエ、ロ　食堂、ハ　喫茶店、ニ　日本料理又は小料理屋と云ふ樣

にして分類して採集したのである。

4・採集せるネオンサイン

56の實例を分類して見ると下記の如くでなる。即ち、

1・飲食店　33

イ　カフエ、キヤバレーの類……13　　ロ　喫茶店、バラーの類…… 7

ハ　食堂、ビヤホールの類…… 8　　ニ　小料理、日本料理店の類… 5

2・看板の類　註3　11

3・廣告の類　註4　12

註3 商店にして自家の廣告を自家の建物にして居るもの、註4 同自家の建物以外にしてゐるもの

以上の結果を採集カードを整理し、且つ細分して、第3表、第4表、第5表、第6表及第7表を作成したのである。

第 3 表　　飲　　食　　店

註5　　イ、カフエー　キヤバレー　　註6

採集ネオン番號	調査日	位置	店名	廣告名	使用の色	快又は不快	備考	調査員
1	12	上本町三丁目市電停留所前	キヤバレーユタカ	丸に豐の兩側“キヤバレーユタカ”	赤青	不快	赤縦線 4本 青横線 1本 字體赤	H
2	12	北區梅田新道角	サロン上	サロン上	赤	不快	字體 圖案及配列まずし	N.T
3	14	東區小橋本通	軒葉軒	サロン オカマツ	赤	不快	電燈の光強き爲めネオンを弱める	M
4	14	港區西田中町三丁目	平和	カフエ 平和	淡黄のバツクに赤青	不快	平凡で複雜直線	T
5	17	京阪電車天滿驛前	フカクサ	フカクサ	赤青	快	赤線の垂直線が目立つた	N
6	20	南區心齋橋筋	大丸	サロン大丸	赤青線	快	小規模ながらまとまつて居る	N
7	21	下寺町交叉點	キヤバレーリリアン	キヤバレーリリアン	赤青線	快	青地に赤のLILIANの字がよい	N
8	22	港區東田中町七丁目	ギンカ	ginka	赤青黄	不快	神經を刺戟しすぎる	T
9	23	東區下味原町	カフエ親玉	キヤバレーオヤダマ	赤青	不快	複雜すぎ感じ惡し	M
10	23	谷町六丁目交叉點	交樂	ソシアルサロン交樂	赤青線	不快	下部のネオン無駄過ぎる	N
11	24	難波新地三番町	ワイントラピスト	Wine Trapist	赤青	快	簡單にして構成よく感じよし	N
12	24	東成區大今里町	大市カフエ	美食本位キヤバレー大市 CABARET DAIICHI	赤緑	快	赤と緑の字が交互に點滅す	M
13	24	北區天神橋筋	武乃志カフエ	武乃志	赤青緑	不快	くどく感じ惡し	N_2

註5・ネオン番號は第7圖と參照に便利なるために附したのである。

ロ、喫茶店及バラー

採集ネオン番號	調査日	位置	店名	廣告名	使用の色	快又は不快	備考	調査員
14	12	南區桃谷小學校東	マサヤ	マサヤ	赤青	快	他に目立つ色彩光線なく目立感好し	H
15	13	東成區大今里町	吉田豐次郎	純喫茶	赤	快	色の配合よろしい	M
16	13	港區西市岡町二丁目		喫茶	赤青	快	神經を刺戟せずあつさりして居る	T
17	16	南區南桃谷町	喫茶店コロンビヤ	Columbia	青	快		H
18	19	北區蜆橋堂ビル	森永キヤンデーストア	森永チヨコレート森永キヤンデーストア	赤青綠	快	青の直線が好い感じを與ふ	N
19	23	北區曾根崎中一丁目	喫茶店阪急	HANKYU TEA ROOM	青	快		N_2
20	24	港區東田中町八丁目	喫茶バラー	Para バラー	赤青	不快	物足らない感じがする	T

ハ、食堂及ビヤホール

採集ネオン番號	調査日	位置	店名	廣告名	使用の色	快又は不快	備考	調査員
21	11	東區下味原町八七	ふくや總本店	清酒富久娘	赤紫綠	快		M
22	13	上本町二丁目交叉點	やなぎや食堂	ユニオンビールやなぎや食堂	赤青	快		H
23	13	東區北濱二丁目北濱ビル	廣珍園	ハクツル北京料理廣珍園	赤青綠	快	色彩調和し感じよし	N_2
24	14	東區山ノ下町118	パンヤ食堂	合名會社パンヤの食堂さけシラユキ	赤青	不快	下品な感じ	H
25	16	東成區大今里町今里終點	飲食店河合てる	テーブル肉すき	赤紫綠	快		M
26	17	東成區大今里町市電終點	飲食店松村久好	ユニオンビール	赤	快	鮮明にして感じよし	M
27	17	市電玉造終點	一宮食堂	一宮食堂清酒キンロ	赤綠	快		H
28	23	北區梅田町	武藏牛肉店	アサヒビール	赤青	快		N.T

ニ、小料理及日本料理店

採集ネオン番號	調査日	位置	店名	廣告名	使用の色	快又は不快	備考	調査員
29	16	京阪天滿驛	京阪デパート	食料品部名代おでん地下入口	赤青綠	快	字體が變つて面白い	N
30	17	北區天神橋筋二丁目	みのる屋(喫茶店)	みのる屋	赤青	快	色彩調和よし	N_2
31	18	北區曾根崎中一丁目	料理屋むさし	むさし	青綠	不快	おとなしき色調なるも見遠がきかぬ	N_2
32	19	南區上本町六丁目	生駒すし	會席すき燒	綠	不快	バツクが綠でネオンが綠なるをも以て鮮明ならず	M
33	26	東區淡路町五丁目	料理屋かどや	銘酒キンパイ一品料理かどや	赤青綠	不快	字數接近して廣告を判讀し難し	N_2

第 4 表　其の他の商店

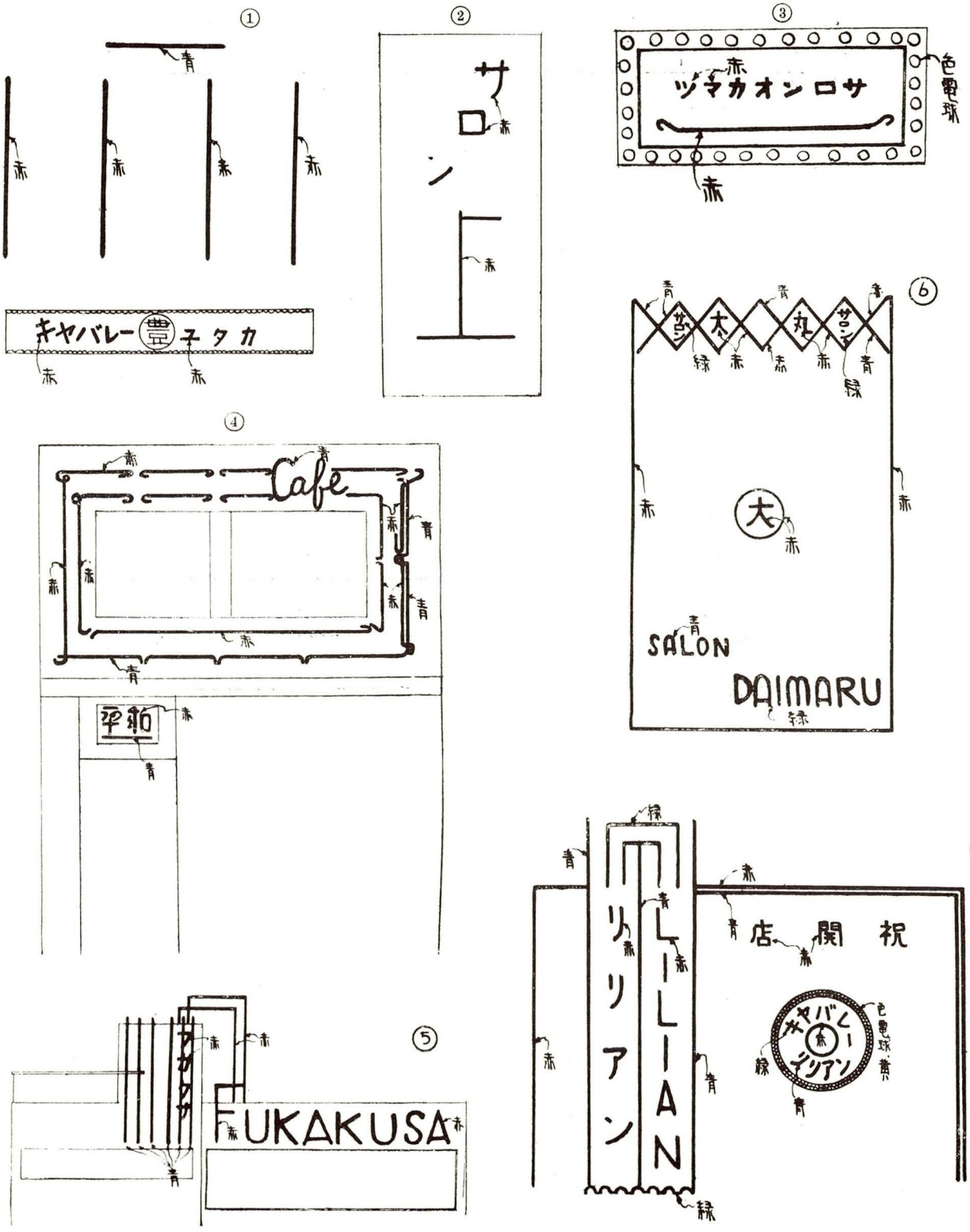
採集ネオン番號	調査日	位置	店名	廣告名	使用の色	快又は不快	備考	調査員
34	11	北區角田町	地下鐵入口	地下鐵のりば	赤青綠	快	簡單にして輪かくと字が調和して居る	NT.
35	12	渡邊橋北詰	ヨーギョーセメント會社	ヨーギョーセメント	赤	不快	二重のネオンにより字體が構成されてゐる爲め明瞭さを缺く	K
36	12	東區玉造市電交叉點	有田ドラック	有田ドラック	赤	不快	物足らざる意匠	M
37	13	西區北堀江通四丁目白髪橋南詰	オク川皮膚科	オク川皮フ科	赤	不快	餘り平凡であるもうすこし意匠に留意して美觀を添へる樣にしたい	T
38	13	大軌鶴橋	鶴橋驛	鶴橋驛	青	快		H
39	14	淀屋橋南詰	白洋舍	ドライクリーニング白洋舍	赤青綠	不快	赤が綠と青を壓して居る	K.N_2
40	16	東區京橋三丁目天神橋南詰		たばこ	赤青	快	簡單なるも煙草屋としては充分と思ふ	N_2
41	16 19	東區北濱三丁目	資生堂	SHISEIDO	青…N_2 綠…NT	快	軒に裝置し店稱としておとなしく感よし	N.T N_2
42	17	東區京橋一丁目京阪前	シモグチ	理容院	赤青	快	簡單にして不體裁ならざれども店名を一色になす方が更に效果的と思ふ	N.T
43	18	上本町二丁目交叉點		カメラ	赤	快も不快もなし		H
44	24	天滿橋南詰	京阪デパート	京阪デパート	赤青	快	平凡	H

第 5 表　獨立店の廣告

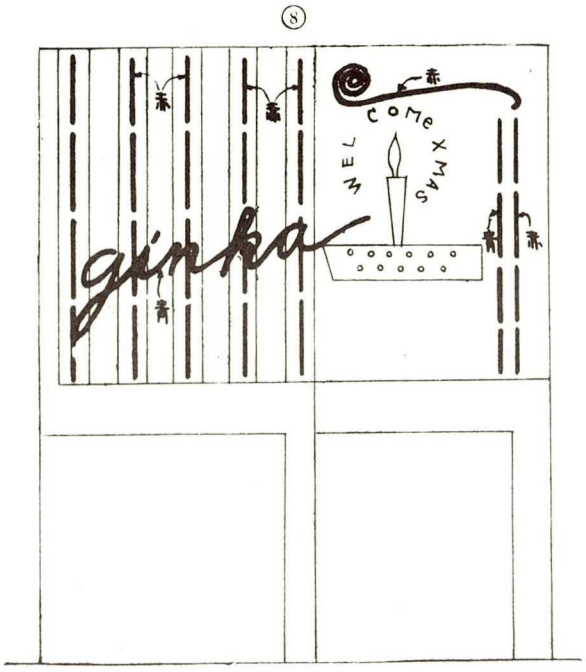
採集ネオン番號	調査日	位置	廣告のある店名	廣告名	使用の色	快及不快	備考	調査員
45	11	淀屋橋北詰	阪急アドビル	東洋セメント	赤綠橙	快	ネオンは赤のみ色電球綠橙	K
46	11	玉造市電終點	日の出通り入口	日之出通り	赤紫	快	單調にして夜の美觀を添ふ	T
47	14	淀屋橋河畔	かき船の上部	清酒ハクツル	綠	快	河畔の暗黑中簡單にして小廣告として適當	NT
48	16	港區東田中町8丁目		マツダ	赤青綠	快	簡單で色の調和よし	NT
49	17	南區末吉橋通4丁目	スズハン	スズハン	赤青	不快	平凡	NT
50	18	南區難波新地	難波驛前	レート白粉	赤青綠	快	小看板として適當なり	NT
51	18	市電境川交叉點北西		仁丹齒磨	赤	不快	仁丹の字のみがネオン	T
52	20	北區曾根崎新地		仁丹赤の大粒	赤青綠黃	快	色彩調和し感じよし	N_2
53	21	北區東梅田町		イカリソース	赤綠	不快	平凡	N_2
54	24	西區靱南通一丁目信濃橋		ウテナクリーム	赤青	不快	ネオンと電球の裝飾の組合せ	NT
55	24	天滿橋南詰	京阪デパート	仁丹齒磨 仁丹石鹼	赤青綠	快	文字形體共に感じよし	H
56	26	伏見町2丁目三越前	某煙草店	たばこたばこと仁丹製品	赤青綠橙	不快	上部の赤强過ぎる下部の色の配合よし	N

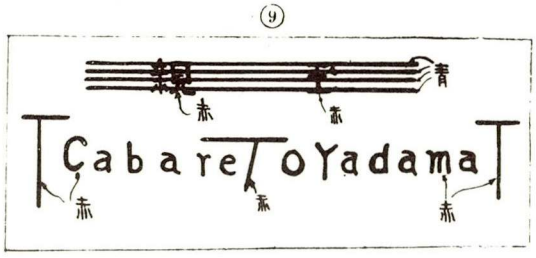
註6 第3表、第4表、及第5表に於て K. M. T. NT. N. 及 N_2 とあるは採集した人々のイニシアルなり

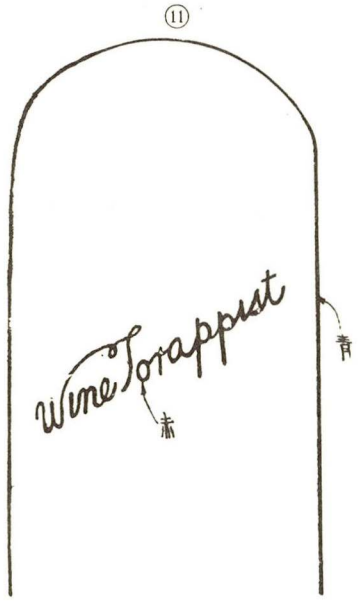
第7圖・採集せるネオンサイン(1)

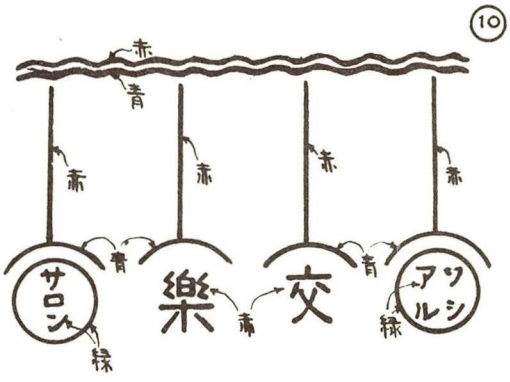


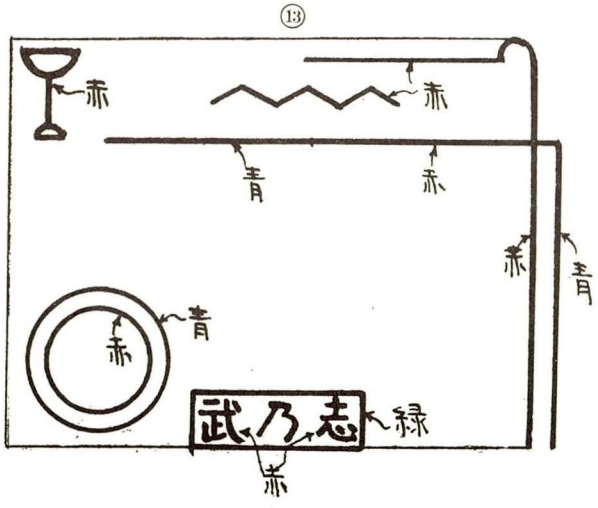
第7圖・採集せるネオンサイン(2)

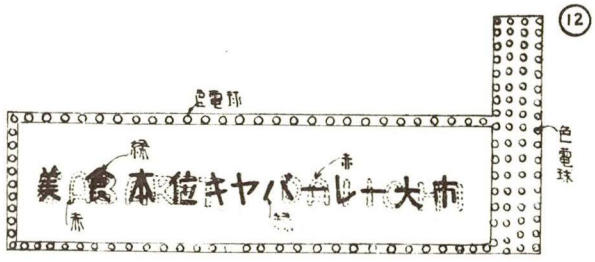


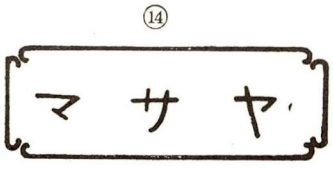








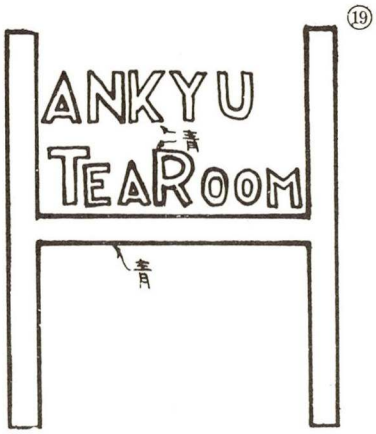


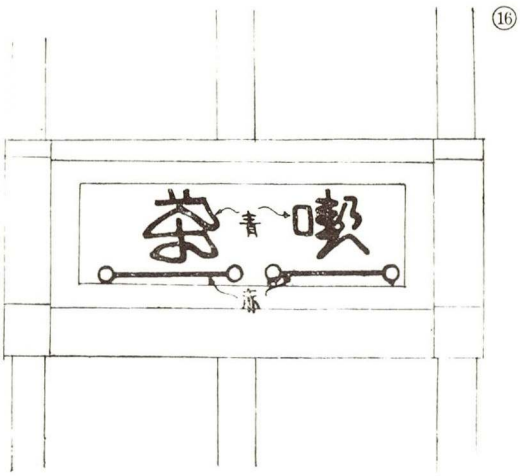


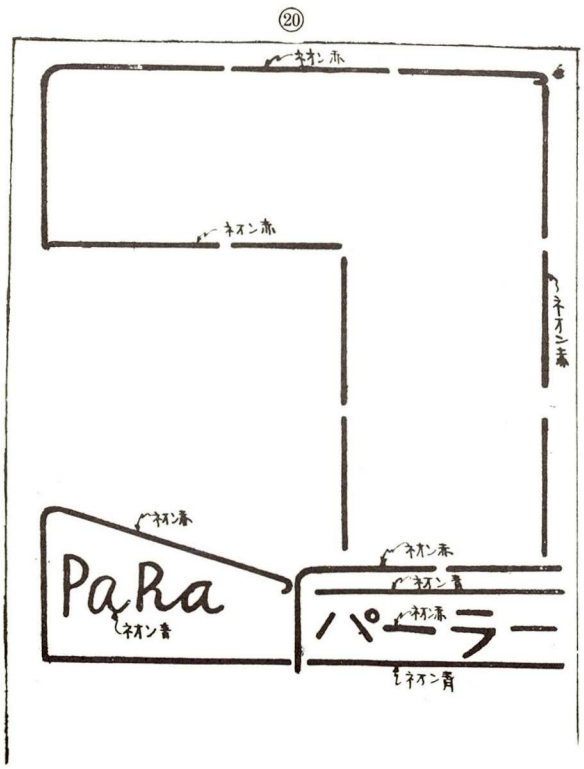
第7圖・採集せるネオンサイン(3)

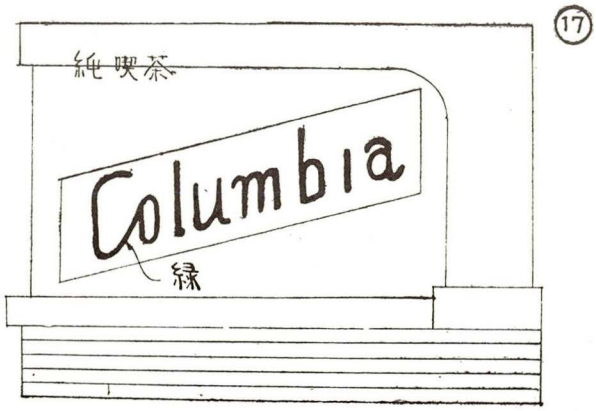






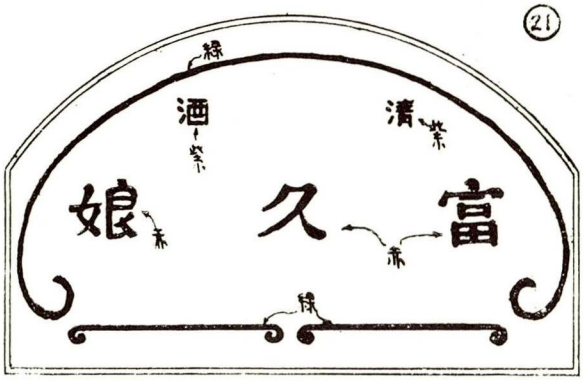




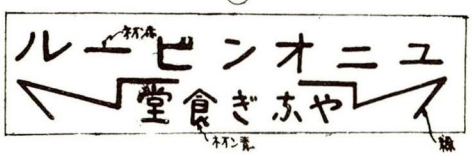


第7圖・採集せるネオンサイン(4)

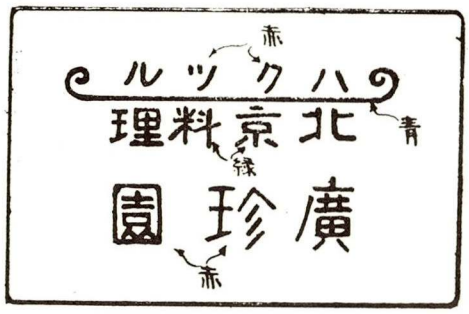
㉑



㉒



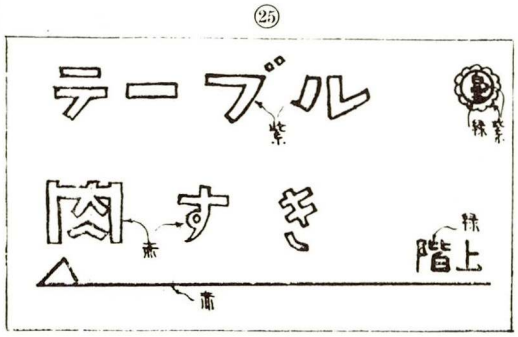
㉓



㉔



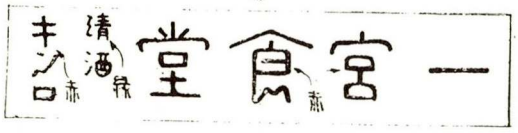
㉕



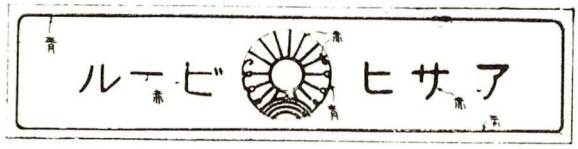
㉖



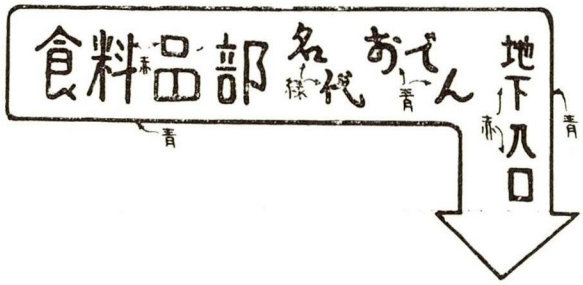
㉗



㉘



㉙



㉚



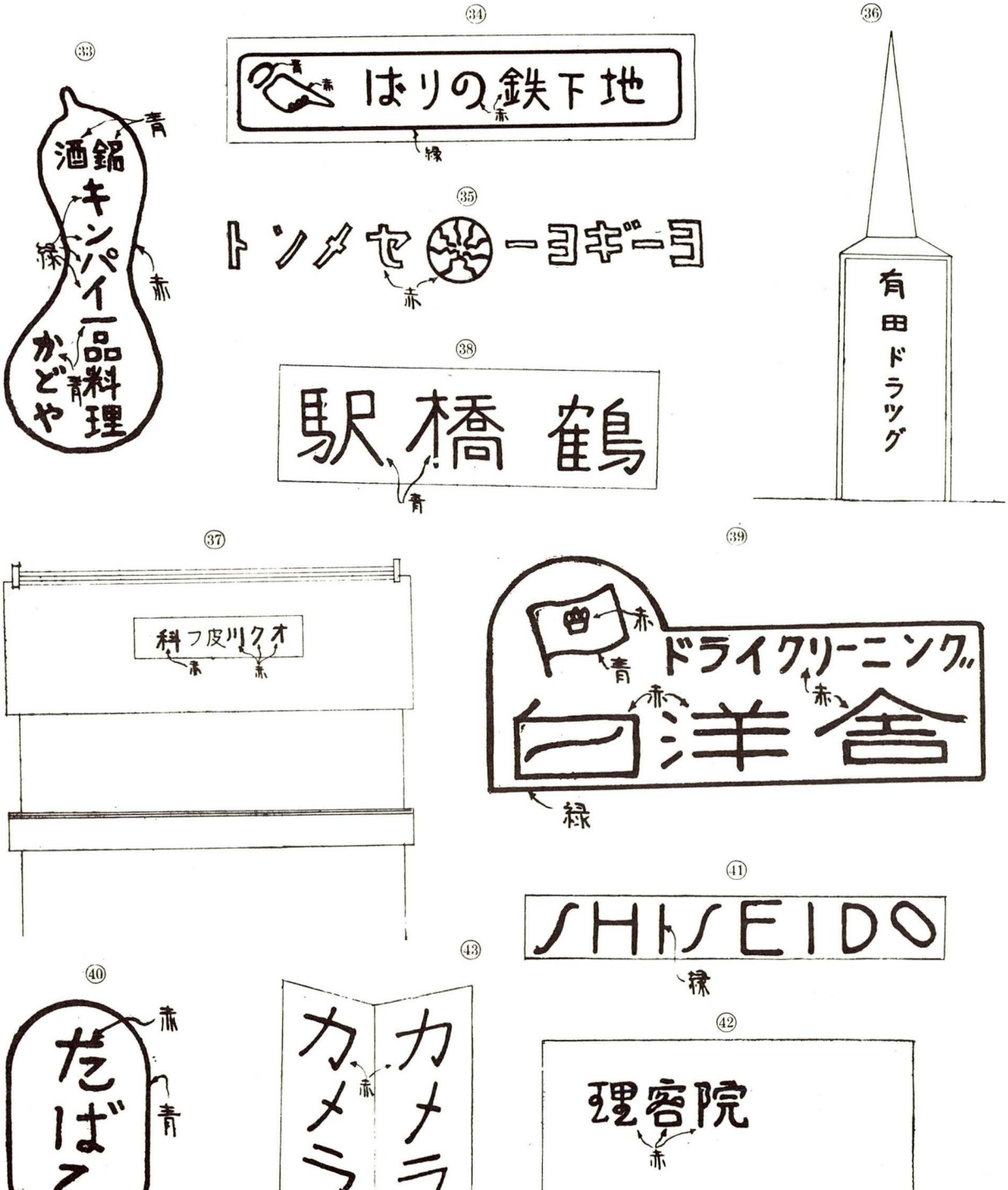
㉛



㉜



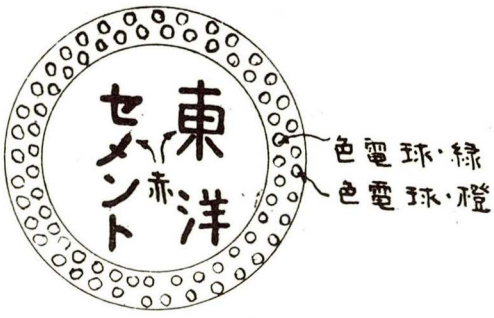
第7圖・採集せるネオンサイン(5)



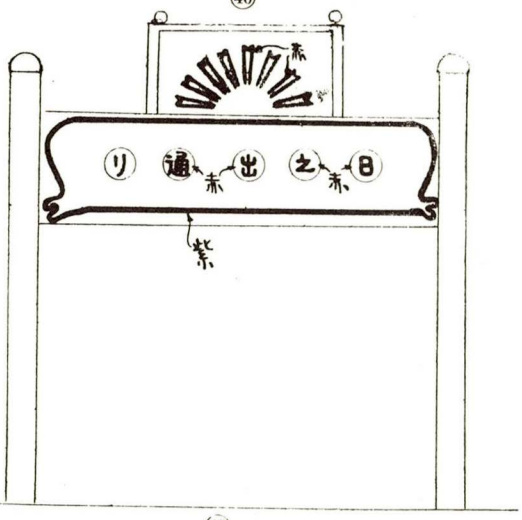
(44)



(45)



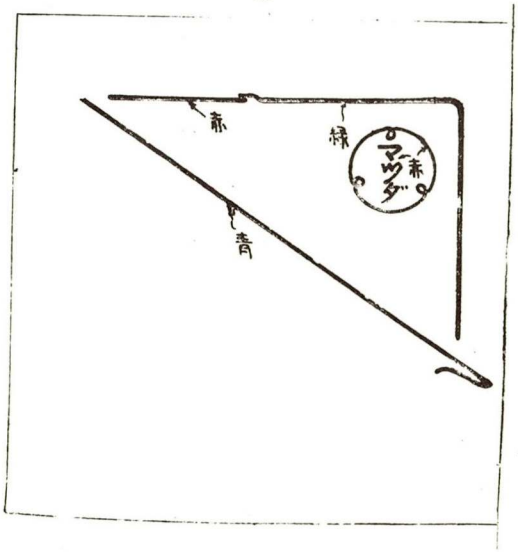
(46)



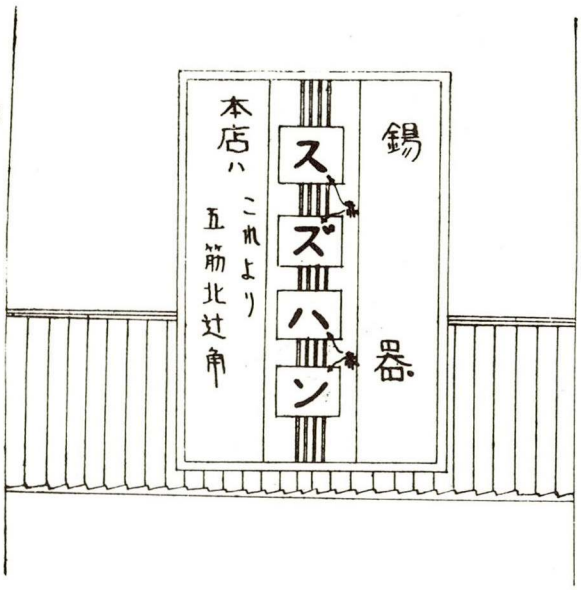
(47)



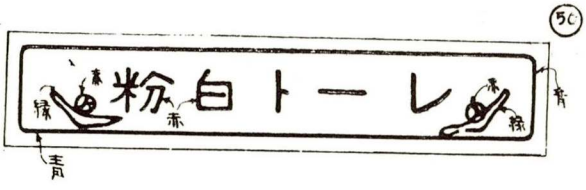
(48)



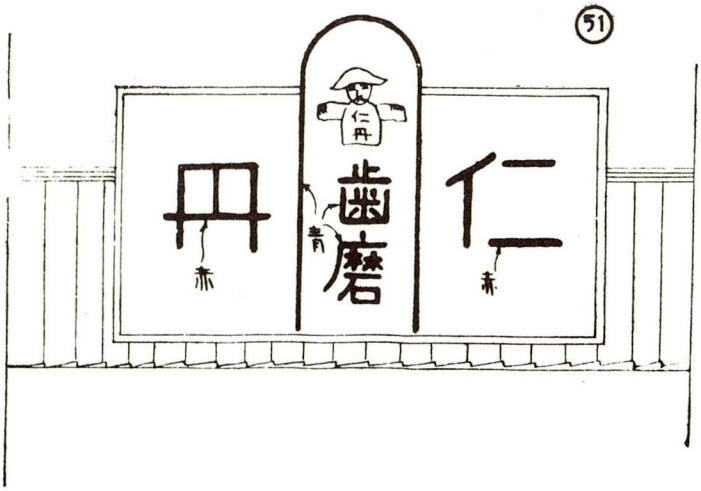
(49)



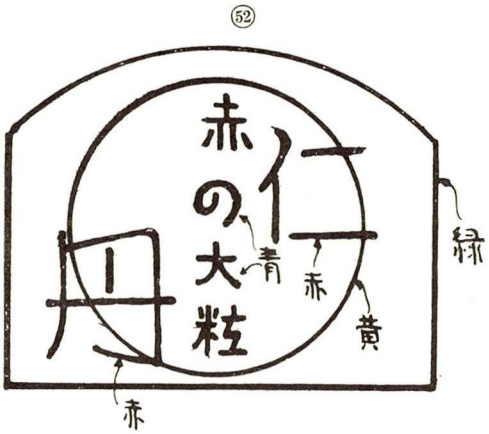
(50)

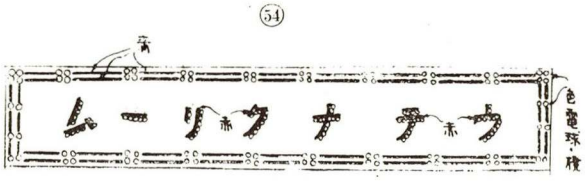


(51)



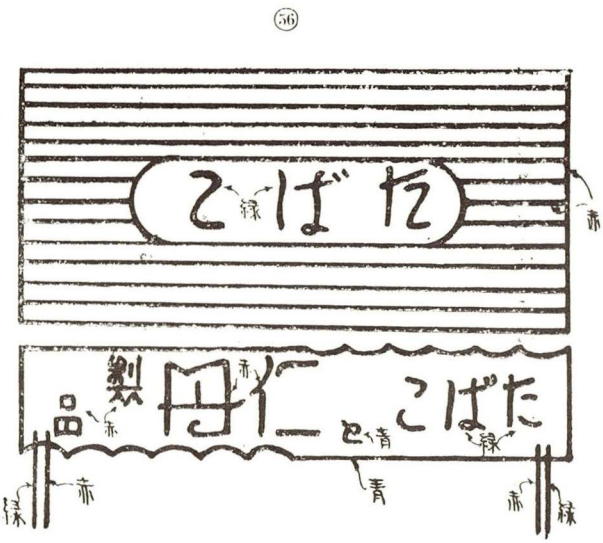
第7圖・採集せるネオンサイン(7)











上表の結果を檢討して見ると、人々の直感が如何に差異のあるものであるかを知る事が出來る。例へば甲に快と感じたもの必ずしも乙には快でなく、又ネオンの色であるが、之れは極めてまれで、採集した人々の錯覺に相違ないが、A に青く映つたものが、B には綠に感じたりなどした事（前表の SHISEIDO 參照）それから形に對する感覺も、吾々が是認して推擧に價すると思つたものが、むしろ一般大衆には、極めて平凡な形に思はれた事等であつた。

次に使用されて居る色による分類を行つて見たところ、大體第6表及第7表の如き結果を得たのであるが、全體を通じて赤を使用して居らないのは殆んどなく、そして或る物の如きは赤が多過ぎて、他の色を壓して仕舞ひ他の色を使用する效果などを全然無視して居る樣なのが可成の多數を占めて居つた。之れはネオン廣告の將來は未だ前途多端であることを立證して居るものと思つた。

第 6 表

一色のネオンを使用したもの

色　別	快とせるもの	不快とせるもの	其　他	合　計
赤	2	6	1	9
青	4	—	—	4
綠	2	1	—	3

其他と云ふのは不快とも快とも付かざるものを云ふ

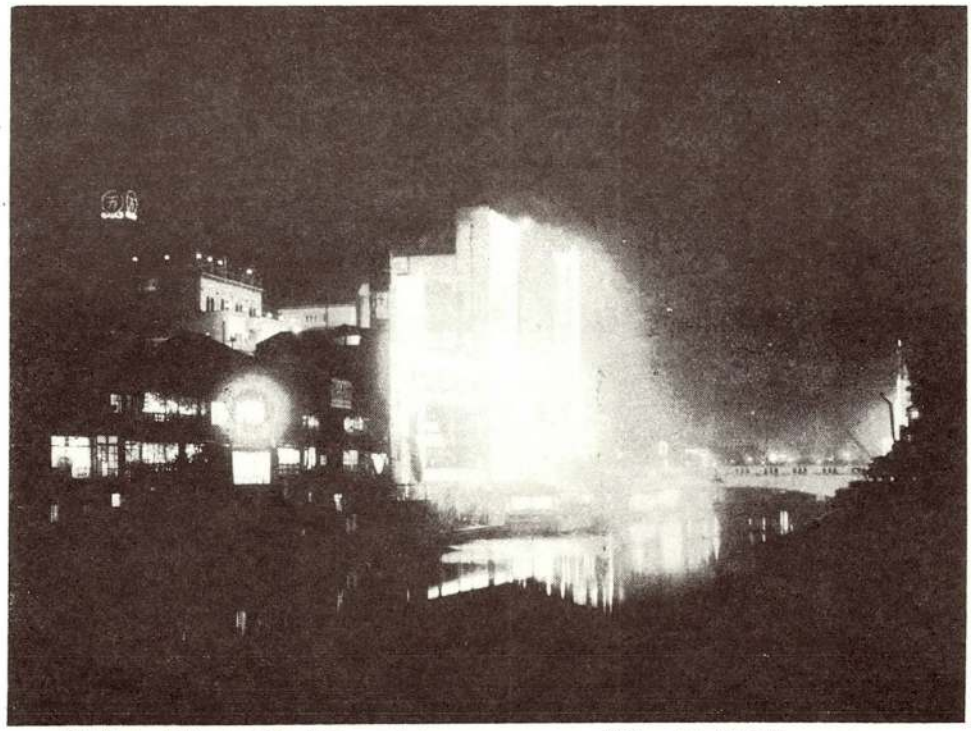
第 7 表

二色以上を組合せたもの

色　別	快とせるもの	不快とせるもの	合　計
赤　青	10	7	17
赤　綠	2	2	4
赤　紫	1	—	1
赤青綠	9	4	13
赤紫綠	2	—	2
赤青黃	—	1	1
赤綠橙	1	—	1
赤青綠黃	1	—	1
赤青綠橙	—	1	1

第6表及第7表より推斷すると、概して、赤、青及赤、青、綠等の組合せによるネオンサインは先づ無難であるが色の配合、形の組合が復雜になればなるだけ、好結果を求めるのが困難になると云ふ事が立證される譯である。

ネオン廣告は夜がその對照とされるので、夜の大氣と云ふことが廣告への配光と色の組合せに注意されねばならない。と云ふのは、夕煙霧垂れ下がつた夜に、復雜なる模樣より

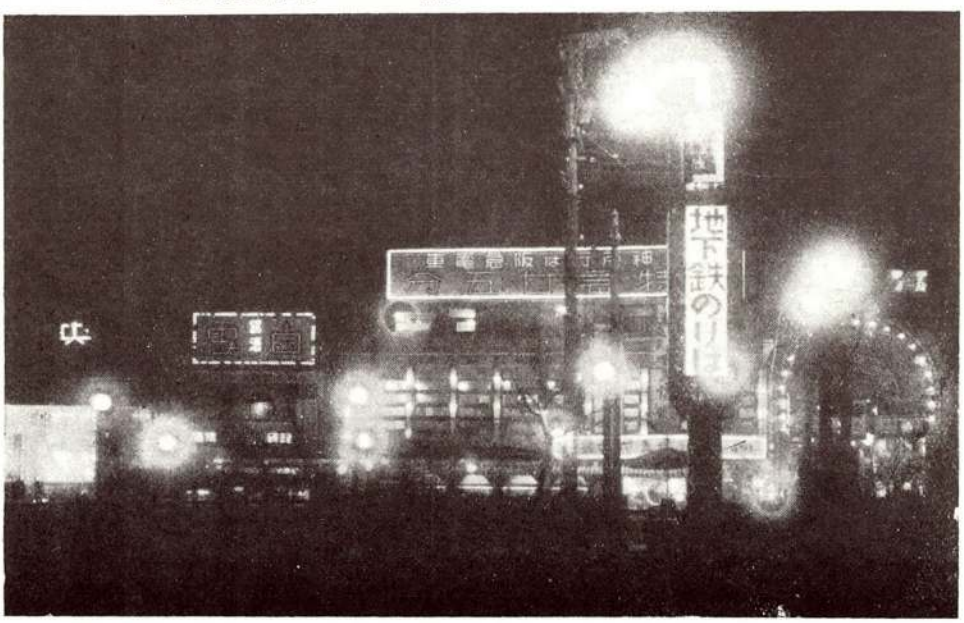


第 8 圖　復雜なる電飾と煙霧とが釀するハレーションの狀態、淺橋南詰松竹アドビル赤のネオンで丸に萬とあるのが明瞭に黑の夜の中に浮き出て居るのに御注意
11. 1. 10 撮影

發する光は、それが煙霧へ反射して、一種特有なハレーションを起し、只周圍がボーとなつて仕舞ふ場合の多くあるのは、我々のよく經驗するところである。でかゝる場合廣告としてのネオンが示さんとした内容を遠くより判讀することが困難になるのである。故に字などをネオンにあしらつた場合、出來得るかぎり簡單且單純なものゝ方が實際的效果は上ると云ふことになる。（第8圖乃至第10圖參照）



第9圖 複雜なる電飾と夜の煙霧が釀するハレーションの狀態、太左衛門橋より東方を望む（道頓堀川）11. 1. 10 撮影



第10圖 單純ながらもその内容をよく示して居るもの、心齋橋北詰

5・色の對照の性質とネオンの配色

對照により最も迅速に識別し得る色の對照は、白/黒であり、甚だしく識別し難いのは青/紫、黒/紫、紫/青、黒/青、黄/白、白/黄等である。概して暗色地の上に明色を施した方が、明色の地の上に暗色を施したものより、視別が容易で、殊に黒地の上の白色は、白地の上の黒白より遙かに速に判別し易いのである。ネオンサインの色の配合を考へる時、常に此の原則を頭に描いておく必要があると思ふ。即ち赤、青又は綠等の一色のみを使用した場合は赤/黒、青/黒及綠/黒である事を頭に入れて判斷する必要を認めるのである。一般に色の對比又は色の併置による性質は第7表及第8表によつて判斷出來やうと思ふ

第7表　色の對比による性質　註7

地色	識別し易き色	中間の色	識別し難き色
赤	白　黄　黒	青　紫	綠　橙
橙	紫	青　黒　白　黄	綠　赤
黄	紫　黒　赤	青　綠　橙	白
綠	白	黄　黒　橙　青	紫　赤
青	白　黄　橙	赤　綠	黒　紫
紫	白　黄　橙　赤	綠	青　黒
黒	白　黄　橙　綠　赤		青　紫
白	黒　紫	綠　青　赤　橙	黄

第8表　色の併置による性質　註8

色名	目立つ色	中立の色	目立たぬ色
赤地	橙		青　紫
橙地		黄　赤　綠	青　紫
黄地	赤		青　紫
綠地	橙　綠	赤　黄	青　紫
青地	橙　黄　赤		綠　紫
紫地	橙　黄　赤		綠　紫
白地		綠　橙　赤　黄	青　紫
黒地	橙　赤　黄		綠　青　紫

註7　新海悟郎氏　色の識別時間に關する實驗　建築雜誌　49輯　598號
註8　星野昌一氏　色の測定に就て　建築雜誌　4輯　584號

上表より判斷するに、ネオンサインとして只單に赤を使用する事が賢明である事が判る何故ならば、夜る觀察したネオンサインなるものは、常に黒地の上に他の色を配合した場合とほゞ同じ結果を呈すると思ふので、此の考へから第5表及第6表を再檢討して見れば——色彩の配合或は色の調合等に對する科學的基礎を全く持たない我々づぶの素人が夜の街頭のネオンサインを觀察して得た結果であるが——同じ赤でも快と感じた者と、不快と感じた者があり赤に對して大體不快と感じたものが、その大部合であつたのは意外としたところであつたが、之れは色の配合による直感の結果であつたと云ふことより、むしろネオンの形即ち意匠設計の惡しきが故に招來した結果に外ならないと見るのが至當であらう

採集した實例の內、赤と青との配色によるもののが一番多かつた、そして總數17の內快とするもの10不快とするもの7であつた。即ち採集總數の60%が快とするものであつた。次には赤、青、綠による配合のネオンサインであるが、採集總數13の內快とするもの9 不快とするもの4即ち總數の70%が快とするものであるのが判つた。以上の結果から推斷する事を許されるならば、赤、青、又は赤、青、綠と云ふ配合は先づ無難であると云ひ得る

最近までは、ネオンの色と云へば紫綠色（ウルトラバイオレツト）……俗に青と稱されてゐるもの——が大部分であつたが、現代では樣々の色調のものが現はれて來る樣になり隨つて此の色彩の配合の研究もネオン廣告の上には重要に考慮されねばならぬ問題となつた。が然し此の問題も第7表及第8表に示す原則によつて必じしも解決が困難と云ふのではないが、ネオン廣告の形體と意匠設計の都市景觀に及ぼす影響と云ふ事は、相當長い間の問題となると思料される。

そこで筆者は、ネオンの經濟的利用と、意匠の單純化と云ふことが、此の問題の實際的統制への合理的なテーマであると信ずるのである。何故ならば此處に採集した實例以外の殊にネオンの密集的に利用されて居る盛場、或は終端驛附近の、雜然たるネオンのジヤズ的喧騷は、當然何等かの形式に於て統制されねばならぬと思ふからである。

「愛の設計圖」の完成まで

新名種夫

はしがき

日本建築協會は、自然的及人爲的の總ての災害に對して安全なる都市建設の理想の下に、既に久しきに渉つてあらゆる努力を怠らなかつたが、今回右の理想を一般大衆に普及宣傳の目的を以て、映畵製作の計畫を樹て、昭和10年初夏の頃より準備を始め、秋より撮影に着手、12月末完成を見たので、協會の手に於て映寫し大衆に呼びかけると同時に、又「愛の設計圖」と言ふ題名にて一般に公開することとなつた。

映畵は3卷約2,500呎のトーキーである。

この映畵作成に携つたものの1人として、左にその完成までの經過を記し報告に代へる。

映畵作成の動機

昭和9年7月26日より28日まで3日に渉つて行はれた關西大防空演習に當つて、我建築協會は近畿の府縣市をはじめ、民間多數の有志者の後援の下にこれに參加し、陸軍當局と聯絡をとりつつ、演習の重要項目である僞裝遮蔽、燈火管制等、建築に關係ある各部門を擔當し、その實施方法の研究指導と實施成績の調査とに非常な努力を拂つた次第であつたが、この防空演習參加の大きな收獲の1つとして、一朝事あるに當つて、空襲に對する都市の防備としては、あらゆる軍事的作戰は勿論、僞裝遮蔽、燈火管制等の手段に依つて、災禍を最小限度に止むべく努力すべきは勿論であるが、都市永遠の安全の爲には、都市自體が空襲に對して絶大なる抵抗力を持つて居なければならないと言ふ事實を確め得たことである。

建築技術の現狀よりして空襲に對して安全なる都市とは、空襲の災禍を爆彈の投下を受けた部分のみにて喰止め得る如き都市である。即ち、僅々數箇所よりの出火から帝都全體を灰燼に歸した關東大震火災の經驗に依つて明かなる如く、數個の爆彈、數個の燒夷彈に依つて、1都市が全滅される如き我國の都市の現狀を1日も早く改造するにある。

空襲の災害を敵彈を受けた局部に制限する如き都市、これはとりもなほさず耐火耐震の建築に滿された、理論的に整然と計畫せられた都市であり、空襲に安全なると同時に、亦總ての災害に對して安全なる都市でもある。

國際關係の何となく穩かならぬこの時代に於て、こうした都市建設への努力は、國防上からも緊急を要することであつて、建築協會が昭和9年の防空演習參加を機會として、更

に積極的に武裝都市建設の促進に力を致すことになつたのも一はこれに依る。

映畫の製作はこの運動の第一歩である。

空襲の招來する災禍の最大なるものは火災である。地震及風害もその災害をより大ならしむるものは、空襲に於けると同樣に、それ等に附物の火災に外ならぬ。

それ故に、以上の如き災害から都市を安全ならしむる第一歩は、先づ以て不燃燒都市建設の促進にある。

扨、今日火災に對して抵抗力の最大なる建築構造は、何よりもコンクリート構造であり、鐵筋及鐵骨にて理論的に補强せられたコンクリート構造は、耐火的であると同時に耐震的であり、又耐風的であるから、鐵筋又は鐵骨コンクリート造の建築を以て都市を滿すことは、結果として、火災のみならず全ての災害に對して安全なる都市を作ることにもなる。

都市計畫に於ける防火地區設定の目的は同地區內の建築物のみを耐火的ならしむれば足れりと言ふ意味では決してない。防火地區以外の建築物も充分耐火構造のものとなることに依つて、初めて充分にその効果が發揮せられるわけである。

顧みて我國都市の現狀は、殊に大阪市の現狀は如何。耐火建築を强制せられて居る防火地區內に於てすら、コンクリート造建築の增加は遲々たるものではないか。

これは一は市民の無自覺の爲であり、一は自己所有の建物を鐵筋コンクリート造化する經濟的能力の缺如にも依る。

從つて鐵筋コンクリート造建築の促進の爲には、一方に於て市民の自覺を促すと同時に一方に於てこの經濟的問題に對する解決方法を講ずることが必要である。

今回の映畫作成はこの市民の自覺促進の1手段であるが、更に協會が後者の經濟的問題解決の爲にも努力しつつあると言ふことは、昭和9年9月18日、本協會會長名にて時の內閣總理大臣、內務大臣及大藏大臣宛になしたる下の如き建議案に見るも明かであらう。

建　議　書

現下ノ非常時局ニ鑑ミ本協會ニ於テハ愼重研究ノ結果都市ノ武裝ニ關シ防火防空建築物ノ普及促進上左記具體的項目ヲ實施セラルルコト極メテ緊要ナリト確信スルモノニシテ速ニ機宜ノ方策ヲ樹立セラレムコトヲ切望ス

右及建議候也

記

一、現行防火地區ヲ擴大スルコト

大都市ハ我國產業經濟機構ノ中樞ニシテ保安上ハ勿論國防上ノ重要性ニ鑑ミ防火防空的見地ヨリ現行防火地區ヲ擴張スルノ急務ヲ認ム

二、防火地區ニ於ケル耐火建築促進ノ爲左記方法ヲ實現スルコト

（イ）耐火建築物ニ對スル補助金ノ交付

（ロ） 耐火建築物ニ對スル低利資金ノ融通

（ハ） 耐火建築物ニ對スル家屋稅減免

（ニ） 耐火建築物ニ對スル不動產收得稅ノ減免

三、防火地區完成ヲ都市計畫事業ニ依リ促進スルコト

防火地區ノ完備ヲ計ル爲之ヲ都市計畫事業トシ防火地區中重要部分ヨリ年次的ニ木造建築物ノ撤去ヲ命スルト共ニ特別補助金ヲ交付シ耐火建築物ノ實現ヲ期ス

理　由

都市計畫防火地區カ都市ノ火災特ニ震火災ノ防備トシテ重要ナル施設タルハ言ヲ俟タス而シテ今日ノ非常時局ニ當リ防空的見地ヨリスルモソノ必要切實ナリト謂フヘシ、然ルニ今日ニ於ケル防火地區ハ未タソノ効用ヲ期スル域ニ達セス今尙木造家屋ヲ以テ充滿スルノ狀況ハ防火地區ノ重要性ニ鑑ミ甚タ寒心ニ耐ヘサル所ナリ

曩ニ帝都復興ニ當リテハ防火地區建築補助金ノ交付並ニ低利資金ノ融通ニヨリテ耐火建築ノ促進ニ資スル處アリタルニ拘ラス假設建築物の除却期限ハ荏苒延長セラレ今日尙其ノ効果ノ期待スヘカラサル狀態ニアリ

大都市ニ於ケル防火地區ノ完成ハ都市ノ災害防備ノ根本策ニシテ延イテ國土ノ防衛上最モ急ヲ要スルモノタルニ拘ラス從來何等之ヲ助成促進スルノ方策ノ講セラレサリシハ誠ニ遺憾トスル所ナリ、今ニシテ速ニ之カ實施完成ヲ期スルニ非サレハ悔ヲ千載ニ貽ササルヤヲ恐ル宜シク時期ヲ定メ木造建築物ヲ撤去改築セシムルト共ニ耐火建築物ノ實施ニ當リ國家又ハ公共團體ハ之ヲ補助助成シ以ツテ耐火建築物ノ造成ヲシテ容易ナラシメ且之ヲ奬勵スルノ途ニ出ツルノ要特ニ今日ニ於テ切實ナリトズ

以上にて明かなる如く、この映畵要作の目的は、一般市民にコンクリート建築の必要を痛感せしむるにある故に、都市の全體的觀點からでなく、寧ろ個々の建築が耐火的であることの必要を說くに重點が置かれて居る。そして、個々の建物の耐火建築化は、やがて不燃燒都市出現の第一步であり、災害に對する都市の安全の爲に絕對に必要なる條件であると言ふことが結論となつて居る。

製　作　の　經　過

最初この映畵製作の發端となつたものは、昭和9年夏の關西防空演習直後、新聞活動寫眞社より協會宛に送られた映畵製作の勸誘狀に依る。

以下映畵完成までの經過を逐條的に揭げることとする。

1. 昭和9年9月22日

新聞活動寫眞社より耐震耐火建築禮讃映畵製作に協力方を依頼

1. 同10年5月16日

都市武裝委員會中に映畵作成特別委員會を設く。

1. 同8月3日

週間朝日誌上を以て映畵脚本懸賞募集を行ふ。

1. 同8月17日より8月19日まで、映畵作成委員會幹事2名映畵作成に關する資料蒐集の爲(主として既成のネガテイブの中から本映畵に利用し得る如きものを選び出す爲)東京へ出張。次の如き映畵の中で用ひ得るものは用ひることに決定。

大空襲（1卷）	特別航空演習
飛行機競技大會（代々木）	近畿地方防空演習
昭和9年度3都防空演習	聯合爆撃演習（濱松）
防空演習（所澤）	空軍日本の偉容（所澤）
空襲下の3都を護る防空演習	

護れ大空	關東大地震
函館大火災	靜岡地震
臺灣大震災	京阪水害
躍進30年	

1. 同9月9日

應募脚本豫選、幹事新名、龜井のほかに、大朝計畫部前田榮二氏、松竹長江道太郎氏、P. C. L. 松崎啓次氏出席。

應募の脚本は募集期間が約1箇月の短期であつたにも關らず、總數86通の多數に上り何れも大體に於て募集の目的に添つて居たことは先づ以て成功と言へる。嚴選の結果次の4篇を入選候補として殘す。

建設せよ	不燃燒都市
鐵筋禮讃	建築の秋

1. 同9月12日

次の4氏に依つて上の4篇を審査の結果等級を決定。

審査員	池田實氏	片岡安氏
	衣笠貞之助氏	大道弘雄氏

1等當選	建設せよ	野原喜一郎
2等當選	不燃燒都市	住江英二
3等1席	鐵筋禮讃	葛井英地
3等2席	建築の秋	沼田賢治

1. 同9月中

1等當選の脚本「建設せよ」を P. C. L. 文藝部松崎啓次氏の手にてトーキー・シナリ

オ風に書き直す。

1. 同10月12日

午後8時35分より「建設せよ」の題目にて上のシナリオをラヂオ小説に潤色したものを、角座出演中の新派中田正造、進藤英太郎、六條美奈子等のスタツフにてBKより放送。

1. 同9月28日

松竹、日活、J·O スタヂオ、新聞活動寫眞社、P.C.L. にて入札の結果、寫眞化學研究所（P.C.L.）に落札、前記のシナリオを多少修正の上、製作に着手。

關係のスタツフは次の通りである。

監督　枝正義郎　　撮影　川谷庄平

配役　企業會社社長　近藤伊與吉　その娘潤子　宮野照子

建築技師野原新一郎　町田志乃武

タイトル・バツクには大阪の御堂筋及中之島附近の風景を挿入し、扨、關東大震災記念堂に參詣せる主人公及女不人公の震災の追憶より始つて、耐火耐震耐風の理想的建築第一小學校舍の中に、あの關西の大風害を逃れて避難して來た群衆に向つて、この小學校同樣の堅牢な建築を以て都市を滿すことの必要を主人公が叫ぶ場面をクライマツクスとして、この映畵は終つて居る。

この場面を大阪に於て撮影する爲に、監督以下約10名の一行がわざわざ東京より西下した次第であつたが、主人公の芝居の背景となるべき群衆を充分に得られなかつた爲に、クライマツクスの部分をやはり東京で撮らなければならなかつたことは、殘念なことと言はなければならない。

1. 同12月24日

完成したる映畵を携へて P.C.L. 經理部員來阪、同日午後5時30分よりプリミヤ·ハウスの MGM に於て試寫。

抑も3卷2,500呎の中に、空襲を暗示する防空演習と、地震及火災の慘狀を彷彿たらしむる關東の大震火災と、更に最後に關西大風水害の實況を引いて木造建築物の受ける風害の慘禍を偲ばせながら、その間にストーリーを織込んで行々うと言ふのだから相當に無理な注文ではあつた。

從つて、多少說明の足りない樣に感ぜられる部分、筋が飛躍し過ぎたと思はれる部分が2·3箇所あるにはあつたが、この種の宣傳映畵の出來榮として、筆者の知る範圍内では先づ上乘と考へるべきだと思ふ。

特に短い映畵の中に、盛り澤山であるだけ、それだけ變化に富み、觀衆をして飽かしめざる効果はこの映畵の1つの特色であらう。更に宣傳映畵らしい臭味を殆んど持つて居ない點もこの映畵の持つ强味の1つである。

次にこの映畵製作に使用したシナリオの大要を掲げる。但し實際の撮影に當つて、追加し又は削除したる部分のあのことを茲に斷つておき度い。

シナリオ『愛の設計圖』

登場人物

社　　長（或る企業會社の）
その娘　　潤　　子
建築技師　　野原新一郎
勞働者　　十五人
其　　他　　二十名
避難民　　大　　勢
巡　　査
青年團

△大阪の主要なる風景
△F.I. 防空演習、約2分間
壯烈なる場面展開

飛行機の音

機關銃其他の雜音

1△ラヂオ機よりパンして卓子を間に社長と新一郎とが對座してゐる。（應接室）2人は沈默のまゝ放送を聞いてゐたがやがて社長は自ら立ち上つてラヂオのスキツチを切る、急に室内は靜かになる新一郎はテーブルの上に擴げた設計圖に視線を落す。

「放送アナウンス」
防空演習のアナウンス

「アナウンス止む」

2△設計圖　大寫

3△新一郎が設計圖に目を注いでゐる、社長がその椅子に戻り腰かけて、やがて重々しく口を開く。

社長
「防火建築不燃燒都市は君の持論でもあるが、一般の輿論でもあるらしいね」

4△新一郎1人のバスト

新一郎
「そうです、勿論そうです單に空襲だけでなく火災や、暴風雨や、水害から吾々を守る唯一のものは建築であります」

5△「……唯一のものは建築であります……」から社長のバストになる、新一郎の眞劍そのものゝ樣な態度に社長は殊更に微笑をもらしつゝいふ。

社長
「判つてゐる。判つてゐるだからわしとても都市防空そのものには決して反對はせん」

6△社長と新一郎２人、社長正面新一郎社長の顔を見張る。

社長
「が……然し……理論と實際とは自づと異つてゐる、わしは會社の社長として技師の君に云ふのぢやが……」

7△新一郎のバスト、うつ向き加減に聞いてゐた彼は急に視線を上げて射る様な眼で社長を見る——短かいカット

8△新一郎と社長(社長正面)
社長はつゞけていふ

社長
「君のこの設計圖は同時に工事施工の方針を示すものだからわしは長い經驗から一應現實主義と云ふ立場から君の設計圖を修正して見たいのだ」

9△新一郎 up 顏面神經が怪しくピリピリツと引つる。

新一郎
「判りました——社長、で私に如何しろと仰在るのですか」

10△社長正面に、新一郎横に——社長は一寸云ひ憎さうに新一郎の視線を避ける様にテーブルの上の設計圖に眼を注ぎつゝ

社長
「君のこの設計の一部分——ほんの一部を書き直して貰ひたいのぢやが」

新一郎
「と申しますと」

新一郎の、顏面神經が又ピリピリツと動く、社長は製圖面を指で指しながら

11△設計圖　大寫(セリフの尺數だけ)

社長の聲
「この地下道を取り止めて——それからこの部分を木造建築で間に合せて——こうつと——それから——」

12△社長と新一郎、新一郎を正面に、社長の指先を見つめ乍らこみ上げる感情を耐えつゝ聞いてゐる、社長は語を續ける。

（短いカツト）

社長
「この邊をもう何とか簡單に行くまいか」

社長の指先きが引込む

13△設計圖　大寫

社長の聲
「一つ考へて貰ひたいのぢやが―」

14△新一郎の up（昂奮の色）

15△社長のバスト、妙に苦笑ひらしい笑みをたゞよはして

社長
「どうも若いものは理想にのみ走りたがるので困る」

16△新一郎の up

17△設計圖大寫（直ぐ W つて）

18△（W つて）、木造家屋の市街に變る――短かく

19△新一郎の up 眼が異樣に光る堪えられぬ樣に眉を寄せて額に手を當てると共に物凄い地鳴り震動

地鳴り

20△同時に大音響と共に倒壞する建築物―

悲鳴

大音響

21△新一郎の顏、短かく

22△物の下敷きとなつて唸き苦しむ老婆その他

叫喚

雜　音

23△泣き叫ぶ小兒

大混聲

24△燃え上る市街

25△傷つき倒れて救ひを求むる人々

悲鳴

26△倒壞する建物

叫喚

27△逃げ惑ふ街の人々
（以上カツトを短かくフラツシユにて）

大混聲

28△新一郎の顏、當時を追想する切實なる表情、稍々ふるえを帶びた語調でいふ

新一郎
「父や母を、そして姉弟までも――あの恐ろしい大震災の爲めに失つた私です」

29△社長と新一郎、社長は新一郎の眞劍さに呆然たる表情、新一郎は續けて

新一郎
「私は學校を出て十年間倒れない家燒けない家を造る爲の研究を夜の目も寢ずに續けて來たのです、社長のお理想を唯一の賴みに――それが今
現實主義の爲に――僕は――僕は――その現實主義の爲めに親姉弟

新一郎の眼には涙が光つてゐる彼はやがてツト立あがる、そして決心の色を示して

に誓つた言葉を實る譯には行きません」

新一郎

「社長——私は今夜限りやめさせて頂きます」

社長はあまりの突飛な言葉に目を見張る。

30△ドアの外、おどおどしながら中の様子を案じてゐた令嬢の潤子は極度に驚く

31△元の内部、力なく新一郎はうなだれ乍ら、扉の方へ歩み寄る、社長がいふ。

社長

「君はまだ若いんだ——今夜の事は此場つ切りにしてよく考へて見てはどうか」

社長のおだやかな言葉に新一郎振り返つたが直ぐ面を伏せて無言、この一瞬靜寂を破つて、潤子のすゝり泣く聲がドアの外より洩れて來る、それが堪えられなくなつた様に次第に烈しくなる社長の顏が一層深い憂愁に閉される、すゝり泣きの聲が次第に消えると突然社長は椅子を離れてドアを開ける、同時によろける身體を潤子は社長に縋り寄り哀願する様に抱きつく、社長の顏は慈愛にあふれてゐる新一郎は深い溜息とともに靜かに目禮すると急いで扉の外へ、そしてピタリ閉める。

令嬢のすゝり泣く聲

「お父様——」

32△廊下、ドアの外、新一郎は急ぎ足に去る、中から、潤子の聲

同時にドアを開けて潤子が追ひ縋る様に飛び出る、社長がそれを制して抱き寄せる。

潤子は社長の胸に泣く F.O

「新一郎さん」

「新一郎さん」

社長

「潤子——」

33△Fin コンクリートがミキサーから鐵函に流れ込む、それが高い鐵塔を昇つて行く、キヤメラそれにつれて——

音

雜音

34△スチームハンマーを打つてゐる新一郎（勞働委）

その音

雜音

35△適當せる實寫 2 3

音

雜音

36△正午のサイレン O.L

サイレン

37△O.L 都市防空建築の設計圖の懸賞募集ポスターが風に搖られてゐる 大寫

38△ 4·5 人の勞働者に交つて辨當を食つてゐる新一郎がそれに引つけられた樣に見入つてゐる、傍の甲が不審氣に新一郎の視線を辿る。

39△例のポスター　大寫

40△それと知つた傍の一人が突然大きく笑つてひやかす、一同もそれと見て笑ふ。新一郎、一寸てれて笑つたがどうも氣になるらしく辨當箱を抱えた儘、其の方へ行く、みんなが笑ふ

（大笑）

甲

「おい、どうでえ博士一つ應募しちやア」

乙

「あいつよつぽど變つてやアがらア」

丙

「あの野郎——おいら仲間ぢやねえや」

丁

「しよつちう、横文字の本なんかペラペラ讀むんだからなア」

41△ポスターの前に立つて居る新一郎の顏

42△ポスター大寫　F.O

43△新聞　大寫

新一郎の寫眞入りにて 1 萬圓當選の記事がデカデカに出てゐる。

雜音

44△水道口

2·3 人の勞働者と共に手や顏を洗つてゐる新一郎の處へドヤドヤワイワイ騷ぎ乍らやつて來る、前の勞働者達新一郎何事かと振返る、皆んな口々にいふ

混聲

雜音

混聲

「えれえぞ博士——當選だぞ、一萬圓一萬圓

お芽出度う、々々々々々々々々」

新一郎流石にハツとして急ぎ新聞を取り見る。

45△新聞大寫（一部大きく）

46△流石に嬉し相な新一郎の顔（かつて見ぬ明るい顔）

47△大勢がワイワイ寄つてたかつて遂には胴上げされる新一郎、わつしよいわつしよいと擔ぎ廻る大騒ぎ F.O

48△F. I. 手紙

潤子より成功を祝した手紙の文面 O.L …… …… …… ……

49△O.L 手紙を讀んでゐる新一郎のベスト嬉しそうであるが緊張した顔でもある。 F.O

50△F.I 手紙

新一郎から潤子に送つて返事の手紙 O.L …… …… …… ……

文意は

「まだまだ成功とは行かない、たゞ當選しただけです、今後2・3年間の成り行きを見て下さい、實現の曉こそほんとに喜んで下さい……」

51△O.L 讀んでゐる、潤子の顔、嬉し相ではあるが矢つ張り緊張味がある F.O

52△F.I 學校建築——工事中、實寫 F.O

53△F.I 新聞記事の大寫 F.O

耐震耐火建築の第一小學校の落成について設計者新一郎をたゝえた記事のデカデカ

54 F.I 潤子からの手紙の文 O.L

混聲
……
わつしよい
〃 〃
〃 〃

雜音

雜音

狂喜して成功を祝したもの病氣の父もあなたの事を云ひつゞけてゐます――		
55△O.L　讀んでゐる新一郎 今度こそほんとうに嬉し相な顏　O.L		
56△O.L　潤子の滿面喜びに溢れた顏、直ぐ又　O.L （畫面をハツキリせず何かをWらして）		
57△O.L　やつれた社長の淋しい微笑O.L （前に同じ）		
58△O.L　新一郎の淋しい微笑が直ぐ又明るい朗らかな顏になる何時までも手紙に見入る　F.O		
59△F.I 東海道を西に急行列車の驀進 O.L		汽車の音
60△O.L　潤子が二等車に窓外を眺めつゝ、空想を畫がきながら、可愛い溜息をつく。　W		汽車の音
61△W　市街の揭示板 大暴風雨襲來の警告		
……	號外屋の聲	雜　音
……		鈴の音高く
……		
……		
62△號外屋の疾走	號外屋の聲 聲、聲、聲、々々	鈴の音高く
63△號外を見る人々		雜　音
64△見る人々、顏々々々		
65△街角、揭示板に集る人々		
66△號外屋の疾走	雜　音	鈴の音
67△號外の大寫――F.O		雜　音
68△F. in　黑雲が非常な速度で流れる。		雜　音
69△慌たゞしく青年團がかけ出す。		雜　音
70△ラヂオ機の前に不安の顏を見合す家族の人々	アナウンス	
71△街の雜踏――		雜　音
72△消防が繰り出す。		消防自動車

73△慌ただしくかけ出す人々		雜　音
74△警官が拳をからして叫ぶ	「第一小學校へ 々々々々々々」	雜　音
75△青年團が叫んでゐる。 人々がその方へかけ出す。	「第一小學校へ 々々々々々々々」	雜　音
76△警鐘亂打		鐘の音 亂　打
77△第一小學校の全景　パーン		雜　音
78△PAN　小學校の入口群集が雪崩込む。		
79△街を走る人々		
80△小學校入口群集が押し寄せる。		
81△第一小學校の中 不安の瞳で見交す人々 次第に募る風の音	混聲、雜音 それが次第に靜かになる 烈風の音	烈風の音
82△海岸、怒濤が押し寄せる。		怒濤の音
83△街路樹が烈風に吹き捲くられる。		烈風の音
84△電柱の上部がヘシ折れる。		烈風の音
85く第一小學校の入口 シヤツターが下りる。		風の音
86△第一小學校内、ますます猛威を振ふ物凄い烈風の叫び、不安におのゝく人々の顏々々、附近の建物の倒壞する大音響大震動		風の音 倒壞する音 大音響 大震動
87△部分的の人々の顏		大音響
88△部分的の人々の顏		大音響
89△同上		同　上
90△同上		同　上
91△同上		同　上
92△市街燃へ上る、火災		烈　風 火勢雜音
93△倒壞する家屋		雜　音 倒壞せる音
94△自動車が吹き飛ばされる。		烈風の音
95△五重の塔がへし折れる。		顚覆の音
96△小學校内人々の不安な顏 いよいよ猛烈を極める烈風の音		烈風の唸り 大音響 烈風の唸り
97△倒壞する家屋		大雜音
98△小學校内部人々の顏		大雜音
99△同上		烈　風 壞れる音
100△同上		同　上
101△同上		同　上

102△同上		同　上
103△外部の物凄い音響に人々いよいよ騒ぎ立てる。此時突然壇上に突立ち上る新一郎、騒ぐ避難者を叱咤する如く大聲に叫ぶ。	「皆さん靜かにして下さい」	烈　風 大震動 大雜音 烈風の唸り
104△ハツとして群集の中から顏を出す潤子 up		
105△新一郎バスト	「安心して氣を落ち付けて下さい、この學校の建築はこれしきの風でビクともするものでありません、絕體安全を命にかけて誓ひます」	
106△ハツとして群集を押し分け前へ出やうとする潤子		物凄い烈風の音、倒壞する大音響
107△それを見出した新一郎の驚き		地　響
108△百萬の味方を得たかの潤子の顏		
109△新一郎尙も叫ぶ。 風雨の音いよいよ猛烈を極む。 新一郎壇上に立つたまゝ下り樣ともしない。	「この建物は斷じて倒れません、この建築は斷じて燒けません、心を落ちつけて風の止むのを待つて下さい」	
110△避難者は全く不安去りやらぬも漸次靜かになる、風の音、猛烈を極む F.O		烈風、倒壞の物凄い音
111△F. in (サツと)アイリスイン 號外、寫眞同記事 W		けたゝましい號外の鈴
112△W 倒壞せる學校 O.L		樂
113△又、學校 O.L		
114△五重塔 O.L		
115△民家の倒壞慘狀 O.L		樂
116△汽車の顚覆 O.L		
117△同 O.L		樂
118△同 O.L 等々矢繼ぐ O.L にてスースーと變へること。		
119△O.L 何事もなかつた樣に嚴然と立つ第一小學校、校庭には嬉々として兒童が遊んでる。		樂
120△これを眺めてゐる新一郎と潤子、潤子が嬉し氣に新一郎に寄り添ひ一方を指し乍ら、おびえた表情で	「そこまで來ると自動車が吹き飛ばされかけちやつたもんだから夢中	樂

でこゝへかけ込んぢやつたのよ、それが偶然にもあなたの設計なさつた學校だなんて、ほんとに奇蹟だわねえ」

潤子は幸福感に浸つていふ、そして校庭の方へ目を移して

「ほんとにあなたのおかげでどれだけ人の命が助かつたか知れないわあの子達も何事もなかつた樣にあんなに無邪氣に遊んでいるんですもの」

潤子の言葉に新一郎がいふ。

「一つや二つ出來たつて駄目です。見とつて下さい今に日本中の家を倒れず燒けず壞れずの家にして見せますよ」

新一郎の言葉に潤子、頼もし氣にほゝ笑みつゝ

「ほんとにそうしたいわねえ」

二人は前途の希望に燃えてゐる、氣を變へた新一郎

「お父樣が心配していらつしやるでせう、
鐵道の開通を待つて直ぐ東京へお供しませう」

潤子

「え・―」

二人は歩き出す　W

121△東海道線を東へ東へ走る汽車

汽車に W つて建設せよのタイトルサッと起る　F.O

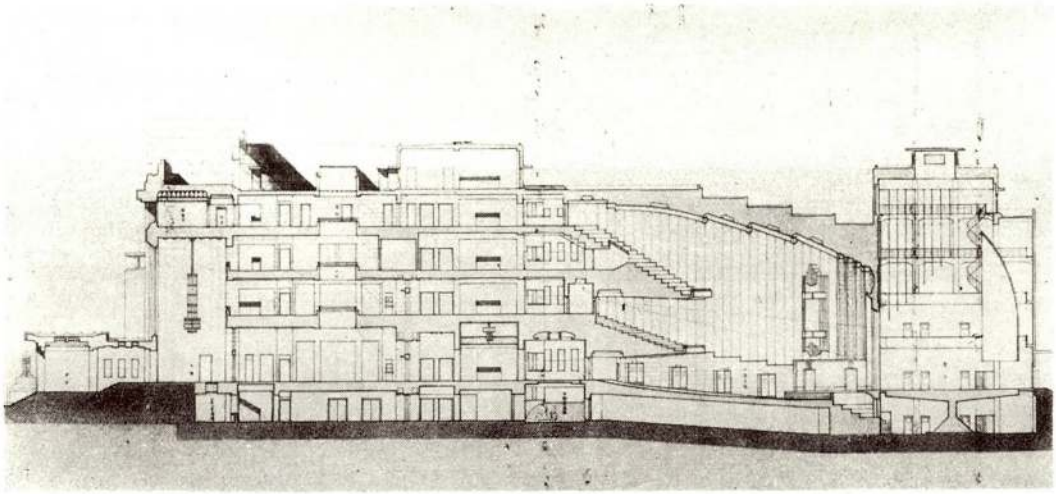
（終り）

最後に、この映畵製作に際して、小學校舍の借入、青年團の招集等に特別の御盡力を賜つた岡部顯則氏、高津滿氏、福田彌一郎氏、杉井鐵男氏並に、種々な骨折を願つた學校の職員の方々、青年團の方々等に、茲に深く謝意を表する次第である。

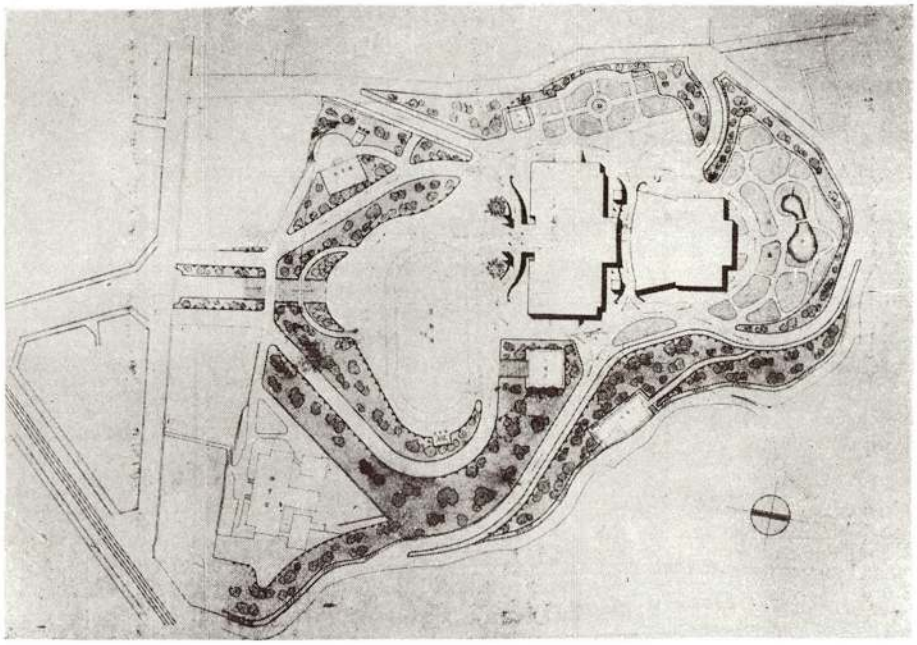
（1936・1・20）



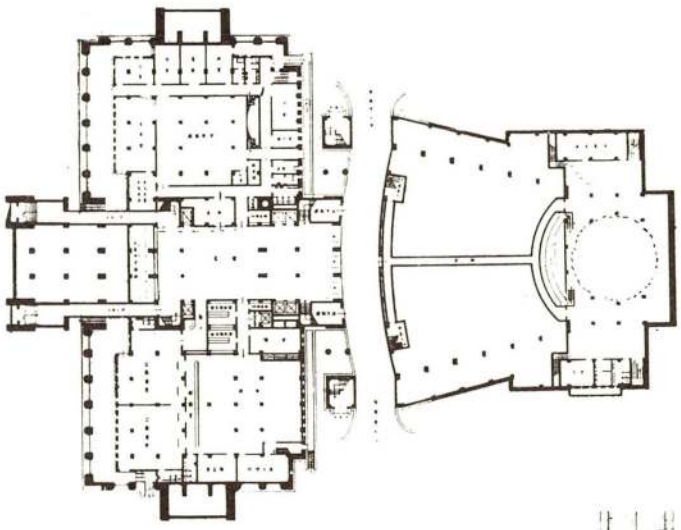
透　視　圖



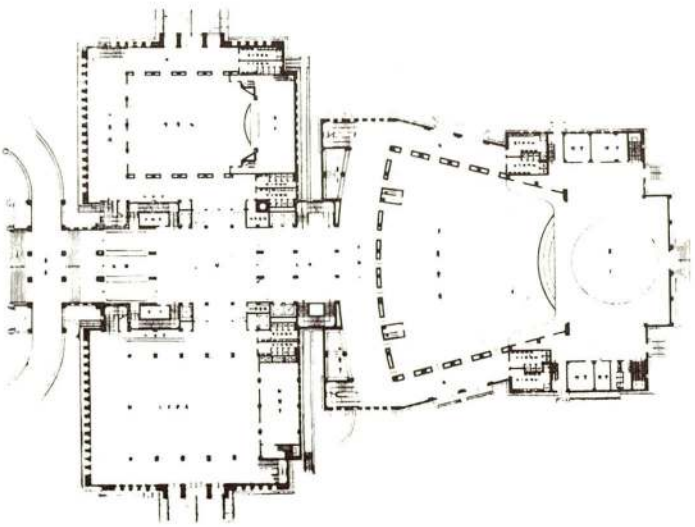
南北斷面圖



配　置　圖

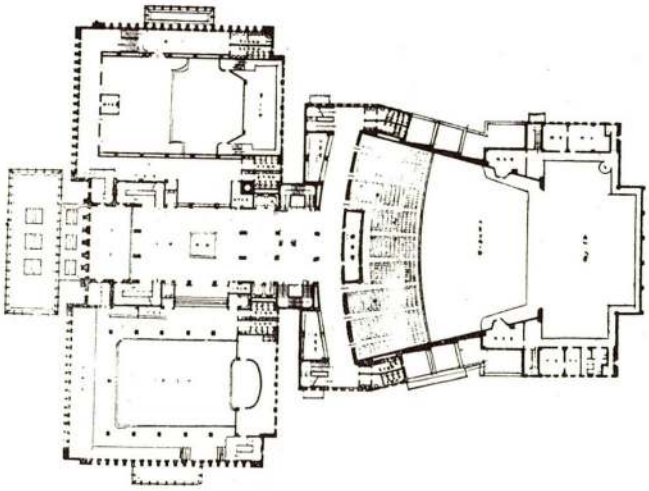


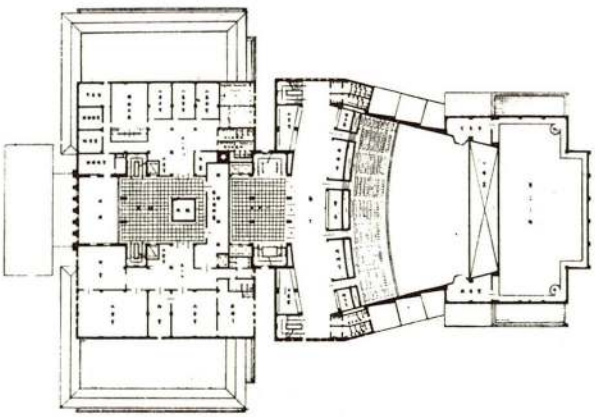
地階平面圖



1階平面圖

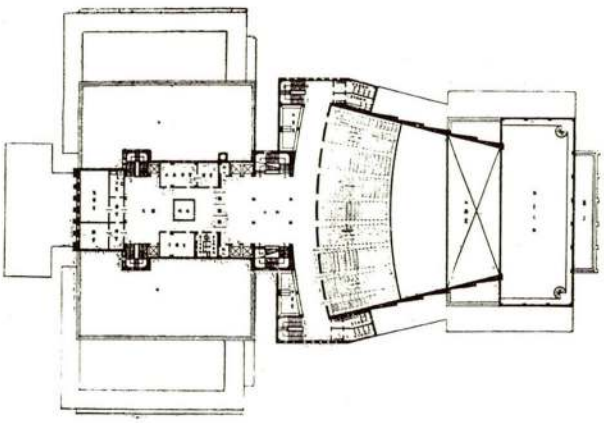
2 階 平 面 圖

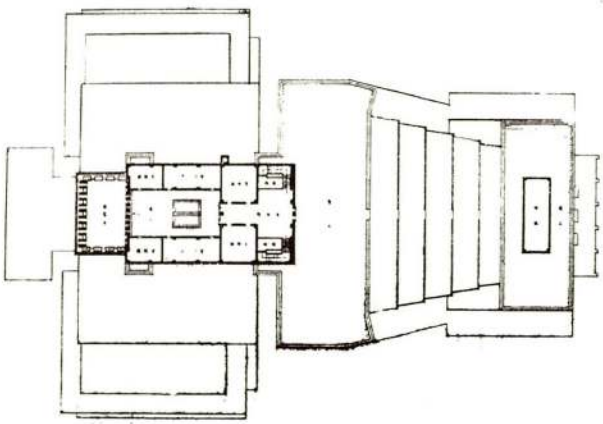




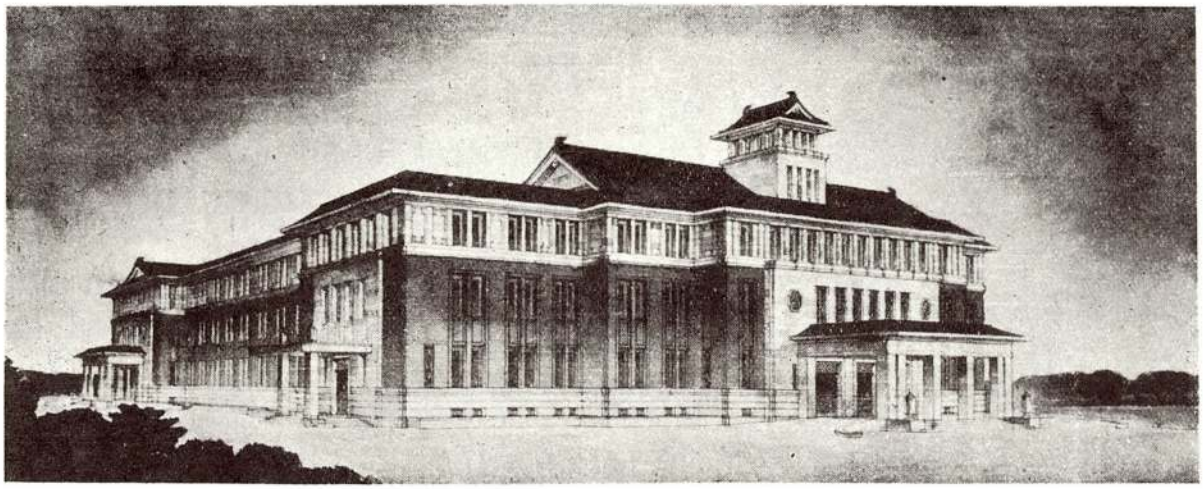
3 階 平 面 圖

4 階 平 面 圖

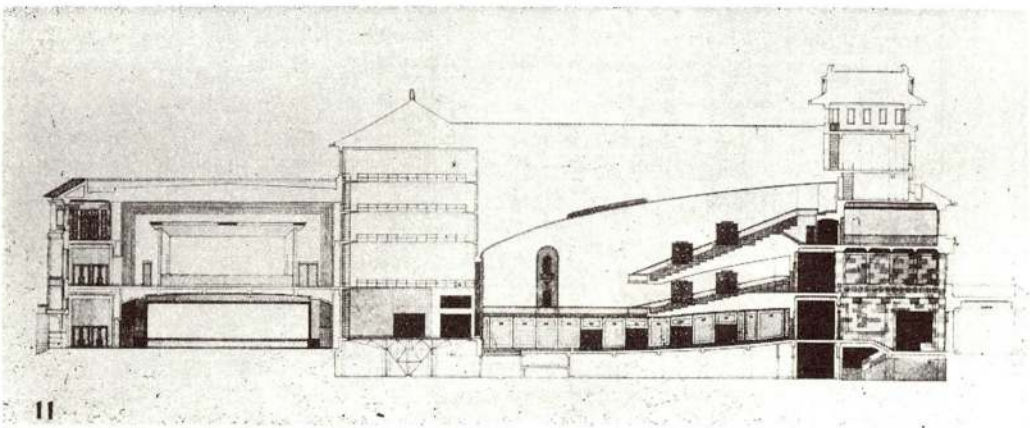




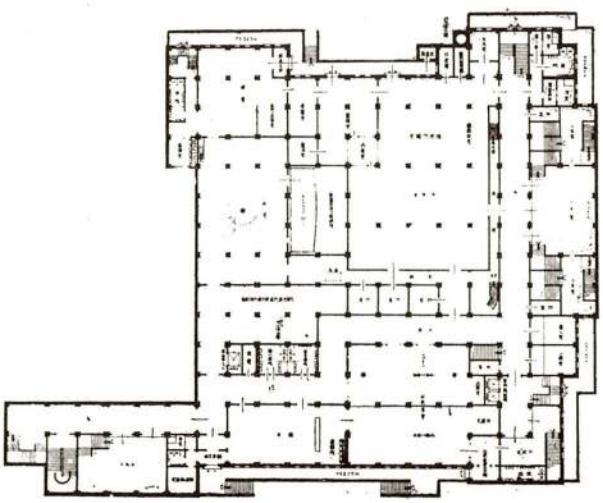
屋 階 平 面 圖



透　視　圖

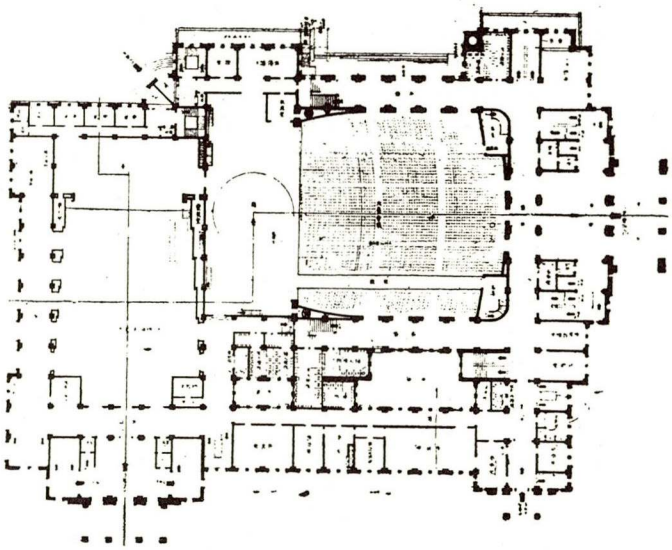


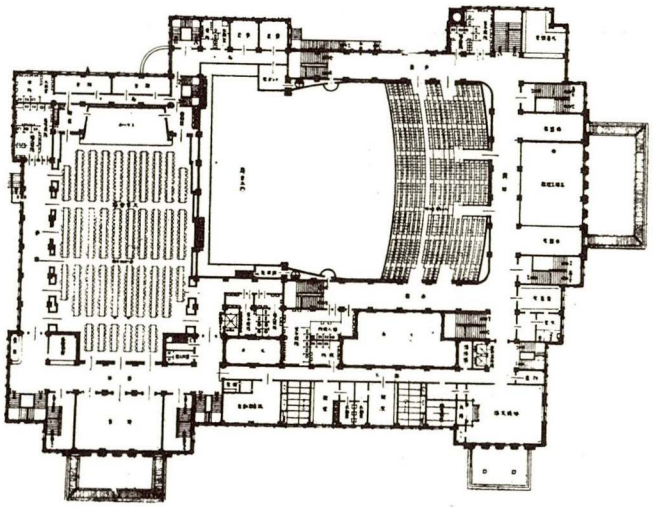
イ　ロ　斷　面



地　階　平　面

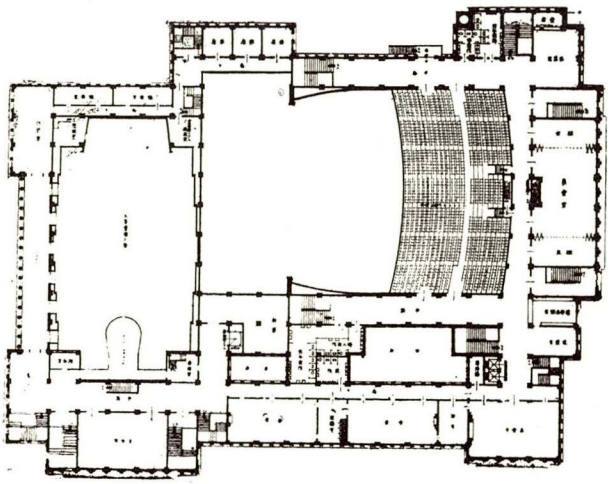
1階平面圖

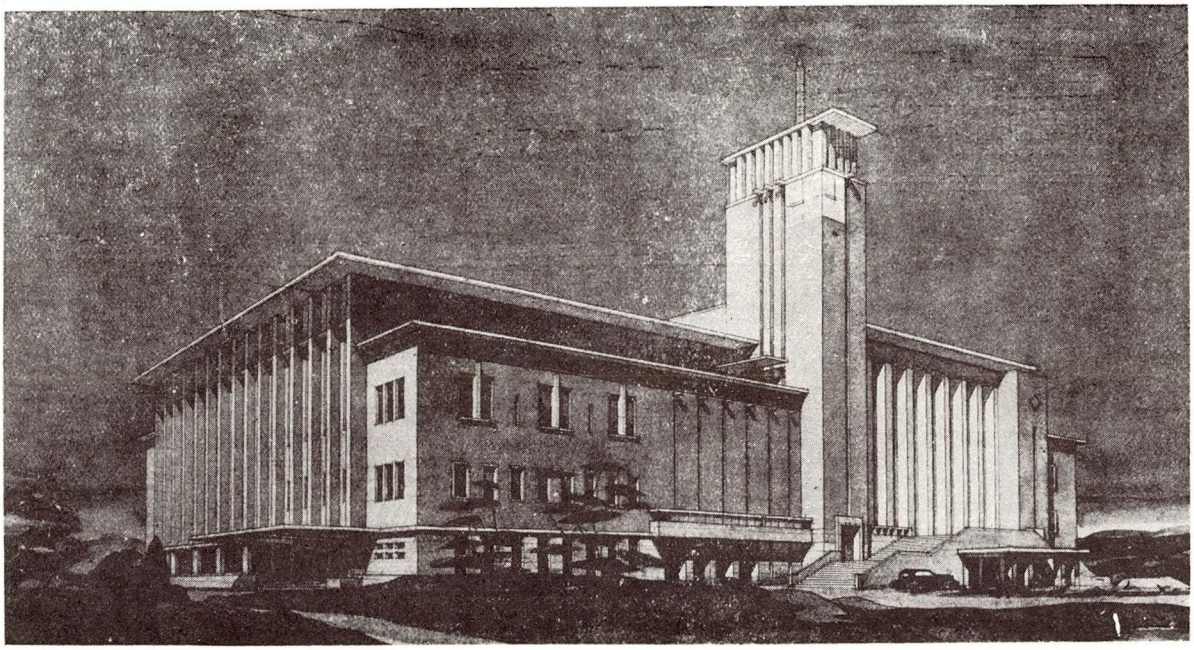




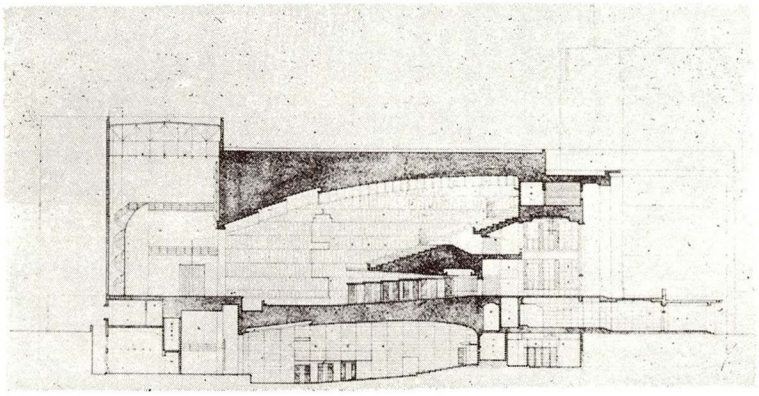
2階平面圖

3階平面圖

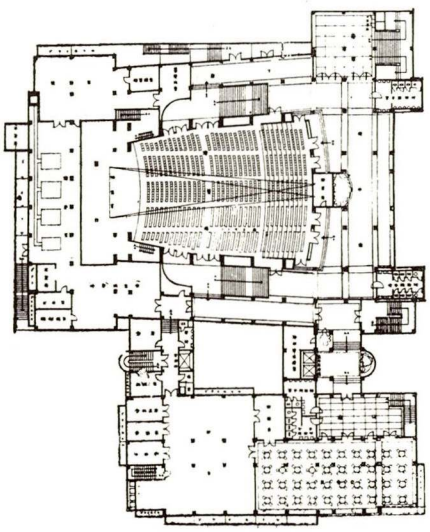




透　視　圖

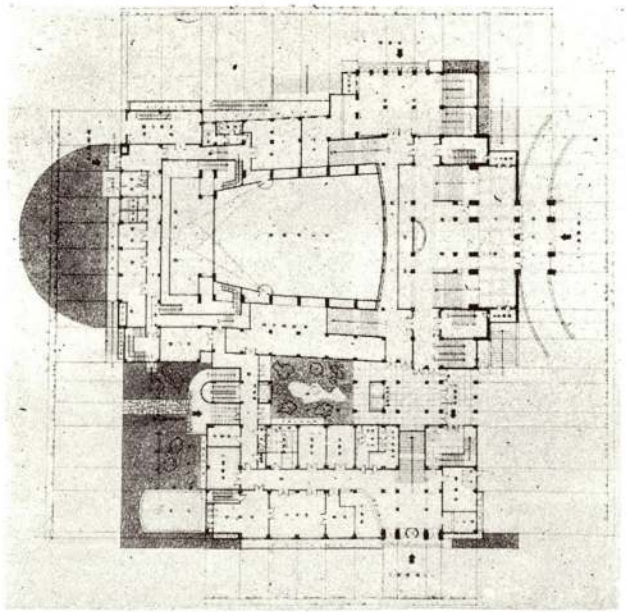


橫　斷　面　圖

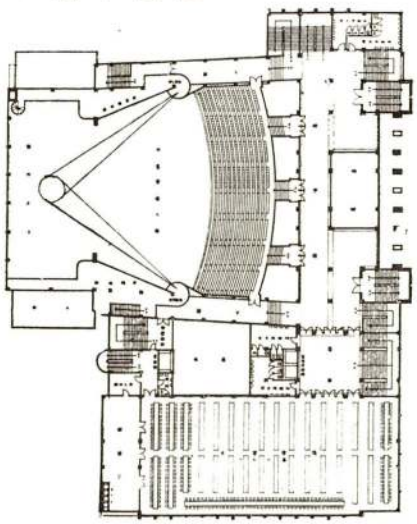


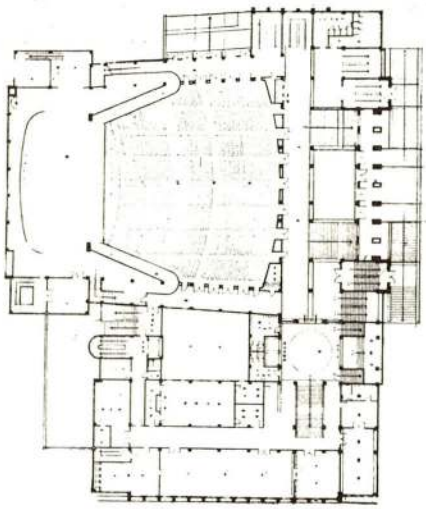
地　階　平　面　圖

1階平面圖

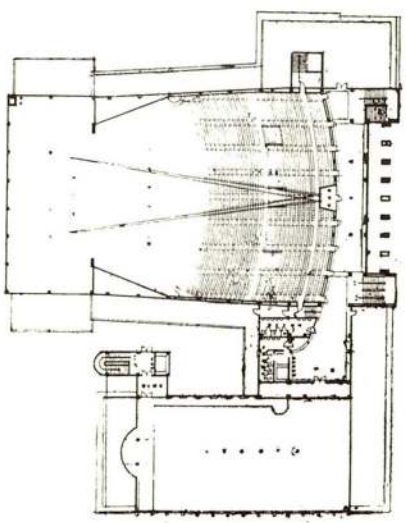


3階平面圖





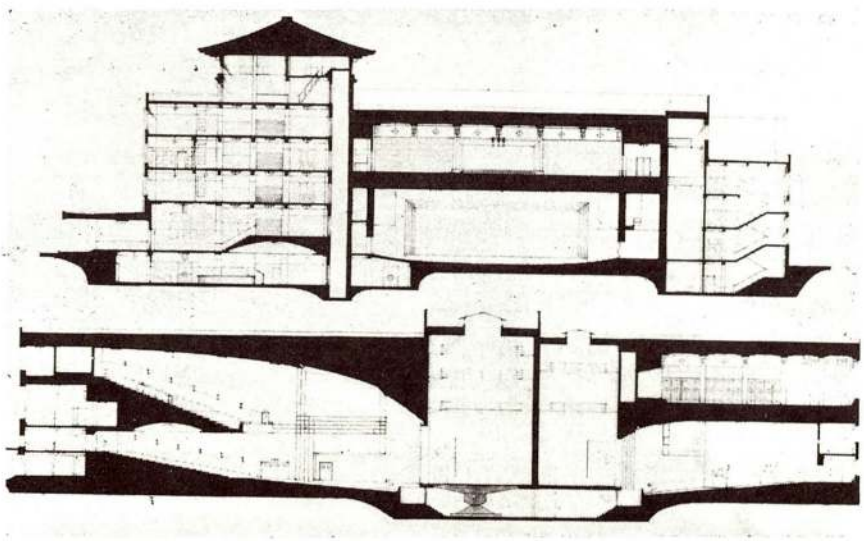
2階平面圖



4階平面圖

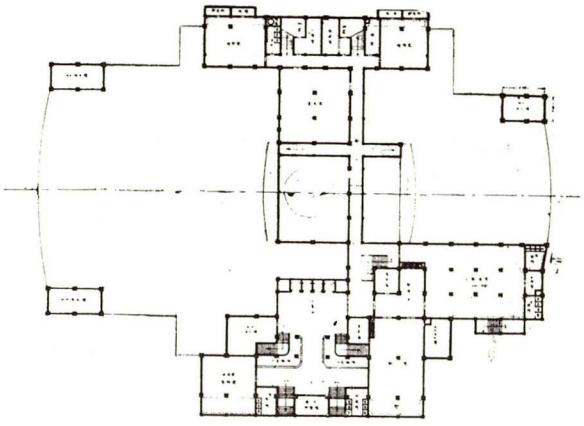


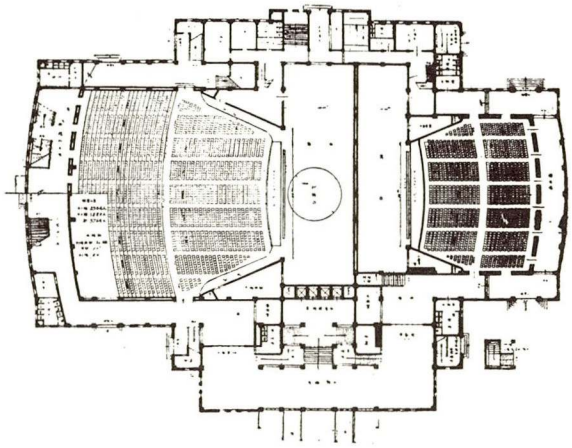
透　視　圖



斷　面　圖

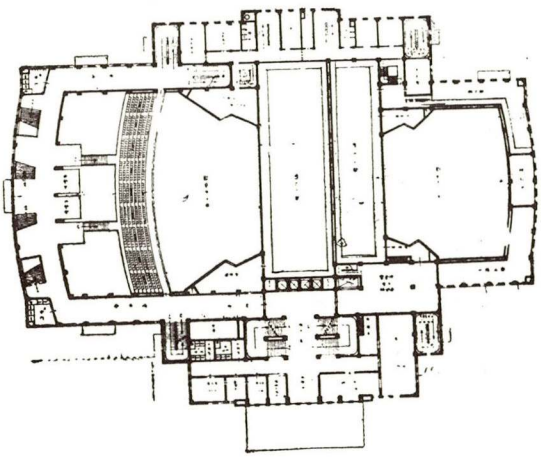
地階平面圖

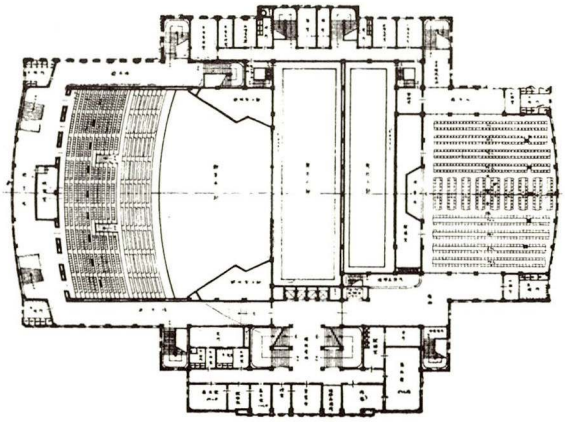




1階平面圖

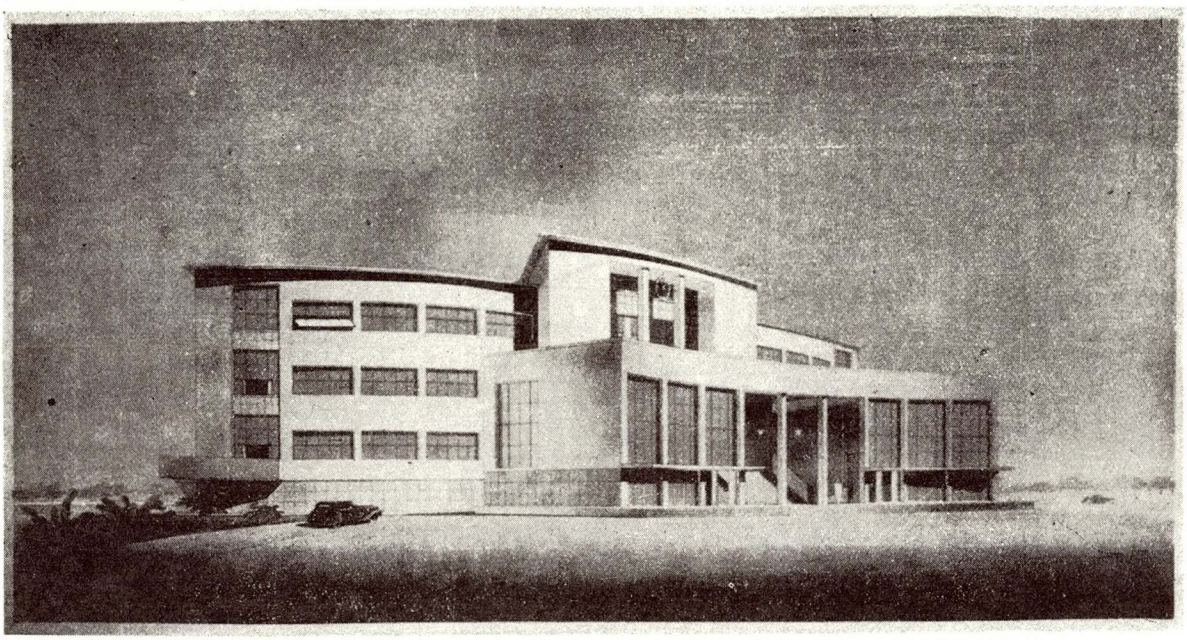
2階平面圖



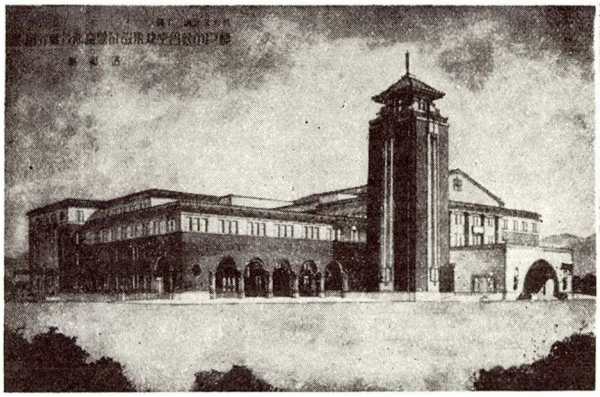


3階平面圖

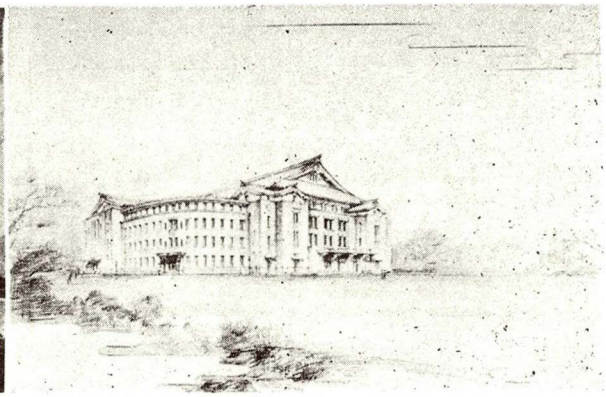
神戸市公會堂建築設計懸賞競技 三等當選者圖案・井上正男 63"



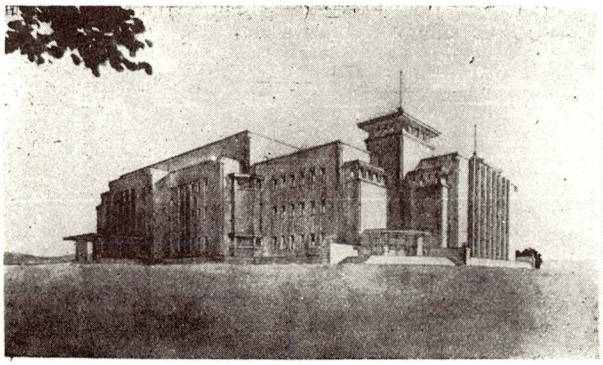
佳作·大 智 誠



佳作·奥 田 譲



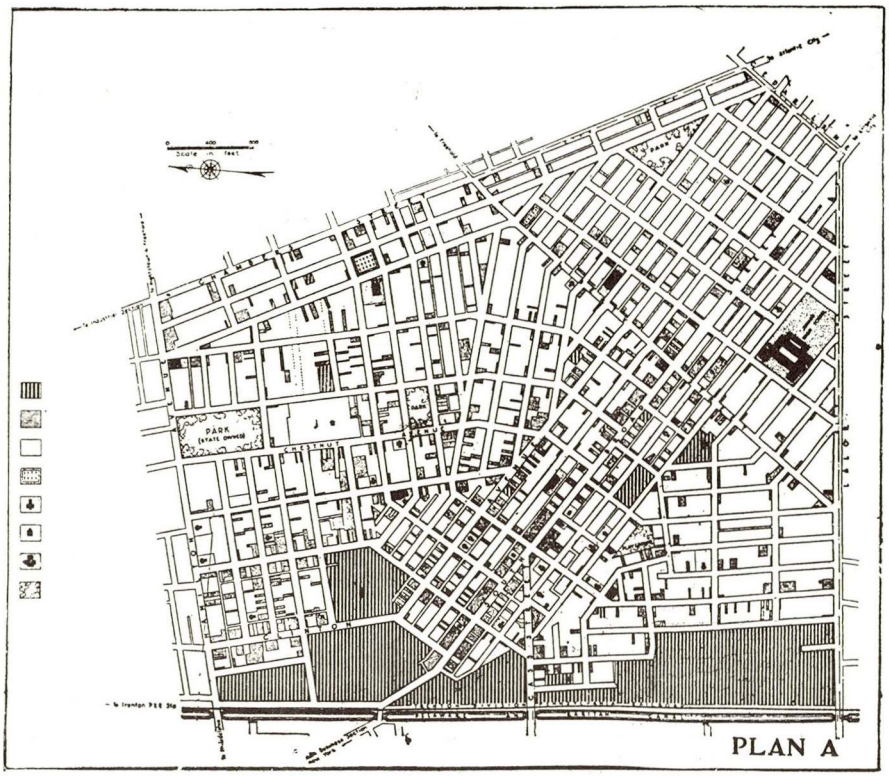
佳作·相 澤 珠 壺



佳作·柴 田 大 郎



佳作·木村平五郎



第1圖 土地開發の比較研究　New Jersey City に於て選定された1平方哩の既存の市街、此の區域は之れまで土地開發に對する何等の指導を有しない無秩序のまゝの發達にまかせたものである。

無指導に發達した場合と、計畫と指導の改善とによる設計で發達した場合とを比較研究する爲めNew Jersey の國土計畫局 (State Planning Board)では New Jersey City に於て、秩序ある發達が經濟的で且つ利益である事を指摘すべく、代表的な1平方哩の土地が選定され區劃整理を行つた。

第1圖の A プランは現況圖

第2圖の B プランは再設計圖

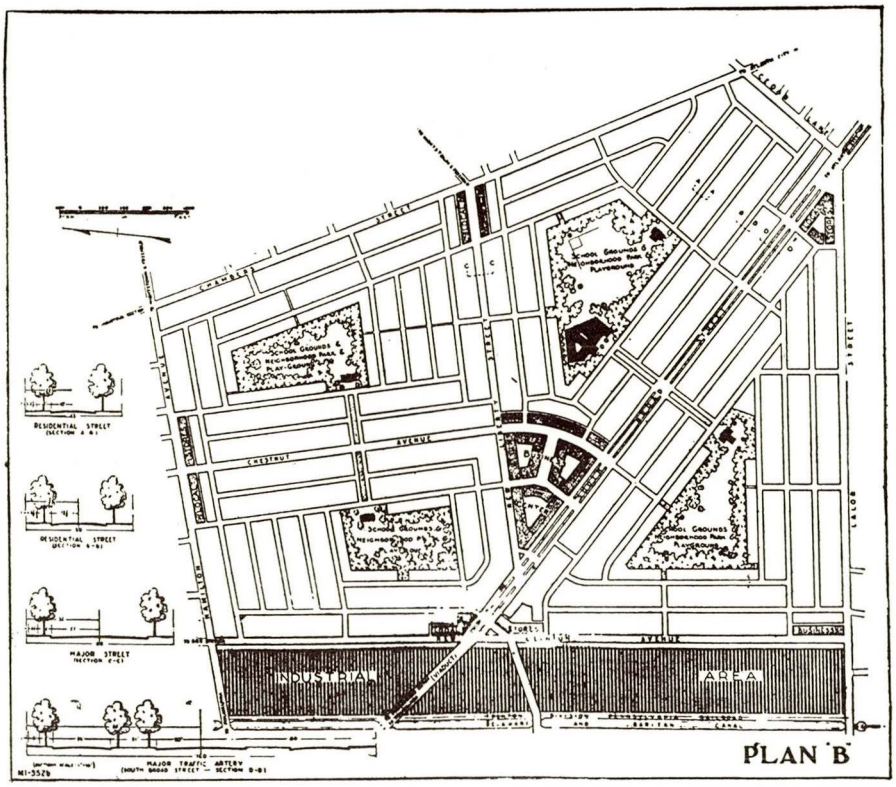
此の A 及 B の各々のプランが各自それぞれの特質を物語るであらう。

賣地又は間口價の減少がなく、再設計に於て25パーセント以上街路の延長を減ずる事によつて、街路改良費だけでも 400,000 弗以上經費を節約し得る。

公共用地として殆んど60エーカーの土地が地價の增加なしに、公園及遊戲場として獲得されてあつた。尙簡單に分離出來ないとしても、再設計による他のものゝ節約と利益と云ふのは、地下の利用の事で、即ち上下水及瓦斯等の設備によつて適性性と能率及經濟の改善と云ふことが獲得られるのである。B のプランでは、近隣の安全さを保證し、更に自動車の駐車場を用意したり、或はより一層商業地域又は工業地域の能率をあげ得る準備をなすのである。

1935, 11, 18, 發行の事業經過に關する最初の年報によると、當局は次の如く聲明して居る。即ち

〃公共財產の浪費の最大原因及都市生活の不快並に不便の主たる原因の1は都市計畫のまづさと、土地發展に對する管理の不充分さである。土地の細別設計のまづさが、隣接する土地と土地の間を整



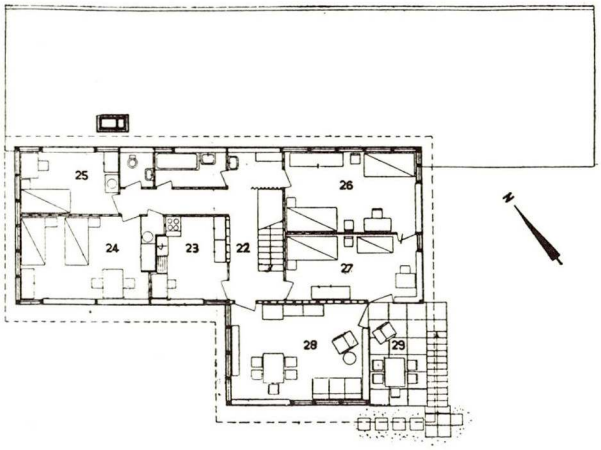
第2圖 第1圖の同じ區域を修正して新に街路計畫を施したもの。此のプランは適住區域の周圍を改良し且つ賣地としての分割敷地を減ずる事なしに、設計のよさと區劃計畫の指導と統制が如何に開發費を輕減し得るかを示すものである。

列にしなかつたり又は街路幅員の決定に對して科學的な扱ひ方が缺けて居つた等の理由によつて、町村の支辨すべき經費の平均の 10% から 25% 又はそれ以上が、街路改良費又は地下埋設物等の爲めに支拂はれる費用である。此の事は浪費以上に更に惡い事である。交通の管理が行きとゞかない爲め住居地域の近隣が破壞されるか若くは漸次退化して行くのを早めるかであるが、同時に商業及工業地域の能率をも減退せしめるのである。必要としない街路の街路敷等は、學校敷地であるとか又は公園及遊戲場として町の利益の爲めの資源とさるべきである〃

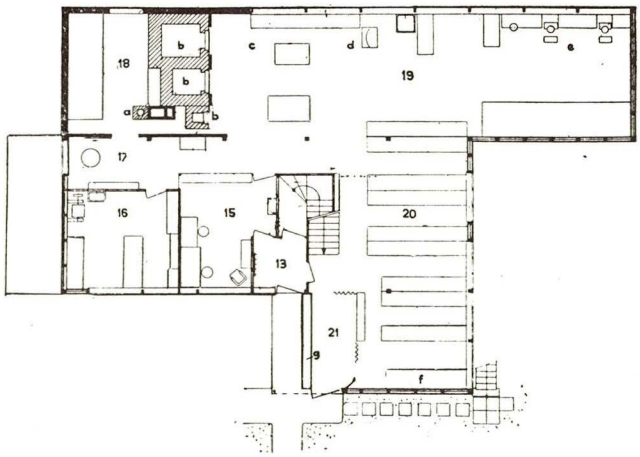
〃土地開發問題は New Jersey 洲に於ては頗る緊急なものとなつて居る。で幾千エカーもの土地が、大都市地域又は避暑地域として擴張されたのであつた。無秩序にして且つ不經濟に整理されて居つた是等の多くの區劃割は、結局將來に於て、住居地域として相應しく、或は經濟的なサービスが可能である樣になすべく、競技設計に附せられるであらう。幸にも、是等の多くの土地は、未だ尙ほ未開發の狀態で殘されてあると云ふことで、計畫局及公共管理局は、事業着手に就て地主の强い協調を通じて、最も都合よく計畫をなし得るか、若しくは更に理論的に改造し得るかである。然るに、地區内に既に存在して居る土地の大部分が設計がまづいのと、それが處女地として區劃さるべき他の所有地へ接續して居ることである。此の新しい區劃計畫に對して充分なる注意深い指導がなさるべきであ 〃 と。

國土計畫局としては、土地開發者又は管理者の爲めの案内として役立つべく推擧に價する支配者を用意する事を通じ又は土地細別の權力の主なる行使を制禦する事を通じて更に高踏的な修正が可能である事を指摘して居る。 (From American City, Dec. 1935. 龜井幸次郎)

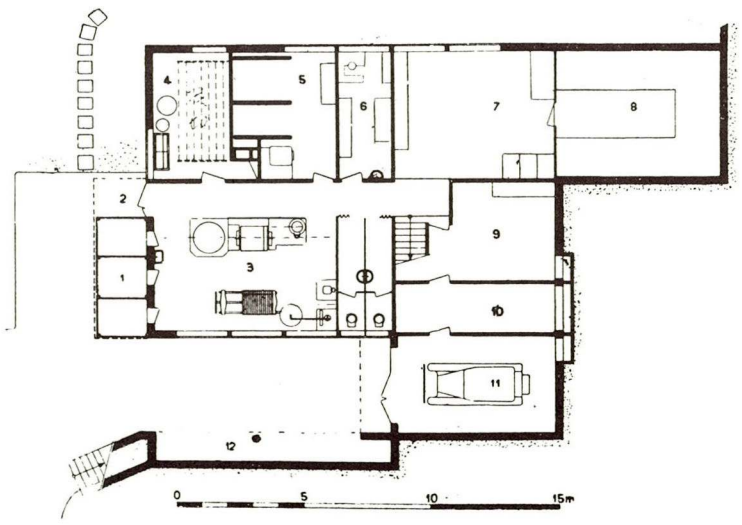
1 粗粘土置場
2 入　口
3 粘土精選場
4 洗　場
5 爐下部
6 石膏型室
7 粗粘土置場
8 精製粘土置場
9 私　室
10 荷下し場
11 ガレーヂ
12 自轉車スタンド
13 玄　關
14 居室への階段
15 事務室
16 釉藥精選場
17 研磨室
18 乾燥室
19 工　場
20 製品置場
21 賣　店
22 廣　間
23 臺　所
24 客　室
25 小女室
26 夫婦室
27 子供室
28 居　間
29 ベランダ



3 階 平 面 圖

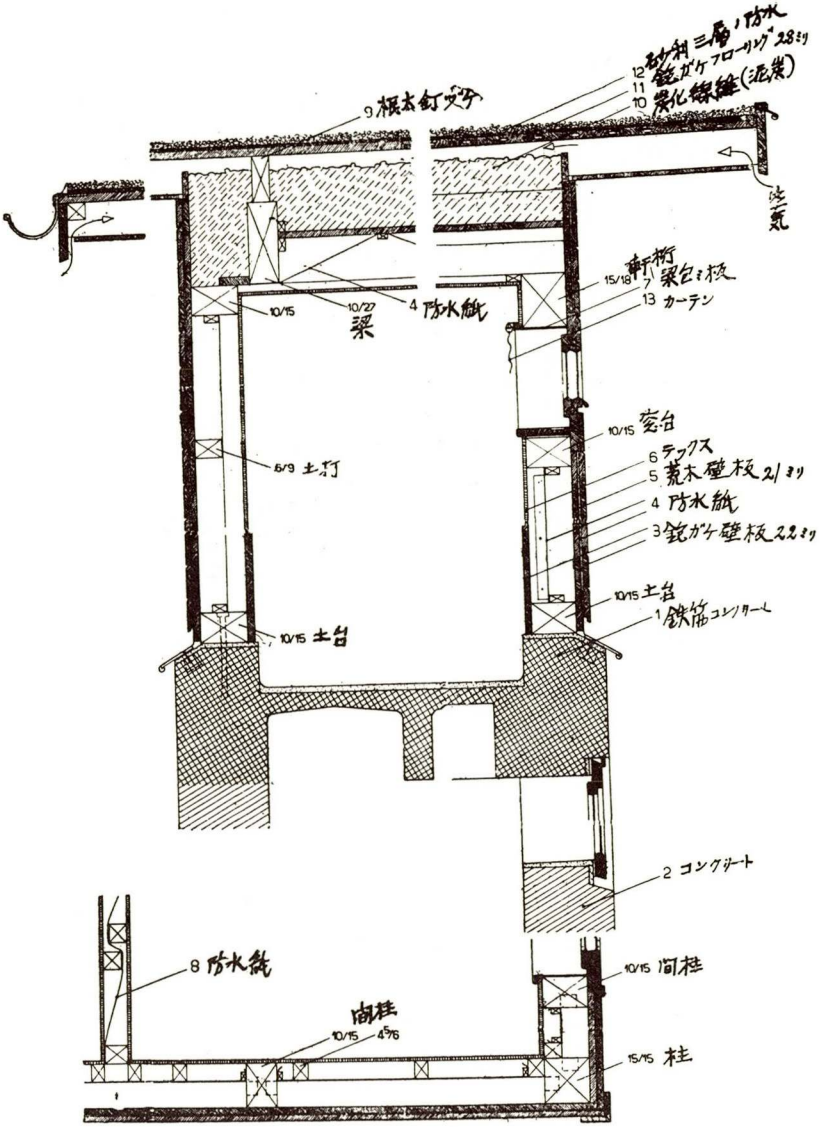


2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖

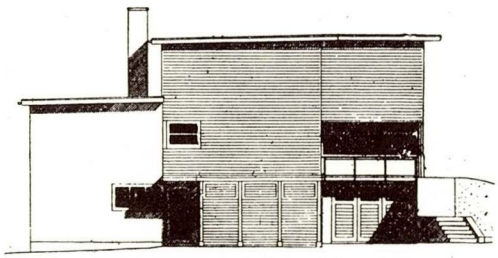
（スイス） F. Haussmann 陶磁器工場　　建築家 Max Ernst Haefeli



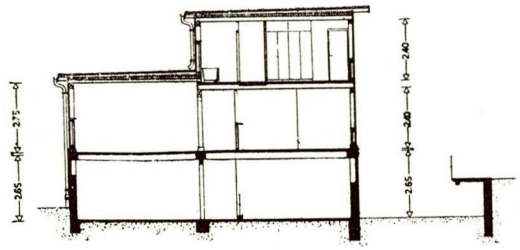
詳　細　圖

チユーリツヒに新築された此工場は地下室が原料調製場、1 階が工場と製品置場と爐、2 階は家族の住居となつて居る。構造法は地下室は鐵筋コンクリート造、1 階及2階は木造で間柱を建て外壁は21ミリと22ミリの壁板2重張り、內壁は壁板又はテックスを張る。そしてその中間に防水紙を入れて濕氣と冷氣を遮斷する屋根はフローリングの2重張りとなりその中間に炭化線維(泥炭)を詰めるフロリングの上面は3層の防水を施し、砂利を撒く。天井はテツクスを貼り防水紙の遮斷層あることは壁と同樣である。木材の大さも規格を造り間柱と窓臺が同材である。

(Das Werk 誌 1935年12月號より
岡田孝男)



立　面　圖



斷　面　圖

68 (スイス) F. Haussmann 陶磁器工場

建築家　Max Ernst Haefeli

會　報

常　務　會　（第1回）

時　　1月8日午後5時15分—8時
所　　協會倶樂部室
出席者　理事　安井副會長
　　監事　津田監事
　　常務　北垣主記　　阪口主記
　　中澤主記　　中西主記
　　内藤主記　　加田主計
　　作間主計　　清水主計
　　新名編輯　　島田編輯
　　本多編輯

議　事
1 昭和11年度常務會定例日決定の件
2 1月例會（新年宴會）に關する件
3 昭和10年度常務會より引繼事項に關する件
4 常設、特設委員並編輯部員其他に關する件
　1 委員會規程改正の件
　2 建築材料陳列場幹事會規程改正の件
　3「建築と社會」、「建築學研究」編輯會其他常設特設委員會委員依囑の件
5 舊建築倶樂部よりの引繼事項處理に關する件
6 會員詮衡

報　告
1 昭和10年度役員委員慰勞會決算報告

常　務　會　（第2回）

時　　1月20日午後5時40分—7時
所　　協會倶樂部室
出席者　理事　片岡會長　　安井副會長
　　常務　北垣主記　　中澤主記
　　内藤主記　　加田主計
　　作間主計　　清水主計
　　新名編輯　　島田編輯

議　事
1 昭和10年度常務會より引繼事項に關する件
2 委員會規程改正に關する件
3 常設、特設委員其他の委員選定の件
4 昭和10年度剩餘金處分に關する件
5 都市武裝促進委員會記錄寄贈に關する件
6 第2回工業博覽會に關する件
7 會員詮衡

報　告
1 1月例會準備報告
1 12月分會計報告
1 昭和10年度決算報告

會員動靜

入　會　者

會　員

飯田　稔君　市外吹田町六地藏925（大阪市河川橋梁課）
飯干　君美君　此花區下福島1ノ8（大阪市役所臨時校園建設所）
金島　四郎君　天王寺區上本町9ノ73（大阪市河川橋梁課）
瀧野覺之助君　京都市左京區岡崎北御所町45（大伍商店）
元良　勳君　京都市中京區土手町通竹屋町上（大阪市技師）
勝田　幸男君　住吉區平野中町19（久保田組）
山田　稔君　旭區森小路90（大阪府廳營繕課）
安藤猪久男君　東區谷町3ノ38（中尾保建築事務所）
有田　勝君　神戸市楠公前東明ビル3階神戸市役所營繕課
青山復三郎君　住吉區田邊東ノ町6ノ7（大阪市役所臨時校園建設所）
荒木　正利君　京都市左京區吉田泉殿町5（長谷部竹腰建築事務所）
新井　辰一君　西宮市越水宅地688ノ1（古塚正治建築事務所）
旭　德次郎君　東成區南中本町1ノ63（自營）
井上　伉一君　神戸市須磨區月見山本町1ノ161（神戸市營繕課長）
伊藤　康夫君　西淀川區塚本町163ノ1（大阪市役所）
池上　德一君　兵庫縣御影町上石屋48）大阪市役所臨時校園建設所）
池田總一郎君　京都市上京區小川通今出川北入（

自營）

岩根　藤一君　港區八幡屋中通3ノ114（陸軍造兵廠大阪工廠技術課營造掛）

飯田爲二郎君　府下吹田町868（國技工務所）

大久保幸男君　京都市左京區聖護院西町17横山英三方（京都府營繕課）

大崎　寛君　神戸市須磨區村雨町6丁目2ノ9（神戸市營繕課）

大瀧　丈夫君　府下三島郡千里村千里山128（大阪市電氣局高速鐵道建設課）

河邊　寛君　北區善源寺町3ノ45（大阪市水道部技術課）

香山　毅君　府下吹田町泉町3294（大阪市電氣局高速鐵道建設課）

貴賓院　隆君　北區角田町33（阪急電鐵株式會社地所課）

黒澤　董允君　普通賛助員より變格

黒熊　春已君　住吉區松虫通1ノ43角屋方（大阪市臨時校園建設所）

倉持　勝一君　西區土佐堀2ノ2清水組大阪支店内

汲川彌太郎君　住吉區住ノ江町252（長谷部竹腰建築事務所）

神崎　良治君　東區大手通1ノ26松村組内

杉本　忠勝君　京都市伏見區深草稻荷5（自營）

須藤　員雄君　北區堂島中2ノ39（渡邊節建築事務所）

末岡　好松君　西淀川區花川町岡屋（建築請負業）

田口　熊市君　東淀川區南濱町2ノ50（土木建築設計請負）

坪内　英雄君　南區北桃谷町45

鶴田　勝君　普通賛助員より變格

出崎　四郎君　神戸市加納町3ノ70（大阪市校園設建所）

土井　久二君　東成區勝山通9丁目91ノ16（大阪市校園建設所）

中谷　甚一君　京都府宇治郡宇治村木幡字西浦（陸軍造兵廠火工廠營造掛）

中西　十一君　住吉區杉本町539ノ1（株式會社大林組）

中村　武雄君　旭區森小路町649古谷倉義方（大阪府建築課）

成田　昌弘君　住吉區松虫通1ノ43角屋方（大阪市校園建設所）

西原　直一君　府下茨木町茨木1039（大阪市河川橋梁課）

西森　一男君　東區東阪町478

根岸　担君　住吉區阪南町西2ノ26（横河橋梁製作所）

根來　弘君　府下豐中町新免205ノ1（株式會社大林組）

畑　政七君　神戸市林田區西山町2ノ23（畑工務店）

藤谷茂二郎君　京都市左京區下鴨蓼倉町20（自營）

福井　福君　尼崎市西向島町299（兵庫縣武庫郡大庄村小學校設計監督）

別府　尙逸君　北區澤上江町5ノ54（土木建築設計請負）

保木本信二君　住吉區松虫通2ノ43角谷方（大阪市校園建設所）

三宅　利雄君　府下三島郡千里山809（大倉土木株式會社）

宮谷　顯市君　神戸市葺合區磯上通6ノ2?（建築請負業）

山口　潔君　住吉區西今川町6ノ50（大阪市電氣局高速鐵道建設課）

安井源一郎君　京都市上京區霞屋町出水下ル（長谷部竹腰建築事務所）

矢代幸三郎君　府下豐中町櫻塚246ノ1（大阪市役所）

吉田　邦一君　西淀川區海老江中2ノ58（大阪市校園建設所）

吉田九州男君　東成區林寺町274（朝永建築工務所）

横山三四次君　府下豐中町南轟木472（大阪市公園課）

米田光太郎君　旭區今福町67（米田建築事務所）

若松初三郎君　神戸市須磨區上中島町3ノ1（土木建築請負業）

地方會員

大野　一正君　東京市小石川區原町14（東京帝國大學營繕課）

渥美　格君　大津市下百石町30（滋賀縣建築技手）

大谷　勳君　大牟田市大高町29（合資會社清水組）

大明　義隆君　東京市芝區西久保櫻川町1（自營）

大野木亮逸君　名古屋市上名古屋町7ノ48（伊藤工務店）

神吉　賢一君　兵庫縣印南郡東神吉村神吉1491

後藤　勝男君　名古屋市東區千種町南畑48（株式會社誠工舍）

科野　正一君　京都府與謝郡栗田村上司（吳海軍建築部舞鶴出張所）

谷內　弘次君　和歌山市宇須2(合資會社清水組大阪支店）

德田　嘉作君　八幡市熊手管原町稅29ノ2(合資會社清水組）

富士原宗行君　金澤市上鶴間町4ノ213（文部省建築課金澤出張所）

森岡　正雄君　名古屋市東區花田町2ノ23 奥田佐一方(愛知縣營繕課）

特別賛助員

河野　金秋君　東區北濱3ノ13 杉本製作所大阪出張所

西村　福治君　西區新町南通5ノ16(昭和鋼管加工株式會社）

普通賛助員

安藤萬三郎君　岡山市南方84(自營）

家石　昇君　東成區中本町489竹內一男方(大阪工廠技術課營造掛）

和泉　了一君　旭區鳴野町212ノ1（第4師團經理部）

田垣內由信君　北區東野田町2ノ18松任次吉方(第4師團經理部工務科）

西江　濟君　北區澤上江町6ノ50(大阪工廠技術課營造掛）

村田　繁規君　京都市伏見區竹田內畑町260(宮內省內匠寮出張所）

山田　勝君　四日市市千歲町日本板硝子製造株式會社內

吉田　忠勝君　府下三島郡味吉村字正雀78ノ2(大阪府建築課）

退會者

會員

川野由太郎君、長尾勝馬君、藤岡忠義君、横野美國君

特別賛助員

田邊駒造君

普通賛助員

佐巴勢正次君

轉居轉勤

會員

中島　富造君　神戸市須磨區關守町2丁目8ノ1

佃　末義君　旭區中宮町530

伊藤　一市君　高知市江ノ口舊水源地

中西　一郎君　天王寺區東高津南之町45（中西工務店電南7085）

神谷　新一君　京都市伏見區顯成町2

佐藤　富夫君　高知市東唐人町35

山口儀三郎君　旭區上辻町299(明和園電旭2832）

木野　寅治君　港區吾妻町3ノ1

小泉嘉四郎君　住吉區阿倍野筋1ノ87丁子園方

村野　威夫君　京城府南大門通2ノ1大林組京城出張所內

野澤　勉君　兵庫縣川邊郡小田村杭瀨字高田22

地方會員

池田　訓章君　東淀川區三國町886

寺川　三郎君　廣島市宇品町翁通679

林　豪藏君　神奈川縣逗子町川間525

山田　英男君　神戸市灘區六甲高羽地藏12

渡邊　金作君　鹿兒島縣鹿屋町鹿屋航空隊廳舍工事場清水組作業所

普通賛助員

江木　佐君　東京市目黑區中目黑4ノ1448

野村　眞道君　西宮市泉町4

五條　宗次君　京都市左京區聖護院西町17横山方

堂園　廣二君　西淀川區塚本町169

大久保信一君　岡山縣玉島町乙島太陽レーヨン玉島工場建築場竹中工務店出張所

大久保喜彥君　住吉區山阪町2ノ49(牧野工務店）

白井　俊雄君　兵庫縣川邊郡小田村潮江字東大寺7

御前　弘君　和歌山縣有田郡宮原村南159

森本　三次君　佐世保市三浦町10三池土木株式會社佐世保出張所內

中野　利男君　北海道釧路國川上郡標茶村磯分內北海道製糖工場工事場錢高組出張所內

村田　眞一君　旭區南島町37

藤島　幸滿君　高知市本町301宮地方

堀川　竹雄君　神戸市灘區高羽楠ケ丘18

改名

會員

小笠原祥光君（舊名銅）

死亡

地方會員

內山熊八郎君　昭和11年1月22日逝去

終身賛助員

作山　義弼君　昭和10年12月31日逝去

（謹んで哀悼の意を表す）

住宅家具設計競技規定

1、京都宮崎家具裝飾部ハ現代ニ於ケル住宅家具改善ニ資センガ爲メ京都家具工藝研究會ノ後援ヲ得テ家具設計圖案競技ヲ行フ

2、想定部屋ヲ「應接室、居間、食堂、化粧室、書齋、寢室」ノ6種トシ各面積ヲ壹室20平方米内外トス

3、本競技ハ一室ヲ1案トシ、一人ニテ2案以上ヲ提出スルモ妨ゲナシ

4、材料、構造、樣式、規模等凡テ應募者ノ隨意トシ現代ノ生活ニ適スル明朗ナルモノヲ求ム

5、製作費ハ之レヲ限定セズ

6、所要圖

1、平　面　圖　　縮尺20分ノ1
1、各壁面圖　　縮尺20分ノ1
1、透　視　圖
1、照明器具圖案　　縮尺10分ノ1（一部現寸）
1、家具圖案　　縮尺10分ノ1（一部現寸）
1、敷物圖案　　縮尺10分ノ1

7、圖面ハ　ワツトマン全紙大又ハ半切大トシ平面圖以外ハ色彩ヲ施シ必要ニ應ジ說明書ヲ附スルコト

8、應募圖案ハ之レヲ包裝シ（表ニ姓名住所ヲ明記シ圖面ニハ氏名或ハ暗號ヲ記入スベカラズ）11年4月10日限リ京都市中京區夷川堺町角宮崎家具裝飾部內家具競技係宛ニ提出セラルベシ

9、應募案ハ左記審査員ニ依リ之ヲ審査ス

審　査　員

前京都帝國大學教授 工學博士	武田五一	京都帝國大學教授 工學博士	藤井厚二
神戸高等工業學校々長	古宇田實	京都高等工藝學校教授	本野精吾
京都美工院々長	神阪雪佳	早稻田大學講師	安井武雄
京都帝國大學教授 工學博士	森田慶一	帝國美術院會員	赤塚自得
帝國美術院會員	津田信夫	京都高等工藝學校教授	霜鳥正三郎
大藏省營繕管財局技師	吉武東里	東京高等工藝學校教授	宮下孝雄
宮崎家具　店主	宮崎平七		

10、當選者ニ贈呈スベキ賞金左ノ如シ

優賞　金300圓　5名　　佳賞　金100圓　10名

11、右賞金ハ審査決定後一週間以內ニ本人ニ送附ス

應募圖案ニ關スル一切ノ權利ハ宮崎家具裝飾部ニ歸屬ス

12、審査ノ結果ハ左記雜誌ニ依リ之ヲ發表ス

建築世界、新建築、國際建築、建築雜誌、建築と社會
大阪工藝、帝國工藝、家具新聞社、都市と藝術

13、優秀圖案ニ依リ數室ヲ製作シ當選圖案ト共ニ宮崎家具裝飾部ニ於テ展觀ス

京都市夷川通堺町角
宮崎家具裝飾部內
京都家具工藝研究會
電話上二二一番・一二三〇番

編輯後記

◆本月號は特輯に據らない編輯方法の第2月である。都市又は建築に關する各人各樣の意見を伺ふべく、題目に細かい限定を附けないで依頼狀を發した次第であつたが、多數御應諾の返事があつたにも關らず、案外御投稿の少なかつた事は殘念であつた。

◆寄稿せられた原稿が何れも都市に關するものであることは、今日、建築を語るものが個々の建築に就いてよりも、都市を背景として建築を考へる傾向になりつゝあることを物語るものである。

◆特輯號を年4回程度に止めることは、昨年末の編輯會にて決定せられた「建築と社會」本年度の編輯方針であるが、これは決して無方針に編輯すると言ふ意味では決してない。一定の方針の下に一定の目標を定めて編輯すべきこと勿論である。

◆協會の一つの事業として「建築年鑑」編輯の企てがある。毎月の「建築と社會」が夫々年鑑の資料となる如き編輯方法を採用しては如何。この意見はこの雜誌の使命より見て、非常に傾聽すべき觀點に立つものと思ふ。

◆本年より新しく編輯幹事會が組織せられ「建築と社會」及「建築學研究」の兩誌共、この幹事會の意見を徵しつゝ編輯せられることゝなつたから、次號からはこの會に詢つて編輯の大綱をきめ度いと思ふ。

◆一方、廣く全會員より投稿を求める意味に於て、順次原稿を御依頼する豫定になつて居るから、振つて御寄稿を希望する次第である。

◆各府縣の市街地建築物法細則が法制委員會に依つて蒐集せられたから、本月號より卷末に順次揭載することゝした。

◆最後に1月號に挿入の寫眞に就いて次の事項を訂正。

34頁　松の間と竹の間と上下入れ換へ
71頁　挿入の寫眞は誤に就き削除。

（新名編輯）

建築と社會
第19輯第2號

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓(郵稅2錢)　12册 6.00圓(同 24 錢)

昭和11年1月25日印刷　昭和11年2月1日發行

發行・編輯兼印刷人　小板常男
大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　大阪活版所
大阪市東區內淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人　日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル
電話長北濱(23)4501番(9)
振替口座大阪 39975番

特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋西
電話土佐堀 2440番
振替口座大阪 2084番

禁轉載

本號に揭載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告揭載料金

普通	1頁	1回	15.00
普通	1/2頁	1回	8.00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中插）	1/2頁	1回	20.00
表紙2	1頁	1回	60.00
表紙3	1頁	1回	45.00
表紙4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5.00

廣告揭載御申込は本會直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

會告

會費改正ノ件

定款第十一條及十二條一部變更ノ結果下記ノ通會費改正昭和十一年一月一日ヨリ實施ス

會員會費　年額拾貳圓也（元拾八圓）

地方會員會費　年額八圓也（元九圓）

普通賛助員賛助費　年額六圓也（元八圓）

（特別賛助員變更ナシ）

社團法人 **日本建築協會**

本號執筆者紹介

（五十音順）

龜井幸次郎	大阪府建築課技師
新名種夫	大阪市營繕課設計係長
中尾保	中尾建築事務所主
森忠一	村野建築事務所・技師
吉田信武	都市計畫大阪地方委員會技師

各府縣改正市街地建築物法施行細則

北海道廳

（昭和九年十一月七日
北海道廳令第八十九號）

第一章　總　則

第一條　本令ニ於テ法トハ市街地建築物法ヲ、令トハ市街地建築物法施行令ヲ、規則トハ市街地建築物法施行規則ヲ、耐火構造規則トハ市街地建築物法第十四條ノ規定ニ依ル特種建築物耐火構造規則ヲ謂フ

第二條　他ノ法令ニ依リ建築ニ關シ長官ノ許可又ハ認可ヲ受クルコトヲ要スルモノハ本令ニ依ル願届ト同時ニ其ノ手續ヲ爲スベシ

第三條　建築物ヲ建築セントスル法適用區域内ニ居住セザル建築主ハ當該區域内ニ居住スル建築工事管理者ヲ定ムベシ建築主建築工事請負人又ハ建築工事管理者ヲ定メタルトキハ連署ヲ以テ其ノ旨長官ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第四條　法、令、規則、耐火構造規則又ハ本令ニ依リ長官ニ提出スベキ書類ハ所轄警察署長ヲ經由スベシ

第二章　建築線、高、空地

第五條　左ニ掲グル建築物ニ付テハ道路幅ノ境界線ヨリ各號ニ規定スル距離ヲ後退シタル線ヲ以テ建築線トス

一　劇場、活動寫眞館、演藝場、集會場、公會堂及之ニ類スル建築物ニシテ其ノ定員二百人以上五百人未滿ノモノハ 1.8 メートル五百人以上千人未滿ノモノハ 2.7 メートル千人以上ノモノハ 3.6 メートル

二　百貨店其ノ他之ニ類スル建築物ニシテ床面積 3,300 平方メートル以上 1 萬平方メートル未滿ノモノハ 2.7 メートル 1 萬平方メートル以上ノモノハ 3.6 メートル

第六條　建築線ヲ指定シタルトキハ長官之ヲ告示ス之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ但シ申請ニ基キ指定シタル建築線ニ付テハ申請者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フルコトアルベシ

第七條　申請ニ依ル建築線ノ指定アリタルトキハ申請者ハ指定ノ日ヨリ二週間以内ニ標杭ヲ以テ其ノ位置ヲ表示シ所轄警察署長ニ届出ヅベシ但シ側溝其ノ他ノモノニ依リテ建築線ノ位置分明ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

標杭ハ大方10センチメートル以上長50センチメートル以上トシ石又ハコンクリートヲ以テ之ヲ作製シ頭部ヲ露出シテ之ヲ埋設スベシ

標杭ハ所轄警察署長ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ除去シ又ハ移動セシムルコトヲ得ズ

第八條　道路幅ノ境界線ハ建築主ニ於テ石又ハコンクリートノ標杭ヲ以テ之ヲ分明ナラシムベシ

第九條　令第十條ノ各號ニ掲グル敷地ニ於ケル建築物ノ高ハ左ノ各號ニ依ル

一　公園、廣場、河、海ノ類ニ接スルトキハ公園、廣場、河、海ノ類ノ幅員又ハ對側迄ノ距離其ノ敷地ニ於ケル令第七條第一項後段ノ限度ヨリ大ナル場合ニ限リ其ノ幅員又ハ對側迄ノ距離ヲ以テ高ノ限度トス但シ土地ノ狀況ニ依リ支障アリト認ムルトキハ其ノ高ヲ制限スルコトアルベシ

二　前面道路ノ對側ニ公園、廣場、河、海ノ類アルトキハ其ノ幅員又ハ對側迄ノ距離ト前面道路幅員ノ和ヲ超エザル範圍内ニ於テ令第七條ニ規定スル一倍四分ノ一ヲ二倍、一倍二分ノ一ヲ二倍二分ノ一トス

三　其ノ地盤面ガ前面道路ノ中央ヨリ 1 メートル以上高キトキハ其ノ高ヨリ 1 メートルヲ減ジタルモノノ二分ノ一ヲ以テ前面道路ノ中央ノ高ト看做ス

四　高低ノ差 1 メートル以上ノ二以上ノ道路ニ接スルトキハ一ノ道路ノ境界線迄ノ水平距離ガ其ノ道路幅員ノ一倍二分ノ一又ハ 25 メートルヲ超過スル區域ニ在ル建築物各部分ノ高ニ付テハ緩ナル制限ノ規準トナル道路ヲ前面道路ト看做ス

五　道路ノ終端ニ位スルトキハ其ノ道路幅員ヲ前面道路幅員ト看做ス

第十條　令第十四條但書ノ規定ニ依リ指定スル角地其ノ他ノ地區左ノ如シ

一　幅員10メートル以上ノ二道路ニ依リ角地ヲ爲シ敷地面積 500 平方メートル以下ノモノ

二　敷地ノ周邊五分ノ二以上ガ幅員10メートル以上ノ道路ニ接シ敷地面積500平方メートル以下ノモノ

三　公園、廣場、河、海ノ類ニ接シ敷地面積500平方メートル以下ノモノ

第三章　構造設備

第十一條　連檐地ニ於ケル木造建築物ノ外側ニハ土壁ヲ使用シ又ハ不燃材料ヲ以テ之ヲ構成スベシ但シ當分ノ間外側ヲ不燃材料ヲ以テ被覆シ之ニ代フルコトヲ得

第十二條　連檐地ニ於ケル木造建築物ノ軒裏ハ不燃材料ヲ以テ被覆スベシ但シ輕微ナル庇ノ類ニシテ長官ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ幅員又ハ對側迄ノ距離通ジテ36メートル以上ノ道路、公園、廣場、河、海ノ類ニ面スル建築物ニシテ之ニ面スル部分ニ適用セズ

第十三條　屋根ハ瓦又ハ石綿板ノ類ヲ以テ覆葺セザル場合ハ厚12ミリメートル以上ノ野地板ヲ全面ニ張リ不燃材料ヲ之ニ緊着スベシ

第十四條　木造ノ棟割長屋ハ之ヲ建築スルコトヲ得ズ

第十五條　木造ニシテ6戸以上連續スル長屋ハ之ヲ建築スルコトヲ得ズ

第十六條　木造ニシテ4戸以上連續スル長屋ヲ建築セントスル場合ハ其ノ側壁ト隣地境界線トノ距離ハ之ヲ2メートル以上ト爲スベシ

第十七條　木造ニシテ4戸以上連續スル長屋2棟以上建築セントスル場合ハ左ノ各號ニ依ルベシ但シ土地又ハ建築物配置ノ狀況ニ依リ支障ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　平行シテ建築セントスル場合ハ各棟ノ外側間ノ距離ハ之ヲ4メートル以上ト爲スベシ

二　其ノ他ノ場合ニ在リテハ各棟ノ外側間ノ距離ハ之ヲ3メートル以上トナスベシ

第十八條　木造ノ長屋ハ各戸ノ境界ヲ1階床上ヨリ屋根ニ達スル迄塗壁、金屬板其ノ他防火上有效ナル物ヲ以テ區劃スベシ

第十九條　物干、物見臺等ノ屋上工作物ニシテ面積20平方メートルヲ超過スルモノハ不燃材料ヲ以テ構成シ又ハ之ヲ被覆スベシ但シ防火上危險ノ虞ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　屋根及外壁ヲ耐火構造トスル建築物ノ窓及出入口ニハ燃燒物ヲ附屬セザル金屬製建具ヲ使用シ其ノ外面ニ防火戸ヲ設クベシ但シ其ノ面スル道路幅員25メートルヲ超ユル場合ハ防火戸ヲ設ケザルコトヲ得

公園、廣場、河、海等ノ空地ニ面スル窓又ハ出入口ニ付テハ前項ノ規定ノ適用ニ於テ其ノ空地ヲ道路ト看做ス

第一項ノ窓ハ上ゲ下ゲ式ト爲シ防火戸ハ巻上式ト爲スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ長官ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ巻上戸ハ厚1ミリメートル以上ト爲スベシ

第二十一條　前條ノ規定ニ依ル上ゲ下ゲ窓ハ左ノ大ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

内法高 / 内法幅	1.800米	2.000米	2.200米
0.700米	ア		
0.800米	カ	キ	
0.900米	サ	シ	ス
1.000米	タ	チ	ツ
1.100米		ニ	ヌ
1.200米			フ

第二十二條　防火地區内ニ在ル建築物ニシテ左ノ各號ノ1ニ該當スルモノハ規則第百十九條乃至第百三十四條ノ規定ニ據ラザルコトヲ得

一　建築工事用ノ足代、棧橋、下小屋、材料置場又ハ監督員事務所ノ類

二　建築工事中ニ限リ使用ヲ目的トスル假營業所又ハ假事務所ノ類

三　前二號ニ掲グルモノノ外一時ノ使用ニ供スル建築物ニシテ長官ノ承認シタルモノ

第二十三條　木造建築物ニシテ前條各號ノ一ニ該當スルモノハ第十一條及第十二條ノ規定ニ據ラザルコトヲ得

第二十四條　構造强度計算ニ適用スル水平風壓力ハ建築物ノ垂直平面1平方メートルニ付高6メートル以下ノ部分ニ在リテハ之ヲ百キログラム以上其ノ他ノ部分ニ在リテハ之ヲ150キログラム以上ト爲スベシ但シ高15メートルヲ超過スル煙突、物見塔、廣告塔、其ノ他之ニ類スルモノニ在リテハ垂直平面1平方メートルニ付220キログラム以上ト爲スベシ

前項ノ風壓力ハ建築物ノ形狀又ハ周圍ノ狀況ニ依リ其ノ增加ヲ命ジ又ハ其ノ輕減ヲ許可スルコトアルベシ

第四章　手　　續

第二十五條　建築線ニ接セザル敷地ニ建築物ヲ建築セントスル者ハ建築線ノ指定ヲ申請スベシ

前項ノ指定ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ圖面ヲ添附シタル申請書正副三通ヲ提出スベシ

一　申請者ノ住所、氏名、及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所所在地及代表者ノ住所氏名）

二　關係土地ノ地目地番

三　申請ノ事由

四　申請建築線ノ延長及建築線間ノ距離

五　申請建築線ノ位置表示ノ方法

前項ノ申請書ニハ關係土地所有者使用權者及家屋所有者ノ住所氏名ヲ記載シ其ノ承諾書（承諾ヲ得ル能ハザルトキハ其ノ理由書）ヲ添付スベシ

建築線ノ指定前前二項ニ揭グル事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ直ニ更生スベシ

第二十六條　前條第二項ノ圖面ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一　關係土地ノ地目、地番、地番ノ境界線及其ノ長

二　關係土地ノ所有者、使用權者ノ氏名及所有權、使用權ノ目的タル土地ノ境界線

三　申請建築線ノ位置（附近道路ヨリノ距離ヲ明示スベシ）

其ノ延長申請建築線間ノ距離

四　申請建築線ニ接續スル道路及其ノ幅員又ハ建築線及建築線間ノ距離

五　關係土地內ノ建築物（豫定建築物ヲ含ム）ノ配置構造及申請建築線トノ關係竝ニ用水路、井戶等ノ位置

六　方位及縮尺

關係土地又ハ其ノ附近斷崖其ノ他特種ノ地形ニアルトキハ其ノ概況圖ヲ添附スベシ

第二十七條　指定シタル建築線ヲ變更又ハ廢止セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ前二條ニ準ジ申請スベシ

第二十八條　規則第百四十三條第一項第五號ノ規定ニ依リ指定スル建築物左ノ如シ

一　建築面積六百六十平方メートル以上ノモノ

二　他ノ法令ニ依リ建築物ノ位置、構造、設備又ハ敷地ニ關シ許可又ハ認可ヲ要スベキモノ

三　災害ニ依リ建築物ノ滅失シタル一團ノ土地ノ面積三千三百平方メートル以上ノ場合ニ於テ罹災後三ケ月以內ニ建築スルモノ

第二十九條　規則第百四十三條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ申請書正副二通ヲ提出スベシ

一　建築主ノ住所、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱、主タル事務所所在地及代表者ノ住所氏名）

二　敷地所有者ノ住所氏名

三　建築工事管理者、設計者又ハ建築工事請負人アルトキハ其ノ住所氏名

四　申請ノ要旨

五　敷地ノ位置

六　主要用途（自動車ノ車庫ニ在リテハ自動車ヲ收容スル室ノ面積、工場ニ在リテハ事業ノ種類、原料、生產物、副產物、作業ノ概要、機械設備及常時使用スル原動機馬力數ノ合計倉庫ニ在リテハ貯藏物品ノ種類、自家用、倉庫業用ノ區別、用途變更ノ場合ニ在リテハ舊用途ヲ附記スベシ）

七　地域、地區別

八　敷地面積及敷地內新舊建築物ノ面積

九　申請ニ係ル建築物ノ概要（各棟每ノ用途、構造、工事、種別、階數、各階ノ面積、高、軒高、軒出等ヲ記載スベシ）

十　起工及竣工豫定日（用途變更ニシテ工事ヲ爲サザルトキハ其ノ旨記載スベシ）

前項ノ外必要ト認ムルトキハ圖書ヲ提出セシムルコトアルベシ

第一項ノ場合ニ於ケル建築敷地ガ官有地、公有地又ハ道路ナル場合ニ於テハ其ノ使用許可ヲ證スベキ書類ヲ土地區劃整理組合ノ地區內ニシテ換地豫定地ノ決定前ナル場合ニ於テハ組合長ノ承諾ヲ添附スベシ

第三十條　前條ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル設計書ヲ添附スベシ

一　圖面ニ示シ難キ構造設備、材料寸法其ノ他仕樣ノ概要

二　鐵骨構造、鐵筋コンクリート構造其ノ他特種ノ構造ノモノニ在リテハ其ノ構造强度計算

三　昇降機、煖房、換氣、避雷、給水、排水、汚物處理、煙突等ノ附屬設備アルモノハ其ノ

構造仕様ノ概要

第三十一條　第二十九條ノ申請書ニハ左ノ各號ノ圖面ヲ添付スベシ

一　敷地附近ノ見取圖

二　配置圖（方位、敷地境界線及其ノ長、指定建築線、周圍道路、井戸、排水路、建築物、石垣、擁壁等ヲ明示スベシ）縮尺二百分ノ一

三　各階平面圖（方位、各室ノ用途、出入口、各室ノ床面積及採光面積等ヲ明示スベシ）縮尺百分ノ一

四　斷面圖（建築物ノ高、軒高、階高、床高、基礎、關係道路、建築線等ヲ明示スベシ）縮尺五十分ノ一又ハ百分ノ一

五　立面圖縮尺百分ノ一

六　基礎平面圖縮尺百分ノ一

七　各階床組平面圖縮尺百分ノ一

八　小屋組平圖面縮尺百分ノ一

九　構造上緊要ナル部分ノ詳細圖縮尺二十分ノ一

十　根切深三メートル以上ヲ有スルモノハ其ノ山留工事圖縮尺二十分ノ一

十一　前條第三號ノ設備アルモノハ其ノ圖面

前項第二號乃至第四號ノ圖面ニ既存建築物アルトキハ其ノ部分ト申請部分トヲ着色其ノ他ノ方法ニ依リ區別スベシ

第三十二條　法、令、規則又ハ本令ニ依リ許可、認可若ハ承認ヲ受ケントスル者ハ前三條ノ規定ニ準ジ申請スベシ但シ令第三條ノ二ノ許可ヲ受ケントスル者ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル際現ニ存在スル建築物ノ用途（第二十九條第六號ニ準ジ記載スベシ）、敷地面積、建築面積、床面積及常時使用スル原動機ノ馬力合計數ヲ附記シ配置圖及各階平面圖ヲ添附スベシ

第三十三條　規則第百四十三條ノ認可ヲ要スル建築物ニシテ法、令、規則、耐火構造規則又ハ本令ニ依リ許可、認可若ハ承認ヲ要スルモノニ在リテハ規則第百四十三條ノ認可申請ニ許可、認可若ハ承認ヲ受クル事項ヲ併記スベシ

前項ノ場合ニ於テハ規則第百四十三條ノ認可ヲ以テ法、令、規則、耐火構造規則又ハ本令ニ依ル許可、認可、若ハ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十四條　規則第百四十四條ノ届出ハ少クモ起工一週間前ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ届出ハ第二十九條及第三十一條ノ規定ニ準ジ之ヲ爲スベシ

第三十五條　規則第百四十四條ノ届出ヲ要スル建築物ニシテ法、令又ハ規則ニヨリ許可、認可、若ハ承認ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ申請ヲ以テ届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十六條　法適用區域ノ設定若ハ變更、地域又ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事ニ着手セザルモ設計アル建築物ヲ建築セントスル者ハ其ノ設定、指定若ハ變更又ハ現在地ニ建築スルコトヲ得ザルニ至リタル日ヨリ三十日以内ニ第二十九條乃至第三十一條ノ規定ニ準ジ届出承認ヲ受クベシ但シ規則第百四十三條ノ認可ヲ要セザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ建築物ニシテ工事中ノモノハ其ノ工程ヲ附記スベシ

第三十七條　第三十二條及前二條ノ建築工事竣工シタルトキ及長官ノ特ニ指定シタル工程ニ達シタルトキハ其ノ旨長官ニ届出ヅベシ

前項ノ建築物ニ付テハ規則第百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　建築面積15平方メートル以下高4.5メートル以下ノ木造建築物ニ付テハ規則第百四十四條ノ届出ヲ要セズ

第五章　雜　則

第三十九條　建築物ニ關シ許可、認可又ハ承認アリタル日ヨリ三月ヲ經過スルモ起工セズ又ハ虚僞ノ申請ヲ爲シタルトキハ許可、認可又ハ承認ヲ取消スコトアルベシ

第四十條　規則第百四十四條ノ届出アリタル日ヨリ三月ヲ經過スルモ起工セズ又ハ虚僞ノ届出ヲ爲シタルトキハ其ノ届出ノ效力ヲ失ハシムルコトアルベシ

第四十一條　建築工事左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工事ノ中止其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトアルベシ

一　保安上危險又ハ衛生上有害ト認ムルトキ

二　法又ハ之ニ基キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シテ工事ヲ爲シタルトキ

第四十二條　規則第百四十八條第二項ニ依ル證票ハ別記樣式ニ依ル

第四十三條　第九條、第十條、第二十條、第二十一條、第二十四條、第三十條及第三十一條第一

項第五號乃至第十一號ハ令第三十一條及規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定スル區域ニ之ヲ適用セズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ規定ニ依リ提出セル願届ニシテ法、令又ハ規則ニ抵觸スルモノハ本令ニ依ル手續ヲ爲スベシ

表

證票樣式



裏

第　號　昭和　年　月　日交付

市街地建築物法施行規則

第百四十八條　地方長官ハ當該官吏又ハ吏員ヲ派シ建築物及建築工事ヲ臨檢セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ臨檢者ハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第一項ノ場合ニ於テ建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者檢査ニ必要ナル準備ヲ命ゼラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

前項ノ準備費用ハ建築主又ハ建築物所有者ノ負擔トス

警　視　廳

昭和三年十一月廳令第四七號

改正　昭和六年十二月廳令第五八號

昭和七年　三　月廳令第　八　號

第一條　本令ニ於テ法ト稱スルハ市街地建築物法施行令ト稱スルハ市街地建築物法施行令、施行規則ト稱スルハ市街地建築物法規施行規則ヲ謂フ

第二條　法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依ル申請書又ハ届書ハ所轄警察署ヲ經由シ警視廳ニ提出スヘシ

前項ノ所轄警察署ト稱スルハ建築線、建築物又ハ建築工事用機械所在地所轄警察署ヲ謂フ

第三條　法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ申請又ハ届出ヲ爲ス者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人、準禁治產者ナルトキハ其ノ保佐人、妻ナルトキハ其ノ夫ノ連署ヲ要ス前項ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ニ變更アリタルトキハ五日以內ニ届出ツヘシ

第四條　法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ申請又ハ届出ヲ爲ス者法人ナルトキハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名ヲ記載スヘシ申請書又ハ届書ニ記載スヘキ氏名法人ナルトキ亦同シ

第五條　施行令第一條第十號ノ規定ニ依リ指定スル建築物左ノ如シ但シ土地ノ狀況、作業方法又ハ建築物ノ構造設備ニ依リ支障ナシト認ムルトキハ其ノ建築ヲ許可スルコトアルヘシ

一　工場ニシテ左ニ揭クル事業ヲ營ムモノ又ハ作業ヲ爲スモノ

イ　鋼板ノ槌打加工

ロ　「コルク」、「エボナイト」又ハ「ベークライト」類ノ粉碎若ハ乾燥研磨ニシテ常時原動機ヲ使用スルモノ

ハ　木材ノ挽割若ハ鉋削、裁縫、機織、撚糸、組紐、編物、製袋又ハ鑵ノ目立ニシテ常時使用スル原動機馬力數ノ合計一ヲ超過スルモノ

ニ　印刷、製針又ハ石材ノ挽割ニシテ常時使用スル原動機馬力數ノ合計二ヲ超過スルモノ

第六條　削除

第七條　削除

第八條　削除

第九條　幅員六尺以上九尺未滿ノ道路ニ在リテハ其ノ中心線ヨリ兩側各四尺五寸ノ距離ニ在ル線ヲ以テ建築線トス但シ必要ト認ムルトキハ別ニ建築線ヲ指定ス

第十條　建築線ノ指定若ハ變更ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シタル申請書正副二通ヲ提出スヘシ指定セラレタル建築線ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

一　申請者ノ住所及氏名

二　關係土地ノ地名番號

三　關係土地所有者、管理者及使用權者ノ住所及氏名

四　申請ノ理由

五　申請ニ係ル建築線ノ長及建築線間ノ距離

六　申請ニ係ル建築線ノ位置ヲ標示スヘキ方法

前項ノ申請書ニハ關係土地所有者又ハ管理者、土地使用權者ノ承諾書（承諾ヲ得ル能ハサルトキハ其ノ理由書）竝左ノ事項ヲ明示シタル土地平面圖（縮尺百分ノ一、二百分ノ一、三百分ノ一又ハ六百分ノ一）ヲ添附スヘシ

一　方位

二　關係敷地ノ境界及地名番號

三　建築線ノ位置、長及建築線間ノ距離

四　申請ニ係ル建築線ニ接續スヘキ道路及其ノ幅員

五　關係敷地ニ於ケル建築物ノ位置

六　其ノ他關係道路、用水路又ハ河川等ノ位置

前項ノ圖面中ニ既存建築線アルトキハ其ノ部分ト申請ニ係ル部分トヲ著色其ノ他ノ方法ニ依リ區別スヘシ

第一項ノ申請書ヲ提出シタル後第一項第一號乃至第三號ノ事項ニ變更ヲ生シ又ハ同第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ關係圖書ヲ具シ届出ツヘシ

第十一條　前條ノ申請ニシテ支障ナシト認ムルトキハ申請書ノ副本ニ別記第一號樣式ニ依ル建築線調査濟證印ヲ押捺シテ申請者ニ交付ス

第十二條　申請者依リ指定セラレタル建築線ノ位置ハ申請者ニ於テ適當ナル方法ニ依リ之ヲ標示スヘシ但シ側溝其ノ他ニ依リ其ノ位置明カナルモノ又ハ土地ノ狀況ニ依リ標示シ難キモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニヨリ設置シタル標識ハ濫ニ之ヲ移動セシムヘカラス

第十三條　削除

第十四條　法第七條但書ノ規定ニ依リ指定シタル建築線ハ之ヲ告示ス指定シタル建築線ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第十五條　建築物ノ敷地ニシテ其ノ地盤面前面道路面ヨリ高キコト60センチメートルヲ超ユルトキハ其ノ高ヨリ60センチメートルヲ減シタルモノノ二分ノ一ニ相當スル高ノ位置ヲ以テ施行令第七條ノ前面道路ノ路面ト看做ス

第十六條　建築物ノ敷地カ高低ノ差60センチメートルヲ超ユル二以上ノ道路ニ接スル場合ニ於テ一ノ道路ノ境界線迄ノ水平距離カ其ノ道路幅員ノ一倍二分ノ一以上又ハ25メートルヲ超ユル區域ニ在ル建築物各部ニノ高ニ付テハ施行令第七條ノ規定ノ適用ニ關シ制限ノ緩ナル道路ヲ以テ前面道路ト看做ス

第十七條　建築物ノ敷地ニシテ道路ノ終端ニ位スル場合ニ在リテハ施行令第七條乃至第九條ノ規定ノ適用ニ關シ其ノ道路幅員ノ一倍四分ノ一ニ相當スル幅員ヲ有スル道路ニ接スルモノト看做ス

第十七條ノ二　施行令第十條各號ニ該當スル敷地ニ於ケル建築物各部分ノ高ニ付テハ土地ノ狀況其ノ他ニ依リ支障ナシト認ムルトキハ第十五條及第十七條ノ規定ニ拘ラス其ノ制限ヲ斟酌スルコトアルヘシ

第十八條　建築物ノ敷地ニシテ左ノ要件ヲ具備スルモノハ施行令第十四條但書ノ規定ニ依ル角地トス

一　幅員各 5.4 メートル以上ノ道路ニ依リ角地ヲ爲スコト

二　敷地ノ周邊ノ三ノ一以上前號ノ道路ニ接スルコト

前項ノ道路ノ對側ニ公園、廣場、河、海ノ類在ルトキハ其ノ幅員ノ制限ヲ3メートル迄減スルコトヲ得

第十九條　建築物ノ敷地ニシテ其ノ周邊ノ三分ノ二以上幅員 3.6 メートル以上ノ道路ニ接スルモノハ施行令第十四條但書ノ規定ニ依ル其ノ他ノ地區トス

前項ノ建築物ノ敷地ニ接シ又ハ道路ノ對側ニ公園、廣場、河、海ノ類在ルトキハ前項ノ適用ニ付テハ之ヲ道路ト看做ス

第二十條　削除

第二十一條　汲取便所ニ在リテハ窓ノ金網張又ハ之ニ代ルヘキ適當ナル防蠅設備ヲ爲スヘシ但シ土地ノ狀況又ハ構造設備ニ依リ衛生上支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　井戸ハ閉鎖井戸ト爲シ其ノ構造ハ左ノ規定ニ依ルヘシ但シ衛生上支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　導水管又ハ其ノ外管ハ內徑30センチメートル以下ト爲シ不滲透質ノ材料ヲ以テ構成シ地盤面下3メートル以上ノ深ニ達セシムルコト

二　導水管又ハ其ノ外管ノ接手ハ水ノ滲透セサル構造ト爲スコト

三　導水管又ハ其ノ外管ノ周圍ハ地盤面下3メートル以上土壌ヲ以テ填充スルコト

第二十三條　削除

第二十四條　汽罐、營業用風呂竈其ノ他多量ノ燃料ヲ使用スル設備ニ附屬スル煙突ノ高ハ地盤面上23メートル以上、其ノ口徑ハ36センチメートル以上ト爲スヘシ但シ燃料ノ種類、量又ハ土地ノ狀況ニ依リ其ノ增加ヲ命シ又ハ其ノ低減ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十五條　强度計算ニ於ケル地震ノ水平震度ハ地盤面上高15メートルヲ超過スル煙突、物見塔、廣告塔、無線電信用電柱ノ類ニ在リテハ0.15以上ト爲スヘシ

第二十六條　削除

第二十七條　强度計算ニ適用スル風壓力ハ建築物ノ垂直平面1平方メートルニ付高6メートル以下ノ部分ニ在リテハ75キログラム以上、高6メートルヲ超ユル部分ニ在リテハ100キログラム以上ト爲スヘシ但シ高15メートルヲ超過スル煙突、物見塔、廣告塔、無線電信用電柱ノ類ニ在リテハ垂直平面1平方メートルニ付150キログラム以上ト爲スヘシ

前項ノ風壓力ハ建築物ノ形狀又ハ周圍ノ狀況ニ依リ其ノ增加ヲ命シ又ハ其ノ輕減ヲ許可スルコトアルヘシ

第一項ノ高ハ建築物ノ接着スル地盤面ヨリ之ヲ度ル

第二十八條　削除

第二十九條　削除

第三十條　防火地區內ニ建築スル建築物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ施行規則第百十九條乃至第百三十五條ノ規定ニ據ラサルコトヲ得

一　建築工事用ノ足代、棧橋、下小屋、材料置場又ハ監督事務所ノ類

二　建築工事期間中ノ使用ヲ目的トスル假營業所又ハ假事務所ノ類

三　一季節間ノ使用ヲ目的トスル建築物

四　其ノ他一時ノ使用ニ供スル建築物ニシテ已ムヲ得スト認ムルモノ

第三十一條　施行規則第百四十三條第一項第五號ノ規定ニ依リ指定スル建築物左ノ如シ

一　建築面積660平方メートル以上ノモノ

二　他ノ法令ニ依リ警視總監ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノ

三　法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ要スル事項ヲ含ムモノ

四　施行令第二十八條ノ建築物

五　土地面積30アール以上火災ニ罹リタル地區ニ於テ罹災後三月以內ニ建築工事ニ着手セムトスルモノ

六　都市計畫法第十條第二項ノ規定ニ依リ指定セラレタル風致地區內ニ建築スルモノ但シ第三十八條第一項各號ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　施行規則第百四十三條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ設計書及圖面ヲ添附シタル申請書正副二通ヲ提出スヘシ但シ規模大ナル建築物、特殊ノ用途ニ供スル建築等ニシテ設計書又ハ第三十四條第一項第三號乃至第十號ノ圖面ヲ同時ニ添附シ難キ事情アリト認ムルトキハ之ヲ區分シ提出セシムルコトアルヘシ

一　建築主ノ住所及氏名

二　敷地所有者ノ住所及氏名

三　建築工事管理者、設計者又ハ建築工事請負人アルトキハ其ノ住所及氏名

四　敷地ノ地名番號

五　申請ノ要旨

六　敷地內建築物ノ主要用途

七　敷地面積及敷地內建築面積ノ合計

八　削除

九　敷地ト道路トノ高低ノ差

十　申請ニ係ル建築物ノ概要（各棟ニ付其ノ構造種別、高、軒高、階數、各階面積等）

十一　起工期日及竣功期日

十二　法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ特ニ許可、認可又ハ承認ヲ受クルヲ要スル事項アルトキハ其ノ事項

前項ノ外必要ト認ムルトキハ圖書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第一項ノ申請書ヲ提出シタル後建築工事管理者又ハ建築工事請負人ヲ定メタルトキハ五日以內ニ届出ツヘシ

第三十三條　前條第一項ノ規定ニ依ル設計書ニハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

一　圖面ニ示シ難キ構造設備、材料ノ種類寸法其ノ他仕樣ノ概要

二　鐵骨造建築物、鐵筋「コンクリート」造建築物其ノ他特殊ノ構造ノモノニ在リテハ其ノ構造强度計算

三　煖房、換氣、避雷、給水、排水其ノ他ノ設

備アルモノハ其ノ構造仕様ノ概要

第三十四條　第三十二條第一項ノ規定ニ依ル圖面左ノ如シ但シ木造又ハ木骨造建築物ニシテ建築面積230平方メートル以下ノモノ在ニリテハ第三號乃至第八號ノ圖面ヲ省略スルコトヲ得

一　配置圖（方位、敷地境界線、建築線、建築物、井戸、四隣道路、排水路等ヲ明示スヘシ）縮尺五十分ノ一、百分ノ一、二百分ノ一、三百分ノ一又ハ六百分ノ一

二　各階平面圖（方位、各室ノ用途及大サ、各居室ノ床面積及採光面積等ヲ明示スヘシ）縮尺五十分ノ一、百分ノ一、又ハ二百分ノ一

三　斷面圖（建築物ノ高、軒高、階高、床高、基礎、關係道路、建築線等ヲ明示スヘシ）縮尺二十分ノ一、五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

四　立面圖　縮尺五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

五　基礎平面圖　縮尺五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

六　各階床組平面圖　縮尺五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

七　小屋組平面圖　縮尺五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

八　構造上緊要ナル部分ノ詳細圖　縮尺十分ノ一又ハ二十分ノ一

九　根切深3メートル以上ヲ有スルモノハ其ノ山留工事圖　縮尺二十分ノ一、五十分ノ一又ハ百分ノ一

十　前條第三號ノ設備アルモノハ其ノ圖面

前項第一號乃至第三號ノ圖面ニ既存建築物アルトキハ其ノ部分ト申請ニ係ル部分トヲ著色其ノ他ノ方法ニ依リ區別スヘシ

第一項第三號ノ斷面圖縮尺二十分ノ一又ハ五十分ノ一ニシテ構造上緊要ナル部分、主要材料ノ種類、大サ等ヲ明示シタルモノナルトキハ第八號ノ詳細圖ヲ省略スルコトヲ得

第三十五條　第三十二條第一項ノ申請ニシテ支障ナシト認ムルトキハ建築認可證トシテ申請書ノ副本ニ別記第二號樣式ニ依ル建築認可證印ヲ押捺シテ建築主ニ交付ス

第三十六條　施行規則第百四十四條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サムトスル者ハ第三十二條第一項各號ノ事項ヲ具シ設計書及圖面（大修繕ニ在リテハ圖面ヲ省略）ヲ添附シタル届書ヲ提出スヘシ但シ木造平家建ニシテ建築面積百平方メートル以下ノモノニ在リテハ設計書ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ届出ハ起工十日以前ニ之ヲ爲スヘシ

第一項ノ届出ニ付テハ第三十二條第二項、同第三項、第三十三號及第三十四條ヲ準用ス

第三十七條　削除

第三十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル建築物ニ在リテハ施行規則第百四十三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請及同第百四十四條ノ規定ニ依ル届出ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　施行規則第百四十三條第一項第三號（同條第一項第一號、第二號、第四號及第五號ニ該當スルモノヲ除ク）ニ該當スル建築物ニシテ其ノ床面積20平方メートル以下且高5メートルヲ超エサルモノ

二　施行規則第百四十四條第一號及第二號ニ該當スル場合ニシテ其ノ部分ノ床面積20平方メートル以下且高5メートルヲ超エサルモノ

三　甲種防火地區及美觀地區外ニ設クル門、障壁ノ類ニシテ高4メートルヲ超エサルモノ

四　工事用ノ足代、棧橋及甲種防火地區外ニ設クル下小屋ノ類ニシテ道路ヲ占用セサルモノ

五　一時ノ使用ニ供スル日除、雨除ノ類ニシテ構造簡易ナルモノ（甲種防火地區內ニ設クルモノ及高13メートル以上ノ場所ニ設クルモノヲ除ク）

前項ノ高ハ建築物ノ接着スル地盤面ヨリ之ヲ度ル

第三十九條　施行令第三條ノ二ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ第三十二條第一項各號ノ事項ノ外地域又ハ地區ノ指定若ハ變更ノ際ニ於ケル建築物ノ用途、敷地面積、建築面積及床面積ヲ記載シ設計書及圖面ヲ添附シタル申請書正副二通ヲ提出スヘシ

第四十條　第五條但書、施行令第一條但書、同第二條但書、同第三條但書又ハ同第二十九條ノ二ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ第三十二條第一項各號ノ事項ヲ具シ設計書及圖面ヲ添附シタル申請書正副二通ヲ提出スヘシ

第四十一條　法適用區域ノ設定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事ニ著手セサルモ設計ア建築物ヲ建築セムトスル者ハ其ノ設定、指定若ハ變更アリタル日ヨリ三十日以內ニ第三十二條第一項各號ノ事項ヲ具シ設計書及圖面ヲ添附シタル申請書正副二通ヲ提出スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル建築物ニ在リテハ此ノ限

ニ在ラス

一　第三十二條第一項、第三十九條若ハ前條ノ申請又ハ第三十六條ノ届出ヲ爲シタルモノ

二　設定、指定若ハ變更アリタル日ヨリ五十日以内ニ竣功スヘキ建築工事中ノモノ

前項ノ申請ヲ爲スヘキ建築物ニシテ建築工事中ノモノニ在リテハ申請書ニ其ノ進捗ノ程度ヲ附記スヘシ

第四十二條　前三條ノ設計書ニ付テハ第三十三條圖面ニ付テハ第三十四條ノ規定ヲ適用ス

第四十三條　第三十九條乃至第四十一條ノ申請ニシテ支障ナシト認ムルトキハ建築許可證トシテ申請書ノ副本ニ別記第四號樣式ニ依ル建築許可證印ヲ押捺シテ建築主ニ交付ス

第四十四條　建築ノ許可ヲ受ケタル建築物ノ建築工事竣功シタルトキハ届出ツヘシ

前項ノ建築物ニ付テハ施行規則第百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第四十五條　第三十二條第一項又ハ第三十九條乃至第四十一條ノ申請ヲ爲シタル建築物ニシテ使用認可證交付前第三十二條第一項第五號乃至第十號、第十二號、第三十三條又ハ第三十四條第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ關係圖書ヲ具シ申請シ認可又ハ許可ヲ受クヘシ但シ變更ノ程度輕微ニシテ支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ建築物ニシテ使用認可證交付前第三十二條第一項第一乃號至第四號又ハ第十一號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ五日以内ニ届出ツヘシ

第四十六條　第三十六條ノ届出ヲ爲シタル建築物ニシテ其ノ工事竣功前第三十二條第一項第五號乃至第十號、第十二號、第三十三條又ハ第三十四條第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ十日以前ニ届出ツヘシ但シ變更ノ程度輕微ニシテ支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ建築物ニシテ工事竣功前第三十二條第一項第一號乃至第四號又ハ第十一號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ五日以内ニ届出ツヘシ

第四十七條　建築ノ申請又ハ届出ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當該行政廳ノ許可ヲ證スヘキ書類ヲ添附スヘシ但シ特ニ必要ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　道路法第一條ノ道路敷地内ニ建築セムトスルモノ

二　都市計畫法第十六條第一項ノ土地ノ境域内ニ建築セムトスルモノ

三　社寺ヲ建築セムトスルモノ

四　社寺以外ノ者ニシテ社寺境内地ヲ使用シテ建築セムトスルモノ

五　公開、河川其ノ他公共ノ用ニ供スル官公有ノ土地又ハ水面ヲ使用シテ建築セムトスルモノ

第四十八條　施行規則第百四十七條ノ規定ニ依リ交付スル建築物使用認可證ハ別記第五號樣式ニ依ル

第四十九條　削除

第五十條　建築工事用トシテ櫓ノ高12メートル以上ノ杭打機、能力3トン以上又ハ主柱若クハ斜柱ノ長12メートル以上ノ起重機ヲ設置セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ3日以前ニ届出ツヘシ

一　設置者ノ住所及氏名

二　建築主ノ住所及氏名

三　機械取扱主任者ノ住所、氏名及經歷

四　設置地ノ地名番號

五　建築ノ許可又ハ認可年月日及番號（施行規則第百四十四條ノ建築物ニ在リテハ届出年月日）

六　機械ノ種類、大サ、能力及臺數

七　機械ノ使用目的及使用法

八　機械ノ据付工事竣功期日

九　機械ノ使用期間

前項第三號ノ機械取扱主任者ニシテ不適當ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第五十一條　前條第一項第三號、第六號及第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ届出ツヘシ

前條第一項第一號、第八號及第九號ノ事項ヲ變更シタルトキハ第五日以内ニ届出ツヘシ届出ヲ爲シタル工事用機械ノ使用ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第五十二條　第五十條第一項ハ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル工事用機械ニ在リテハ機械取扱主任者現場ニ立會スルニ非サレハ其ノ据付、使用、移動又ハ解體ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條　建築工事場ニ於テ工事用機械ヲ使用スル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　工事用機械ハ其ノ使用目的以外ニ又ハ能力ノ範圍ヲ超エテ使用セサルコト

二　捲揚機ニハ有効ナル制動裝置竝操作上必要ナル信號裝置若ハ之ニ代ルヘキ施設ヲ爲スコト

三　工事用機械ニシテ自立不安定ナルモノハ適當ナル支柱又ハ支線ヲ設クルコト

四　工事用機械ハ所轄警察署ノ承認ヲ得ルニ非サレハ日出前又ハ日沒後ニ使用セサルコト

第五十四條　削除

第五十五條　建築主、建築工事請負人又ハ建築工

事管理者ハ建築工事場ニ於テ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　足代、棧橋其ノ他ノ工事用工作物ハ保安上危險ノ虞ナキ構造設備ト爲スコト

二　材料ノ運搬、構材ノ鋲打其ノ他ノ作業ニシテ危害ヲ生スルノ虞アルモノハ之ヲ防止スルニ足ルヘキ施設ヲ爲スコト

三　火氣ヲ使用スル場合ニ在リテハ火災豫防上竝煤煙防止上適當ナル施設ヲ爲スコト

四　工事ニ依リ電氣、瓦斯又ハ水道等ノ工作物ニ障害ヲ及ホシ又ハ之ヨリ危害ヲ受クルノ虞アルトキハ當該管理者ニ通知シ適當ナル措置ヲ求ムルコト

五　工事ノ爲死傷其ノ他ノ事故ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ部分ノ作業ヲ中止シ所轄警察署ニ届出ツルコト

前項第五號ノ場合ニ在リテハ所轄警察署ノ承認ヲ得ルニ非サレハ其ノ作業ヲ開始スルコトヲ得ス

第五十五條ノ二　建築工事場ニ於ケル壓搾空氣ヲ用フル鋲打作業又ハ汽錘ヲ用フル杭打作業等ニシテ甚シキ騷響、震動ヲ發シ附近ノ靜謐ヲ害スル虞アルモノハ其ノ作業ニ對シ必要ナル措置ヲ命シ又ハ作業時間ヲ制限スルコトアルヘシ

第五十六條　建築工事中ハ工事場ニ建築ノ許可又ハ認可ノ證印アル副本ヲ備ヘ當該吏員ノ要求アリタルトキハ之ヲ提示スヘシ

第五十七條　建築ノ許可若ハ認可ヲ受ケ又ハ建築ノ届出ヲ爲シタル建築物ノ建築工事中ハ工事場ノ外部睹易キ箇所ニ別記第六號樣式ノ標札ヲ掲出スヘシ

第五十八條　建築工事左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工事ノ中止其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

一　保安上危險ト認ムルトキ

二　衛生上有害ト認ムルトキ

三　法、施行令、施行規則及本令又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ工事ヲ爲シタルトキ

第五十九條　建築ノ許可又ハ認可ヲ受ケタル建築物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可又ハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

一　虛僞ノ申請ヲ爲シタルトキ

二　起工期日ヲ經過スルコト五月ニシテ工事ニ着手セサルトキ

三　竣工期日ヲ經過スルコト九月ニシテ竣功セサルトキ

第六十條　施行規則第百四十四條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル建築物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ届出ノ效力ヲ失ハシムルコトアルヘシ

一　虛僞ノ届出ヲ爲シタルトキ

二　起工期日ヲ經過スルコト三月ニシテ工事ニ着手セサルトキ

三　竣功期日ヲ經過スルコト六月ニシテ竣功セサルトキ

第六十一條　削除

第六十二條　建築ノ許可若ハ認可ヲ受ケ又ハ建築ノ届出ヲ爲シタル建築物ノ建築ヲ廢罷シタルトキハ五日以内ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ニハ建築申請書ノ副本ニ押捺シタル建築許可證又ハ建築認可證ノ證印ヲ添附スヘシ

第六十三條　施行規則第百四十八條ノ規定ニ依ル證票ハ別記第七號樣式ニ依ル

第六十四條　他ノ法令ニ依リ警視總監ノ許可又ハ認可ヲ受クルヲ要スル建築物ニシテ法、施行令、施行規則又ハ本令ノ規定ニ依ル建築ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ法令ニ依ル願書ニ本令ノ規定ニ依ル事項ヲ併セ具スヘシ但シ重複スルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ願出ニ對シ許可又ハ認可ヲ爲シタルトキハ併セテ法、施行令、施行規則又ハ本令ノ規定ニ依ル建築ノ許可又ハ認可ヲ爲シタルモノトス

第六十五條　前條ノ建築物ニ對シ警視總監他ノ法令ニ依ル使用ノ許可又ハ認可ヲ爲シタルトキハ併セテ施行規則又ハ本令ノ規定ニ依ル使用ノ認可ヲ爲シタルモノトス

第六十六條　第十五條乃至第二十七條、第三十三條、第三十四條第一項第四號乃至第十號ノ規定ハ施行令第三十一條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定スル區域ニ之ヲ適用セス

附　則

第六十七條　本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十八條　大正九年十二月警視廳令第三十三號市街地建築物法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第六十九條　昭和三年四月警視廳令第十四號市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定スル區域ニ於ケル市街地建築物法令施行ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

第七十條　削除

本令ハ昭和七年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

樣　式

建築線調査濟(第一號樣式)建築許可證（第二號樣式)

建築認可證(第四號樣式)建築物使用認可證（第五號樣式)

警視廳認可(許可又ハ届)濟(第六號樣式)

建築物及建築工事臨檢之證(第七號樣式)

第三號樣式削除

前記樣式ハ凡テ從前通リトス

建築と社會第19輯第2號　廣告索引

ア　阿部鐵工所……53
旭硝子株式會社……47
朝日建材株式會社……表紙 2
淺野スレート株式會社……51
淺海商會……34
イ　有田製陶所出張店……30
岩元工業株式會社……34
伊藤元商店……48
エ　榮進社……22
英進商會建材部……39
荏原製作所……9
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
大阪伊丹商店……49
大阪組立コンクリート製作所……26
大野製作所……前附 1
奥村重兵衛商店……31
大阪アスファルト商會……11
カ　金岡養樹園……中挿
勝田風呂製作所……前附 4
キ　木下謹三商店……14
桐田商會……35
協和製作所……15
ク　黒川化學工業所……17
久保商店……24
窪島プレス工業所……42
コ　後藤商店……49
工英社……55
サ　佐渡島西店……41
佐久間パブコ工業株式會社……29
坂本商會大阪支店……28
坂田ベンチレーター製作所……39
ス　須賀商會……12
セ　政正合資會社……40
清光社……24
タ　田島應用化學工業所大阪支店……56
大洋組建材部……48
ダンロップ護謨株式會社……中挿
タカラ商會……19
田中昌司商店……38
チ　チヨーホー商會……26
地域制攻究會……7
ト　東洋リノリユーム株式會社……37
東洋洋瓦株式會社……13
東京電氣株式會社……32
ナ　內外土木建築材料合資會社……36
南滿鑛業株式會社……21
中井商店大阪支店……54
中野石材販賣店……38
ニ　日本建築紙工株式會社……40
日本建材工業所……中挿
日本ドアーチエツク製作所……44
日本パイプ製造株式會社……52
日本ノンスリツプ商會……50
日本窒素肥料株式會社……表紙 3
日本洋瓦株式會社……10
西原衛生工業所……23
西孫南店建築金物部……19
ノ　野澤幸三郎商店……20
ハ　汎建製作所……30
ヒ　日立製作所……46
フ　福原商店……43
マ　マルエス工業株式會社……18
松井商店……17
松信工業社……28
ミ　三井物產株式會社……27
宮崎家具裝飾部……前附 2
ヤ　矢橋大理石商店……16
大和護謨製作所……25
山本窯業商店……43
ヨ　横河橋梁製作所……33
吉田鹿之助本店……8
米本榮商店……16
ラ　ライトラバー工業合資會社……45
リ　理化學興業株式會社……前附 3
レ　玲光社(木內眞太郎)……21